

第10回 県本部教育研修に関する調査結果 (2020年11月～2022年10月)

目 次

第10回自治労「県本部教育研修に関する実態調査」結果概要	3
県本部教育研修調査総括表	7
1. 教育研修の位置付け	17
2. 教育研修の体制	25
3. 教育研修にかかわる予算（2022年度）	27
4. 県本部の教育研修について	31
5. 労働学校等（連続）講座	
(1) カリキュラム	58
(2) 労働学校：受講者の確保	72
(3) 労働学校：女性の参加状況	74
6. 協力機関・組織	76
7. 県本部の教育研修の成果	78
8. 県本部で教育研修を実施する上での問題点・課題	80
9. 県本部主催で、特に好評だった研修内容を具体的に	83
10. コロナ禍における県本部の教育研修・会議等で試みた新たな取り組み	86
11. 自治労本部への意見	88

第10回自治労「県本部教育研修に関する実態調査」 結果概要

自治労「県本部教育研修に関する実態調査」は、各県本部の教育研修の実態を明らかにし、相互交流を進め、参考にし合い、自治労全体の教育水準を引き上げるために、2年に1度実施するものです。

第10回調査については、県本部において2021～22年度内に実施された教育研修に関する活動を報告いただき、とりまとめたものです（回答数：47県本部1社保労連）。

対象期間（おおむね2020年11月～2022年10月）は前回に引き続き、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の感染拡大期にあたり、多くの県本部で教育研修や各種会議が中止となりました。

研修の実施数を過去の調査と単純に比較することは難しいですが、他方ではコロナ禍においても各県本部にて対面とウェブのハイブリッド方式での開催や、対面については徹底した感染対策をした上での開催など、さまざまな工夫を凝らしながらの実施も報告されています。

結果概要は、以下の通りです。

【第10回調査結果概要】

1. 県本部が実施している教育研修の種類（複数回答あり）

県本部が実施している教育研修のうち、労働学校を開催した県本部は32県本部で、前回（2020年度調査）から11県本部増加したものの新型コロナの感染拡大により、企画はしたものの実施できなかった県本部もありました。

研修の参加対象は、単組専従者、新役員、中堅役員、次期役員候補中心で、組合活動に役立つ知識の習得や技能の向上（スキルアップ）を目的に開催されています。次代の担い手を対象とした研修の開催は喫緊の課題となりますが、例えば労働学校の実施が方針化され、継続的に開催される県本部と、こうした実施が困難な県本部に分かれ、前回調査結果と同様にその状況が固定化されています。

課題別の研修については、実施時期が開催の有無に大きく作用したため、実施数＝企画数ではありませんが、新組合員対象の研修を実施している県本部が22県本部（前回比7県本部増）、単組の役員向け研修を実施している県本部が28県本部（前回比4県本部減）となっており、前回よりは減少したものの引き続き県本部で開催されています。

2. 労働学校等（連続）講座の日程

2021～22年度に開催された労働学校等（連続）講座の日程は、コロナ禍の影響もあり1日×複数回開催の県本部が4県本部、1日のみ開催の県本部が4県本部、2日間開催が10県本部、3日間開催が6県本部となっています。一方、5日間（2県本部）、7日間（1県本部）、8日間（1県本部）の開催、またウェブ開催で20分間を20日間連続開催が1県本部ありました。

コロナ禍以前の調査において1回あたりの日程を1日に短縮し、複数回開催するという日程設定が多くみられていましたが、今回の調査でもこの傾向は継続しています。

3. 教育研修の成果（複数回答あり）

教育研修の成果として最も多い回答は、「交流・情報交換」（39県本部）で、続いて「組織強化・運動強化」（36県本部）、「担い手・県本部単組の役員確保」（29県本部）、「情勢・課題の共有化」（28県本部）、「仲間作り団結・連帯感の醸成」（27県本部）、となっています。教育研修の機会が情勢や課題を把握し知識を習得することに加えて、人的ネットワークを形成する貴重な場となっていることが表れています。またこの機会が将来的に県本部・単組の運動を担う役員の育成・確保につながるよう取り組まれていることがわかります。

一方で、「モチベーションの向上」は11県本部、「自治労運動への一体感」は15県本部となっていますが、感じられる成果としては未だ低位にとどまっています。教育研修や学習機会を通じて単組役員や次代の担い手である若年層組合員が共感し、モチベーションをもって取り組むことのできる活動につなげ、組織や運動の強化にいかに関わりつけていくかが課題といえます。

4. 参加者の確保（複数回答あり）

参加者の確保については、「青年女性部の協力」が9県本部と最も多く、続いて「オルグ活動とセットで単組要請」が8県本部、「県本部執行委員会等での周知」が6県本部となりました。また「日程の配慮」は3県本部、となっています。参加者の確保にむけては青年部、女性部が特に連携・協力しているという傾向が見られます。

5. 教育研修活動の問題点・課題（複数回答あり）

教育研修活動の問題点・課題は、「参加単組が固定化している」が28県本部と最も多く、続いて、「参加者の確保が困難」が24県本部、「女性の参加が少ない」が22県本部、「実施後のフォローアップができない」が19県本部、「単組が研修の必要性を理解できていない」が7県本部、「講師の確保が困難」が5県本部となっています。これ以外に前年と比べて増加したのが、「以前に比べて学習会の回数が減少」が14県本部、「カリキュラム編成が困難」が10県本部です。「参加単組の固定化」、「参加者（特に女性）

の確保が困難」という回答の多さは、この間の調査結果で継続しており、多くの県本部での課題であることが明らかとなっています。

また、「以前に比べて学習会の回数が減少」という回答の増加は新型コロナの影響により、対面での運営が困難であることが考えられます。ウェブについては開催においては県本部で工夫を凝らしながらの実施となっていますが、参加するための環境が単組に無いなどの課題が見られます。

6. 本部への意見（複数回答あり）

本部への意見は「講師紹介・派遣」が7県本部と最も多かったです。「評判の良い県本部の学習会へ参加する視察企画を行う」など前例踏襲で行ってきた学習会に風穴をあけるような取り組みの要望など具体的な企画の提言もありました。

新型コロナの影響もあり、インターネットの活用（通信講座）を求めるものは6県本部と増加傾向になっています。「（ウェブなら参加できるため）ウェブを活用して短めの動画などを配信してほしい」という意見も多く見られますが、一方で「ウェブはどこでも気軽に参加できるというメリットがある反面、聞くだけになってしまい深まりが乏しい」との意見も見られました。また、「費用の助成」を望む回答も見られました（3県本部）。

2021年5月に開設した「教育研修ポータル」（産別ネット・じちろうネット）では、個人学習や単組・県本部での学習会に活用できるよう教材動画を提供しており、本部は引き続き単組・県本部で活用できる学習動画・研修企画素材の提供等、内容の豊富化につとめます。

7. 県本部主催で、特に好評だった研修内容について

顧問弁護士やカウンセラー協会などの外部講師を招いての講座が好評であったと答えた県本部が3県本部ありました。また、ウェルカムセミナーやスポーツ交流なども他単組との交流ができるという点で好評だったとの回答も見られました（7県本部）。

前回調査に引き続き「模擬団交」・「模擬交渉」など実際の現場で役立つ知識や技術の習得が見込める講座とともに、職場におけるLGBTQ+の課題、ハラスメントへの対応などの講座、新規組合員歓迎会や青年部学習会など若年層を対象とした講座や女性を対象とした「労働カフェ」などの回答がありました。

8. コロナ禍における県本部の教育研修・会議等で試みた新たな取り組み

今回の調査期間では、まだ新型コロナの感染拡大が収まっておらず、研修を企画していても中止・延期せざるをえないケースも見られましたが、マスク、手洗い、消毒、検温の徹底に加え、時間をずらして参加者の密集を避けながら1回に参集する人数を制限して開催するなど、制約のある環境下で何とかして研修の実施にこぎつけたことをうか

がわせる内容も見られました。

集まることやコミュニケーションを取ることに、平時と比べて形式は異なれどコロナ禍で行ったさまざまな試みは、困難な局面にあって仲間とともに試行錯誤を繰り返しながらいかに打開していくか挑戦することに通じ、それは労働組合運動の本質であるといえます。引き続き教育研修の充実をはかりながら、各県本部・単組における人材育成については組織の基盤強化のための積極的な取り組みが期待されます。

以 上

県本部教育研修調査総括表

1. 県本部が実施している教育研修の種類

県本部	労働学校	評 議 会 等										課 題 別																
		ユース部	青年部	女性部	現業公企	健康保育	医療福祉	町村評	公共民間	非常勤	臨時時	都市交	公営競技	書記	新組合員	教宣	春闘	賃金確定	メンタル	労働安全	引上げ	定年	財政分析	自治研	平和	政治・男女平等	役員育成	単組
北海道	○		○										○														○	
青森																												
岩手	○	○	○			○																						
宮城		○	○														○					○	○				○	
秋田													○				○					○					○	
山形	○	○	○	○	○		○						○				○											
福島	○																											
新潟	○	○	○				○						○			○	○										○	
群馬	○	○	○	○	○		○					○		○														
栃木					○																○					○	○	
茨城	○	○	○	○	○	○							○															
埼玉	○			○	○											○											○	
東京		○	○	○	○		○	○											○			○	○	○	○	○	○	
千葉													○	○										○	○	○	○	
神奈川																											○	
山梨	○											○																
長野	○	○	○										○														○	
富山	○												○													○	○	
石川	○	○	○	○	○											○					○			○				
福井	○					○	○																				○	
静岡	○	○		○	○								○			○					○						○	
愛知	○	○											○															①
岐阜		○	○	○	○		○					○				○										○	○	
三重		○	○									○												○		○	○	
滋賀	○															○											○	
京都	○				○									○	○	○						○	○	○	○	○	○	
奈良		○			○	○							○													○		
和歌山	○					○																					○	
大阪	○		○			○									○	○										○	○	
兵庫	○		○		○																					○		
岡山				○		○										○												
広島	○	○	○										○											○			○	
鳥取			○																									
島根	○		○	○	○	○						○	○					○										
山口	○												○														○	
香川	○	○											○			○						○					○	
徳島	○	○	○										○	○														
愛媛													○	○														
高知		○											○															
福岡	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	②
佐賀	○												○	○								○					○	
長崎	○	○	○										○	○								○	○				○	
大分	○	○	○										○	○	○	○						○	○	○	○	○	○	
宮崎	○												○														○	
熊本																											○	
鹿児島	○													○	○									○	○	○	○	
沖縄	○																		○					○	○	○	○	
社保		○																						○				
合計	32	22	21	11	14	9	7	2	0	2	6	22	11	15	9	4	9	9	13	11	28	2						

①消防 ②県消研2022年度第28期役員研修会

2. 労働学校等（連続）講座の日程・予算

県本部	名 称	日 程	参加人員 (人)	予 算 (合計：円)
北海道	2022年度活動家育成講座	3日間	18	
	2022年度活動家育成講座 「フォローアップ研修」	2日間		
青 森				
岩 手	県本部現業労働学校（第30期）	3日間 1時間目 2022年6月15日18時～19時 2時間目 2022年7月27日18時～19時 3時間目 2022年8月19日18時～19時		
宮 城	実施なし			
秋 田	実施なし			
山 形				
福 島	2022年度労働学校	3日間 7月30日（土） 10時～17時 8月5日（金） 10時～17時 8月6日（土） 10時～17時	27 29 33	
新 潟	第5期JJP（自治労次世代プロジェクト）	5日間 10：00～16：00 第1回 新潟市 第2回 長岡市 第3回 上越市 第4回 新潟市 第5回 長岡市	40	1,583,000
群 馬	【青女部】2022くみあい塾	1日間 13：30～17：30	62	
	【健福評】学習会	1日間 10：30～12：00	16	
	【公企評】2022年度学習会	1日間 18：30～20：00	22	
栃 木				
茨 城	2022年度ブロック活動者学校	3日間 18：30～20：00	87	
	ユニオンセミナー	2日間 第1回 13：00～17：00 第2回 10：00～17：00		
埼 玉	組合役員って何をするの			
東 京				
千 葉				
神奈川				
山 梨	県本部委員長書記長セミナー	1日間 11月6日 14：10～ 15：10	24	
長 野	第75期県本部労働学校	2日間 1日目 10：00～18：30 2日目 7：00～12：30	41	

県本部	名 称	日 程	参加人員 (人)	予 算 (合計：円)
富 山	県本部労働学校 新入組合員歓迎講座	2日間 1日目 14時から 2日目 11時	84	
石 川	労働学校基礎編	1日間 2022年6月10日(金) 12:45～17:15	56	
	労働学校実践編	2022年9月22日(木) 11:15～17:15	90	
福 井				
静 岡	第33回ゆにおん・かれっじ (県本部労働学校)	1日間 13:00～15:25	101	
	第34回ゆにおん・かれっじ (県本部労働学校)	1日間 13:30～16:30		
	第35回ゆにおん・かれっじ (県本部労働学校)	1日間 10:00～16:30		
	第36回ゆにおん・かれっじ (県本部労働学校)	1日間 13:00～16:30		
愛 知	第6期『あいち ユニオン カ レッジ(県本部労働学校)』	2日間 14:00～翌16:30	15	
岐 阜	労働学校は未開催			
三 重	2022年度は実施していません。			
滋 賀	県本部ユニオンセミナー	14:10～15:15 15:30～17:00	16	
京 都	府本部リーダーズセミナー	1日間 13:30～15:30 15:45～16:45	48	
奈 良				
和歌山	県本部第11回ユニオンカフェ	2日間 13:40～18:00 9:30～13:30	記載なし	
	県本部町村評2022年第1回活 動者学校	1日間 13:00～17:00	記載なし	
大 阪	ユニオンカレッジ	5日間 18:45～	29	
兵 庫	労働学校	2日間 10:00～17:00	64	
岡 山				
広 島	新入組合員セミナー	10:00～15:50	198	
	ステップ・アップセミナー	3日間 1回目 13:20～16:20 2回目 13:00～16:20 3回目 10:40～15:00		
	組織強化セミナー	1日間 10:40～12:00		
鳥 取				
島 根	2022年島根県本部 労働学校 (2022/5/9) (対面)	1日間 10:00～16:00	39	
	2022年度 自治労島根県本部 新入組合員等学習会(2022/ 5/21・28) (対面)	1日間 13:00～17:00		
	2022年度 自治労島根県本部 女性セミナー(2022/9/7) (対面)	1日間 13:30～17:00		
山 口	(労働学校の参加人数は記載 があるが労働学校については 記載なし)		41	

県本部	名 称	日 程	参加人員 (人)	予 算 (合計：円)
香 川	香川県労働者セミナーver. 2	3日間 13：30～17：00	83	
徳 島	自治労徳島県本部労働学校	8日間 14：30～19：30 9：00～12：00 14：30～17：00 9：00～12：00 14：30～17：30 9：00～12：00	35	
愛 媛			38	
高 知	2022年度未実施			
福 岡	第2期単組・職場の活性化連続学習会	4日間 13：30～17：00	77	
佐 賀	自治労学校活動者コース	2日間 10：00～17：00 9：00～12：00	25	
長 崎	県本部 J I C H I R O リーダーシップセミナー	2日間 13：40～17：30 9：00～11：30	69	
	総支部・単組青年女性代表者会議及び青年女性部労働学校	1日間 11：30～16：30		
大 分	第82期労働学校普通科	7日間	82	
	第53期労働学校専攻科	6日間		
宮 崎	労働講座	2日間 1日目 13：00～17：00 2日目 9：00～12：00	50	
熊 本				
鹿児島	単組四役セミナー	1日間 12：40～17：30	87	
沖 縄	労働学校（ウェブ）	20日間 12：15～12：35 7/1 15：00～ 7/2 12：00まで	11	
社 保	社保労連として2021年度の実施はなし（主に単組が主催）			

3. 教育研修の成果

県本部	成 果 の 内 容													
	運動強化	組織強化	交渉強化	担い手・県本部単組の役員確保	評議会・青年女性の役員確保	技能・知識向上	運動への理解促進	情勢・課題の共有化	交流・情報交換	仲間作り団結・連帯感の醸成	自治労運動への一体感	モチベーションの向上	単組の学習活動の促進	単組と関係の密接化
北海道	○			○		○	○		○					
青森														
岩手	○			○	○			○		○				
宮城	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
秋田	○	○						○	○					
山形	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島								○		○		○	○	
新潟													①	
群馬	○			○	○	○		○	○	○				○
栃木	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
茨城	○			○		○		○	○	○		○	○	○
埼玉	○	○				○	○	○				○		
東京								○	○	○		○		
千葉														
神奈川	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			
山梨														
長野	○				○			○	○			○		
富山														
石川	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
福井	○			○				○	○	○				○
静岡	○	○		○		○	○	○	○					
愛知	○			○				○						
岐阜								○	○	○		○		
三重	○			②		○		○	○					○
滋賀	○			○	○			○	○					○
京都	○					○		○	○					
奈良	○			○	○			○	○	○				
和歌山	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
大阪	○				○			○	○	○		○		
兵庫	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○③
岡山				○				○						
広島	○			○		○	○	○	○	○				
鳥取					○			○						
島根	○			○				○	○				○	
山口	○	○				○	○	○	○			○	○	
香川	○	○		○	○	○	○	○	○④	○	○	○	○	○
徳島	○	○		○	○	○	○	○	○	○				
愛媛	○			○		○		○		○				
高知					○	○	○		○	○				
福岡		○		○					○					
佐賀	○													
長崎	○	○		○				○	○	○				
大分	○	○		○		○	○	○	○	○				
宮崎	○	○						○	○	○				
熊本	○	○		○					○	○				
鹿児島	○								○	○				
沖縄	○			○		○	○		○	○	○	○	○	○
社保	○	○		○	○	○	○	○	○		○			
合計	36	18		29	17	23	24	28	39	27	15	11	16	13

①学習や交流機会を含む多くの活動においては、上記の成果を求めて実施しています。程度やねらいの違いがあっても上記の成果はあると考えています。②全国的な課題ですが、担い手確保や交流の機会が劇的に減少したと感じます。③受講単組からの講師派遣依頼がされるようになった。④民間労組との交流促進

4. 参加者の確保

県本部	確保対策															
	単組への直接・電話要請	個人オルグ	総支部ブロックの協力	青年女性部の協力	評議会の協力	運営委員会での参加者確保を議論	オルグ活動とセットで単組要請	会議での早期通知	県本部執行委員会等での周知	県本部での財政負担	機関紙での呼びかけ	参加経験者が呼びかける	魅力あるプログラムを考える	日程の配慮	次期役員候補の参加呼びかけ	その他
北海道				○											○	
青森																
岩手																
宮城																
秋田																
山形																
福島																
新潟																
群馬																
栃木																
茨城																
埼玉																
東京									○							
千葉																
神奈川																
山梨				○		○			○							
長野				○												
富山				○												
石川				○												
福井				○					○							
静岡				○												
愛知			○	○			○									
岐阜																
三重																
滋賀																
京都									○		○			○		
奈良																
和歌山																
大阪				○												
兵庫				○	○		○									
岡山																
広島							○		○							
鳥取																
島根																
山口														○		①
香川				○												②
徳島				○			○		○							
愛媛							○									
高知																
福岡																
佐賀																
長崎							○									
大分								○								
宮崎																
熊本																
鹿児島							○			○			○	○	○	
沖縄							○									
社保																
合計	0	0	1	9	1	2	8	0	6	1	1	0	1	3	2	2

①新採研修と合同で開催することで、新採の引率者を労働学校に参加するよう誘導することができた。②単組ごとの対象者リストアップと声かけ担当を決めての声かけ

5. 教育研修活動の問題点・課題

県本部	問 題 点 、 課 題										
	参加者の確保が困難	女性の参加が少ない	参加単組が固定化している	県本部での教育研修の位置付けが不明確	日程の確保が困難	予算の確保が困難	実施後のフォローアップができない	講師の確保が困難	カリキュラム編成が困難	単組が研修の必要性を理解できていない	以前に比べて学習会の回数が減少
北海道		○			○						○
青森											
岩手		○	○		○	○					
宮城	○	○	○	○			○				○
秋田	○	○	○							○	
山形	○	○	○		①		○		○		
福島	○				○		○	○			○
新潟	○	○	○				○			○	○
群馬		○	○								
栃木		○	○		○		○				
茨城	○	○					○			○	
埼玉			○				○			○	
東京	○							○			
千葉											
神奈川	②										
山梨											
長野		○	○	⑥	○	○③	○④		○⑤		○
富山				○	○						
石川	○										
福井	○			○							
静岡	○	○					○				
愛知	○	○	○								○
岐阜		○	○								⑦
三重	○⑧	○	○⑨	○	○⑫		○	○⑩	⑪		○
滋賀			○			○			○		○
京都	○		○		○	○	○	○	○		
奈良	○			○							
和歌山	○	○	○			○	○				
大阪	○	○	○								
兵庫			○⑬								
岡山	○		○		○						
広島			○				○				
鳥取							○				○
島根							○				
山口			○								
香川	○	○	○		○						
徳島		○	○				○		⑭		
愛媛	○		○							○	
高知	○	○	○								○
福岡	○	○	○								
佐賀			○				○	⑮			
長崎	○			⑯					○	○	○
大分		○	○		○	○		○	○		
宮崎							○				○
熊本											○⑰
鹿児島			○				○			○	
沖縄	○	○									
社保											
合計	24	22	28	7	12	6	19	5	10	7	14

①基本、平日開催だが、業務が忙しく参加できないという声がある一方、プライベート優先のため、休日も開催してほしいという声もある

②コロナ禍で参加者減少

③県本部財政が厳しくなっており以前に比べ予算が少なくなった。単組負担を上げることは単組財政事情を考慮すると難しく、参加者確保のため県本部負担としている参加費（交流会・宿泊費）の負担も高く、予算に見合った会場の確保が難しい。労働

学校の日程や内容の見直し・縮小を検討しながら限られた予算内でどう効果的な内容とするかが課題

④次世代育成のための労働学校を長年継続して開催しているが、その後のフォロー的な機会がなく、継続的な人材育成になっていない。

⑤また、宿泊を伴う内容で開催しているが、コロナ対策としてこれまで利用してきた相部屋の宿舎ではなくホテルのシングルを利用している。コロナ前から相部屋に対する抵抗感があったが、コロナ以降ますますその傾向が強まりそう。その他にも参加者の持つ心理的な負担感に配慮しながら参加者の確保やカリキュラム・運営の工夫が必要となっている。

⑥基本組織役員を対象とする教育研修の取り組みができていない。組合の意義や活動について、これまで単組内で受け継がれていたが、それが薄まっている中で、これまでの経験や自治労の活動について、また、模擬団交のような実践的な研修など基本組織役員へ伝達していく機会を設けることが必要だと考えるが、新しい事業を立ち上げる予算・日程取りが難しい。新たな学習の機会を設けるより日々の実務や課題への対処に精一杯の状況。

⑦そもそも単組での学びの機会が少ない上に、役員の短期化、コロナ禍による活動縮小が重なり、本体の労働組合や執行委員としての役割や共済推進の必要性、上部団体加盟の意味や政治への取り組みなど、全てにおいて希薄化が進んでいる。

県本部としては、単組間の横のつながりの強化と、単組執行委員の継続的な学習機会会の担保などにより、単組の底上げ、単組間の連携強化・情報共有による県本部運動の底上げが必要だが、組織としてシステマティックな体制がまだまだ構築できていない。

⑧・公共民間、一部事務組合の参加はほぼない（こちらとしても知識が無いため開催しづらい）

・参加者が役員1年目の方から永年役員を経験しているベテランまでいる場合、レベルを統一できない。また参加者の知識や意欲がどの程度あるのか（一般の組合員さんが参加してくださる場合に「組合運動」や「政治・選挙」を全面に出すと温度差や引かれてしまうのではないかと感じる一方、知識を伝えたいという気持ちもあり、それらが反比例している）

・どういった内容であれば、参加したいと思われ、参加してよかったと思われるか。また、見合った講師をどのように探したらいいのか。外部講師の場合事務手続き（マイナンバーや源泉等、手探りでみようみまねなので基礎を知りたい）

⑨マンネリ感が否めない。参加単組だけでなく、参加者も固定されがち

⑩県本部役員が講師を行う場合、講演ができる人とできない人の差が出てしまう

⑪ウェブ会議のやり方（ZOOMの扱い方等）グーグルフォーム、PC等に対する知識がないので、それらに関するセミナーを開催していただきたいです

ウェブ会議を実施しようとしても、単組でネット環境がなく結局不参加となる

⑫本部、県本部等、さまざまな会議や行事があり、日程調整が難しい

⑬単組強化が必要な単組からの参加が少ない。

⑭上記問題点の解決には、「組合だからこうすべき／こうしてはいけない」という想像力不足が障害。自治労での特徴的な取り組みを編纂した資料を作成して切磋琢磨を促すだけでなく、資本主義社会で成功している様々な手法に謙虚に学んでいく必要があるように思われる。自己批判ではなく、本部へのお願いとなってしまっても大変恐縮です。

⑮県本部担当者の確保

⑯他の県本部の労働学校のカリキュラムを共有化してほしい。

⑰コロナの影響で、開催予定であった新入組合員向け労働セミナーが開催できませんでしたが、次年度の2022年12月に対面開催を実現できました。また、2022年度は1日開催だった単組新規役員・地区支部長等向け労働セミナーも交流会込みで2日間開催することができ学びと交流を深めることができました。

6. 本部への意見

県本部	本 部 へ の 意 見															
	分散講座単位で日程を	講師紹介・派遣	支援 県本部労働学校の	活用 (通信講座)	インターネットの	他の県本部の情報	テキスト作成	研修プログラム	研修技法の紹介	費用の助成	担当者の研修	新規の研修の開催	若年対策	参加者確保の紹介	本部が把握する課題・先進事例を提供	その他
北海道				①												
岩手				⑦												
山形				○												
栃木		○		○②					○③							
長野		○						○	○							
石川		○														
静岡		○														
愛知					○											
三重		○④		○⑤	○											
京都				○												
奈良																⑧
和歌山		○							○							
徳島			○													
愛媛		○														
長崎			○		○			○								
大分			○						○							
鹿児島					○											
合計	0	7	3	6	4	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1

①ウェブを使つての学習会。学習動画の提供。学習動画については、15分程度の短いものを求める声がある。今後の課題として検討中。

②セミナー、労働学校等参加しやすい日程を組んで欲しい。また、東京には行けないが、Webなら参加したいとの単組もあり、ハイブリット開催を願いたい。

③本部がリストアップしている外部講師を県本部が依頼する場合、講師料等の補助を検討願いたい。

④おもしろい講師さんがいらっしゃったら、お教えていただきたいです。また、どこへ何を使って（メール？電話？）アポを取ったら取りやすいか教えて欲しいです。

上記にも記載しましたが、セミナーを開催するためのセミナー（講師側のセミナー？話し方等）があればいいなと思いました。

⑤単組役員の多くが、他単組との情報交換を求めています。ウェブ活用は、どこでも気軽に参加できるというメリットがあるが、聞くだけになってしまい、深まりが乏しい。全国で良い事例があれば共有していただきたい。

⑥様々な県本部が様々な学習会をしており、それには他所からみて良い点悪い点があると思う。A県本部の学習会にB県本部の役員が1人入りA県本部の学習会を学習する。B県本部の学習会にC県本部の役員が1人入りB県本部の学習会を学習する。C県本部の…というような、網目のように県本部同士が繋がる取り組みは面白いのではないかと思う。（地連で実施すべきことだとは思いますが）

もっと単純で言えば、評判の良い県本部の学習会へ参加する視察企画を行うとか、県本部学習会へ中央本部役員が参加し、参加後、その学習会内容について指摘をする教育実習のような企画を行うとか、何かしら前例踏襲で行ってきた学習会に風穴をあけるような取り組みを企画してほしい。

⑦動画配信が増えている。簡単で良いので配信概要をコメント欄等に記載があると単組への配信が即座にできるので、対応していただくと幸いです。

⑧ハードルが高くなく、参加者が募りやすいものを紹介してもらえれば、助かります。

1. 教育研修の位置付け

県本部名	教育研修の位置付け																								
北海道	<p>教育・学習活動の強化</p> <p>① 道本部組織強化・拡大第14次長期計画において「次代の担い手育成」を最重点課題に掲げています。運動課題を理解し、「単組運動の活性化」「組織拡大」「女性の参画」「自主福祉活動の推進」などを意識した運動の担い手育成は喫緊の課題です。</p> <p>② 道本部は運動の担い手を育成するため、目的や位置づけを明確にし、道本部学校を実施します。具体的には、「新入組合員学校」「単組・総支部役員講座」「活動家育成講座」「女性役員講座」「女性セミナー」「ステップアップセミナー」を実施します。なお、実施にあたっては道本部学校事務局会議で議論し、内容の充実をはかります。</p> <p>③ 道本部は、単組・総支部における学習会を支援するために道本部ホームページやSNSを活用した動画などの教材や関係資料の発信・提供を進めます。また、単組・総支部の学習会、新入組合員学校、単組・総支部役員講座などの講師派遣を積極的に進めます。</p>																								
青森	<p>(3) 活動家育成の取り組み</p> <p>① 青年部・女性部の育成・強化は、組合活動を推進していくうえで必要不可欠です。そのため、単組における統一闘争のすすめ方、独自要求書作成の仕方、交渉のすすめ方と戦略、教宣活動、自主福祉活動、政治闘争などを議題に、労働者学校、組織集会を開催し、青年部・女性部の強化と活動の活性化をはかっていきます。また、地連夏期交流集会、まなぶ読者交流集会などの参加を働きかけていきます。</p> <p>(5) 教育活動の取り組み</p> <p>① 労働者としての「ものの見方・考え方」を身につけるために、学習文献や情報を提供していきます。</p> <p>② 今年度の具体的教育活動計画を以下のとおりとします。</p> <p>ア. 青年・女性ブロック学習会 全単組、ブロック青年女性協議会活動の活性化をはかり、テーマを絞り込んだ学習会・交流会を開催します。</p> <p>イ. 県本部労働者学校 次代を担う人材と単組活動の担い手育成のため、県本部労働者学校を開催します。あわせて、組合活動経験に応じた(クラス別)カリキュラムの企画会議を開催し、講師の選定、講義内容、参加者交流も含めて行います。</p>																								
岩手																									
宮城	<p>(1) 活動家育成体制の充実・強化</p> <p>① 組合運動を継続・継承していく上でも、すべての単組の共通課題である次期役員候補の育成を急ぐ必要があります。その育成に向け、自治労本部が2021年9月から2023年8月までの2年間に次世代活動家の育成や新規採用者や、未加入者対策などに交付される、「県本部事業促進交付金」を活用しながら、県本部主催の労働学校や教宣学校、新入組合員学校などの再開をめざします。また、小規模単位での開催は可能であるため、単組単位での学習会等の実施を追求します。</p> <p>② 各種学校への参加を促すため、単組役員と若年層組合員が同時に参加できる体制の構築を追求します。</p> <p>③ 主な学校や講座は、以下のとおり行います。</p> <table border="0" data-bbox="319 1220 957 1422"> <tr> <td>ア. 春闘学習会</td> <td>1日</td> <td>1月</td> </tr> <tr> <td>イ. 教宣学校</td> <td>1日</td> <td>2月</td> </tr> <tr> <td>ウ. 労働学校</td> <td>1泊2日</td> <td>6月</td> </tr> <tr> <td>エ. 新入組合員学校</td> <td>1泊2日</td> <td>5～6月(総支部ごと)</td> </tr> <tr> <td>オ. 青年・女性労働講座</td> <td>1泊2日</td> <td>春・秋の年2回</td> </tr> <tr> <td>カ. 労働安全衛生講座</td> <td>1日</td> <td>7月</td> </tr> <tr> <td>キ. 賃金学校</td> <td>1日</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>ク. 5評議会課題別学習会</td> <td>1日</td> <td>9月(評議会総会と併せ1泊2日)</td> </tr> </table> <p>④ 県本部・単組の学習教育活動推進およびその充実・強化をめざし、本部・自治総研・労働大学出版センター・学識者および専門家等との連携を深め、講師陣などの体制を確立します。また、日常的な課題には、専従役員を中心に対応します。単組の学習活動推進に向けた県本部支援策の検討を行います。</p> <p>④ 単組内での学習会を積極的に開催し、労働大学などが主催する各種講座も積極的に活用し、役員・活動家の学習強化を図ります。</p> <p>(2) 宣伝活動の充実・強化</p> <p>① 県本部機関紙「自治労みやぎ」の月2回定期発行に努めます。そのため、編集体制等を確立するとともに、一層の紙面充実を図ります。</p> <p>② 単組において、活動の「見える化」と情報の共有化を図るために、機関紙・ニュースは重要なことから、定期発行に向けた指導を行っていきます。そのために、各単組の発行状況を調査し、教宣学校を再開する中から教宣担当者の育成を進めます。また、引き続き各単組のニュースを県本部で集約し、単組間の情報共有も進めていきます。</p>	ア. 春闘学習会	1日	1月	イ. 教宣学校	1日	2月	ウ. 労働学校	1泊2日	6月	エ. 新入組合員学校	1泊2日	5～6月(総支部ごと)	オ. 青年・女性労働講座	1泊2日	春・秋の年2回	カ. 労働安全衛生講座	1日	7月	キ. 賃金学校	1日	9月	ク. 5評議会課題別学習会	1日	9月(評議会総会と併せ1泊2日)
ア. 春闘学習会	1日	1月																							
イ. 教宣学校	1日	2月																							
ウ. 労働学校	1泊2日	6月																							
エ. 新入組合員学校	1泊2日	5～6月(総支部ごと)																							
オ. 青年・女性労働講座	1泊2日	春・秋の年2回																							
カ. 労働安全衛生講座	1日	7月																							
キ. 賃金学校	1日	9月																							
ク. 5評議会課題別学習会	1日	9月(評議会総会と併せ1泊2日)																							

県本部名	教育研修の位置付け
秋 田	<p>5. 組織を担う人材育成と活動家教育のため、以下の5点を重点課題として、産別教育機能の強化に取り組みます。</p> <p>① 単組の交渉力を高めるため、各単組の執行部を中心とした学習会を検討します。</p> <p>② 活動強化につながる賃金・労働条件を中心とした教育活動を行います。</p> <p>③ 新規採用職員学習交流会を継続するとともに、単組での新規採用者を対象とした共済推進学習会開催にむけ、人的・財政的支援を検討します。</p> <p>④ 次世代育成の担い手づくりを視点に、各種集会・セミナーを企画し、集会・セミナー参加者のフォローアップに努めます。</p> <p>⑤ 女性部と連携し、女性役員・組合員が参加しやすい学習会・集会・セミナーを模索し、組織を担う女性リーダーの育成に努めます。</p> <p>6. 単組は、新規加入組合員に対する取り組みを通して単組の活性化、活動家担い手の育成を強化します。また、執行部学習会を強化します。</p> <p>7. 県本部は、単組専従者や三役の教育を県本部の任務と位置づけ、県本部労働学校の再開に努めます。</p> <p>8. 県本部機関会議においては、継続して自治労組合歌、労働歌を取り入れます。単組に対しても、積極的に自治労組合歌、労働歌を取り入れることを推奨していきます。</p> <p>9. 元号を使用せず、西暦を使用することを、県本部・総支部・単組で徹底します。</p> <p>10. 労働大学出版センターが定期発行している「まなぶ」、または随時発行している「ユニオンノート」などの購読を推進し、学習と活動強化に役立てます。また、労働大学が主催する学習会、まなぶ読者会が主催する学習会に積極的に参加します。単組は、青年女性労働者を中心に「まなぶ」を活用した学習会の開催に努め、労働者教育を進めます。</p>
山 形	<p>労働者および労働組合としての意識・認識の醸成と共有化を追求するための日常的学習会（職場・単組学習会）を確立します。活動家づくりに向けた具体的実践（オルグ・学習会等）を進めていきます。主体的地域運動の徹底を図ります（ブロックごとに、各当局への要請行動の展開や地域における住民運動課題への関与等）。単組実態・詳細な課題の把握と指導を行います。</p>
福 島	<p>新入組合員研修や加入後の継続的なフォローアップ。 各種教育研修について、非専従役員の活動を意識した、本部主催の中央労働学校や県本部労働学校・労働講座への参加。 県本部労働学校・労働講座の開催。</p>
新 潟	<p>「教育研修」として運動方針上は組織課題として、新入組合員向け労働講座、労働学校、賃金闘争にむけては新潟県本部「自治労次世代プロジェクト」として賃金闘争を担える役員育成セミナー、その他、保育や教宣、消防協現業・公企など各課題への具体的取り組みとして企画・実施している。</p> <p>以下、参考として組織課題の議案から、新採用対策、役員担い手育成、単組学習活動に関する議案での記載を転記する。</p> <p>4 ゆるぎない県本部組織をつくるための取り組み</p> <p>2) 組合活動における次世代育成の取り組み</p> <p>(1) 新入組合員集会 新採用者の組織化や単組・職場での運動を担う後継者の育成をはかるため、新入組合員の学習と交流の場を提供することを目的に、青年部・女性部、共済県支部と連携して新入組合員集会を開催します。集会は、まず、新型コロナウイルスの感染防止に配慮したうえで、11月を目途に県内3会場に分散して開催し、150人以上の参加をめざします。</p> <p>(2) 労働学校 単組・補助機関などの新しい役員や次代を担う組合員の学習の場とするため、県本部は労働学校を開催します。体系的な学習の場を設けるとともに、時事的テーマや単組の要望にあわせたセミナー・学習会も取り上げて、単組の職場単位でも学習会などに活用できる内容となるよう工夫して取り組みます。 本部の中央労働学校へは県本部の新任役員のほか、単組の新任専従役員・女性役員などを中心に参加者を派遣します。</p> <p>3) 単組組織強化の取り組み</p> <p>(1) 執行委員会の開催と役員体制</p> <p>③ 県本部は単組執行委員会での人材育成のための学習の機会の設定など、単組執行委員会の機能強化を支援します。</p> <p>(4) 単組専従体制の確立</p> <p>③ 県本部は労働学校やJJP（自治労次世代プロジェクト※ 下記を参照）、各種セミナーや地域ブロック協議会の活動などを通じて、専従役員や役員候補の研修・人材育成を行います。 ※JJP（自治労次世代プロジェクト）（以下は第7期【23年1月～7月】企画より抜粋）</p> <p>目 的 この間、私たちの賃金は、給与構造改革や給与制度の総合的見直しなどにより、水準が大きく引き下げられ、制度も複雑化している。 各単組の状況を見ると「賃金のプロ」が少なくなり、各闘争期における要求・交渉が十分に行われず、「勧告の取り扱いのみ」の確認で闘争を終結している単組が散見される。また、役員の経験不足などから次代への引き継ぎが十分にできていない現状がある。 このことから、単組内で賃金・労働条件に精通する人材を育成し、長期的に運動に関われる組合員としての人材育成を目的とする。</p> <p>内 容 【2021年度参加実績】14単組74人 修了者2人 ＜カリキュラム＞ 第1回 オリエンテーション、2022闘争ふまえた（勧告の取り扱いなど）2023闘争の取り組みについて（定年延長制度・前歴換算の取り扱いなど） 第2回 2023春闘期の取り組み課題、人員確保闘争の取り組み、統一闘争スケジュールの確認・作成 第3回 定年延長制度の運用について（各単組の状況確認）、各種当面する課題について。 第4回 2023確定期間闘争重点課題の設定 第5回 人勸期情勢をふまえた確定期の展望、県本部重点課題の設定 第6回 単組要求の取りまとめ、模擬団体交渉について ※例年はモデル単組をピックアップし、グループワークを実施していたが、今回は参加者の単組をもとにカリキュラムを実施していく（自分の単組の課題や問題点を出し合い、共通の獲得課題を作っていく） 第1回1月28日（土）新潟市 第2回3月18日（土）長岡市 第3回4月15日（土）上越市 第4回5月13日（土）新潟市 第5回6月10日（土）長岡市 第6回7月8日（土）上越市 ※開催時間は10：00～16：00を基本とする。※第1回目と第6回目は交流会を開催する（感染状況を注視し、判断する）。</p>

県本部名	教育研修の位置付け
群馬	<p>1. 組織強化・拡大と担い手の育成</p> <p>(1) 組合活動の原点は、組合員の相互の助け合いであると同時に、組合員が抱える課題解決に向け取り組みを進めていくことにほかなりません。そのためには、丁寧に組合員の声を集め、職場の課題を共有し、課題の解決に向けた交渉が必要不可欠です。交渉により課題を解決するためには、組織を強化し、組合員の結集と行動が必要です。しかしながら、組織強化の必要性は認識されつつも、「なぜ組織を強化するのか」が全体化されず、「どうすれば組織強化につながるのか」の議論と学習が不足するなか、組織の強化は進んでいません。組織強化は目的ではなく、あくまで運動を推進し処遇を改善するための手段です。</p> <p>労働組合活動は、将来にわたって組合員の賃金や働く環境を守り・改善することが目的であることから、単年度で評価できるものではありません。重要なことは組織を強化し運動を継続することであり、そのためには運動の担い手育成を進めなければなりません。</p> <p>(2) また、担い手育成は、今年の活動を単に次の人に引き継ぐだけでは実現しません。職場でおこっている課題について、組合役員として、改善にむけた対応を議論・共有し行動するなかで、組合員との信頼関係を構築し、「これまでの経験」「思い」を共有することで担い手の育成は進みます。運動の継続と担い手の育成には役員の複数年化による組織強化が必要不可欠です。第91回定期大会で決定した「第4次組織強化・拡大のための推進計画」に基づき、県本部役員の複数年化を追求します。また、組織の強化と担い手の育成に向け、取り組みを重点化しながら、すべての組合員が結集する運動の構築を追求します。</p>
栃木	<p>(2022-23年度運動方針より一部抜粋)</p> <p>○組織強化と教育宣伝活動の拡充</p> <p>【重点課題】</p> <p>若年層、女性の組合参加を促進し、組織全体で次代の担い手育成を進めます。</p> <p>【次代の担い手育成】</p> <p>①「次代の担い手づくり」を単組全体の課題として協議し、具体的な取り組みを進めます。</p> <p>②若年層や女性が興味・関心を持ち、職場の身近な課題にそった学習会やレク活動を自らが企画・開催できるようサポートします。</p> <p>③じちろう共済の優位性をテーマに学習会を開催し、若手組合員への共済推進に取り組みます。</p> <p>④運動の担い手として重要な役割を果たす書記のスキルアップに取り組みます。</p>
茨城	<p>【人材育成のための産別教育機能の充実】</p> <p>9. 県本部・単組の組織を担う人材育成のため、ユニオンセミナーを開催し、あらためて賃金・労働条件の変更・決定にあたって「要求―交渉―妥結」の闘争サイクルの確立に対応できる単組力量の強化に取り組みます。特に、賃金制度や労働基準法、労働安全衛生法など、団体交渉に活用できる実践的な学習を強化します。また、政治情勢や経済の動向などの理解を深めるため、「いばらき自治フォーラム」と連携して単組三役などを対象としたセミナーを開催していきます。</p> <p>10. 単組の組織強化、活動家育成のためブロック活動者学校を開催します。また、評議会ごとの学習会も開催します。</p> <p>11. 連合・教育文化協会が開催する組合活動の担い手に関する教育研修・能力開発の拡充の取り組みに積極的に協力し、連携した活動を推進します。</p> <p>12. 教育制度全体のなかで女性の人材育成を推進するため、各種講座やセミナーにおいて、企画運営や講座内容にジェンダーの考え方を積極的に取り入れます。</p> <p>13. 単組は、新入組合員に対する学習会、及び単組活動の中心を担う人材の育成を目的とした教育活動に取り組みます。</p> <p>14. 県本部は、単組と共同で新採・職場活動家の育成に取り組むとともに、単組および県本部活動の中心を担う人材の育成を目的とした、青年女性労働学校や新入組合員労働学校を開催します。</p> <p>15. 自治労本部が主催する各種セミナーに積極的に参加します。また、単組・ブロック主催の講座・学習会をサポートするため、資料の提供や、講師の選定などを支援します。</p> <p>16. 日本音楽協議会(日音協)、自治労まんが集団、自治労芸集団などの活動など文化・スポーツ活動を支援します。</p>
埼玉	<p>新任役員研修の定例化</p> <p>県本部くみあいセミナーを開催し、単組役員の知識向上、単組間交流を支援します。</p> <p>単組役員学習会(賃金・組合役員の役割)を開催し、単組組合活動を一緒に考え、ともに取り組みます。</p>
東京	<ul style="list-style-type: none"> ・都本部規約・規程、コンプライアンス遵守、適切な業務執行、労働組合運動に必要な学習のため、内部研修を定期的実施します。 ・自治労や連合などの教育研修を取り入れながら、自治労運動を担う人材の育成を進めます。 ・都本部労働安全衛生対策委員会を中心とした推進体制を構築し、自治労安全衛生月間(7月)で23の取り組み、都本部安全衛生学習会の開催など、通年的に安全衛生活動を進めます。 ・ハラスメントやメンタルヘルスの基礎知識や正しい理解、職場でのハラスメント防止のため判断基準などを身につけるための学習会・研修を通じて、単組役員の支援に取り組みます。 ・春闘期・賃金確定期における統一闘争の意思統一および当事者の思いを共有するため、都本部臨時・非常勤協議会による学習交流会を開催します。
千葉	
神奈川	<p>新規採用職員や会計年度任用職員の組織化、次代の担い手育成をはじめとする組織拡大の課題について、引き続き、組織強化・拡大チームで企画・立案し、組織拡大推進委員会で議論し、対策を進めます。</p>
山梨	<p>単組執行部役員のスキルアップをはかり、参加者同士の連帯感を強め、単組運動の強化および自治労運動のネットワークを拡大することによって、県本部全体の運動の底上げをはかります</p>

県本部名	教育研修の位置付け
長野	<p>次代を担う役員の育成と学習活動の取組み (1) 県本部は単組・地区協と連携し、組合員のニーズや情勢に適応した学習会の開催や、学習素材の紹介、提供などを行います。</p> <p>① 県本部役員は、単組の学習会を積極的に支援します。なお課題に応じて、外部講師の紹介を行い、自治研センターや労働大学出版センターとも連携し、講師・テキストの紹介を行います。</p> <p>② 産別ネットの教育研修ポータルで公開されている各種学習素材の活用をすすめ、単組への情報提供を行います。</p> <p>③ 本部主催の各種研修会・講座等への参加を推進します。また、資料・出版物等の紹介、斡旋を行います。</p> <p>(2) 運動の強化と役員の人材育成をはかるため、県本部は次の講座・学習会を開きます。開催にあたっては、より効果的な学習となるよう学習内容・学習方法等の検討を重ねます。</p> <p>① 賃金・労働条件の改善、政治課題等の取り組みへの理解を深めるため、地区協別・ブロック別・評議会別学習会を開催します。</p> <p>② 県本部春闘討論集会を開催し、春闘期の課題と取り組み方針を意思統一します。</p> <p>③ 新たに県本部に加入した組合員等を対象に新入組合員学校を開催します。</p> <p>④ 労働者の視点からの価値観を学習し、職場での組合活動を担う人材育成のため労働学校を開催します。</p> <p>⑤ 女性の権利・労働条件向上と、組合運動への参加拡大をめざし女性労働学校を開催します。</p> <p>⑥ 各評議会において、学習・交流・情報交換などを行うことを目的に、各種集会を開催します。</p> <p>⑦ 労働三権を基本とした組合運動と組織強化のため公共サービス民間労働学校を開催します。</p> <p>⑧ 地方行政の課題に対し、自治研センターなどと連携して学習会を開催します。</p> <p>⑨ 「単組委員長・書記長会議」「単組執行部学習会」など、単組の交渉力や組織強化に向けた実践的な学習の場を追求します。あわせて、地区協議長・事務局長の参加も要請し、地区協機能強化につなげていきます。</p> <p>⑩ 単組役員等との自治体財政分析の専門性を高め、交渉力強化をはかるため、財政分析講座を開催します。</p>
富山	<p>役員、活動家、書記の育成・資質向上については、(7) 単組の新役員や交渉担当者（書記長等）を対象とした「単組役員育成講座」や学習会の開催、(f) 単組での学習誌「まなぶ」の購読・拡大、学習会の開催と定例化、(g) 単組青年・女性部役員は、「富山県青年女性労働学校」に積極的に参加、(e) 新入組合員講座受講後の教育・研修の場として、「県本部青年・女性労働講座」の再開、(h) 単組の組織活動の中心に青年部・女性部運動の育成・強化を据え、青年部及び女性部が未結成の単組は早期の結成、(k) 労働者としてのもの見方・考え方を学習する場の県本部補助組織や評議会、単組内での実施、(j) 地区協内に青年・女性協議会を結成し、学習会などの開催から単組間の交流をはかります。</p>
石川	<p>○次代の担い手育成にむけた労働学校を含めた研修体制の確立 県本部組織部を中心に次代の担い手育成を取り組み、新規組合員、新任役員など階層ごとの労働学校、セミナーの開催に対し、全単組参加をめざします。単組が新体制になった直後の個別研修体制（オルグ活動）を実施します。</p> <p>○県本部執行体制の専門性強化への課題 県本部の賃金・労働条件、政治政策、組織強化担当者、組織拡大に対する研修機会を確保します。</p> <p>○県本部・青年部、女性部、各評議会による組織強化 青年部もしくは女性部役員を主体とした、新規採用者や若年層組合員を対象とした学習会を開催します。各評議会役員による専門性を活かした学習会を開催します。</p>
福井	<p>【次代の担い手の育成と教育機能の充実】</p> <p>11. 県本部の将来的な人材育成は、単組の人材育成と一对のものであることを意識し、単組の人材育成を支援します。</p> <p>① 県本部は定期的な単組オルグなどを通じて、個々の単組に向き合いながら実態を把握し、その課題・悩みに寄り添い解決にむけた支援を行います。</p> <p>② 単組執行部の選出方法、新旧役員の引き継ぎ、役割分担などの現状把握と次代の担い手づくりの育成を目的に、単組オルグを強化します。</p> <p>③ 単組活動が非専従役員によって担われている現状を踏まえ、限られた時間の中で組合活動に注力できるよう、わかりやすく、具体的な活動に結びつく方針や計画を策定します。</p> <p>④ 自治労共済の優位性をテーマに学習会を開催し、若手組合員への共済推進に取り組みます。</p> <p>⑤ 単組役員や若手組合員などから構成するチームにて、「今後の組合運動のあり方」や「どうすれば組合員に必要とされる組合になるか」など、福井県地方自治研究センターと連携し、未来を見据えた議論を開始します。</p>
静岡	<p>県本部は、単組活動を支援しともに活動する立場から、以下のように取り組みます。</p> <p>① 単組の組織状況を把握し、日常的なサポートを行いながら、信頼関係の構築・強化をはかります。また単組の声を集め、組織状況にあわせた助言や指導を行いながら、ともに取り組み、単組の日常活動を丁寧に支援します。</p> <p>② 地域ブロック活動を通じて単組が相互に課題解決に取り組めるよう、その機能を高めます。また、単組間での情報共有や意見交換が進む場を定期的に設定します。</p> <p>③ 県本部の各種会議等について点検・見直しを行います。単組の取り組み事例やノウハウの共有、単組ニーズに即したテーマ設定、開催方法、開催日程など、多様な組合員の参加をめざすとともに、単組が日常活動のヒントや課題解決の方策を得られるよう意識します。</p> <p>④ 単組の担い手育成に向け、若手、中堅役員のゆにおんかっじ（県本部労働学校）・単組学習会等の学習会への参加を求めます。</p>
愛知	<p>自治労愛知県本部 第35回大会 第1号議案 2022-2023年度運動方針（案）より 4 労働運動の担い手を育てる取り組み 【次代を担う単組・県本部役員育成の取り組み】</p> <p>1. 単組・県本部は、役員育成が組織の重要な課題であることを再度認識し、単組やブロックにおいては、まずは組合員が参加しやすい文化・レクリエーション事業や学習会などの開催や、若年層組合員によるイベント企画などを通じて、次代の担い手となる人財の発掘をめざします。</p> <p>2. その上で県本部は、本部交付金も活用しつつ、重点単組への定期的・継続的な学習会を開催し、労働者としての視点や職場における課題の原因と背景、解決策を議論する中で、担い手を育てます。</p> <p>3. 県本部は、単組役員と担い手となる女性組合員や若年層組合員が、公務労協・自治労本部等の各種集会などとともに参加できるよう支援します。</p> <p>4. 県本部は、単組独自では実施しにくい労働学校の開催や各ブロックと協力した学習会の開催など、担い手を育てる環境を作り、単組の労働運動の中核を担う人財の育成と参加者同士のつながりを深めることで、単組間や県本部との連携強化を図ります。また、県本部運動の活性化と単組に戻った後の更なる単組・ブロックの組織強化を目的に、若手・中堅層の県本部専従派遣を進めます。</p>

県本部名	教育研修の位置付け
岐 阜	<p>運動方針に記載なし。 労働学校という形式では開催していないが、単組を担うリーダーを育成するために『県本部リーダーズセミナー』を開催している。 また、各評議会方針の中で専門課程の集会・セミナー・学習会の開催について記載しており、評議会ごとに現状と課題を理解する場としている。</p>
三 重	<p>組合役員の次代の担い手の育成が課題となっていることをふまえ、教育活動等を一層強化していく必要があります。 県本部においては、組合活動に関する認識をさらに深めるため、新役員セミナー等の学習会やセミナーを開催しています。 単組においては、多くの若手組合員に運動に参加してもらうとともに、役員の交代時において、組合の運営だけでなく、運動の目的・意義をしっかりと引き継ぐことなどにより、次代の担い手を育成していくことが重要です。 (9) 教育宣伝活動の取り組み 組合員に対し、有用な情報を迅速に分かりやすく伝えることができるよう、情報提供に努めていきます。 希望する単組にオンライン用のパソコンの貸し出しをするなど、オンラインツールの活用体制も整いました。基本は対面でのつながりを大切にいきつつも、感染状況等を見極めながら、情報提供の機会や方法も検討していきます。また、各種セミナーをより充実させ、自治労運動の次代を担う役員の育成等教育活動の推進に力を入れていきます。</p>
滋 賀	<p>【教育活動への取り組み】 第7次県本部組織強化計画に基づき、単組組織の強化と活性化、県本部や単組の運動を担う次世代役員育成のための取り組みについて、ユニオンセミナー等の企画を行い、取り組みを強化します。 【県本部の組織強化の取り組み】 県本部は、県本部・単組の組織力を高めるため各種学習会の充実をはかります。特に、コロナ禍の状況を注視しつつ、担い手の育成を主眼にしたユニオンセミナーを開催できるよう具体的企画・検討をすすめます。また、賃金闘争につなげるための交渉力強化の取り組みや賃金冊子を活用した単組の賃金課題を見出すための学習会を開催します。加えて、単組単独での企画が難しい各種学習会など、単組と連携しながら企画検討をおこないます。</p>
京 都	<p>第87回定期大会 運動方針から (1) 単組活動の活性化、次代の担い手育成、新規採用者の組織化等の目標達成にむけ、以下の取り組みを進めます。 ① 府本部は、自治労本部と意見交換・オルグなどの連携を強化します。 ② 産別建設センターを通じ、組織強化にむけた対策を協議するとともに、組織拡大にむけた議論を行います。 ③ 県本部事業促進交付金にかかる事業の実施に関し、課題の確認と進捗状況の共有化を進め、今後の計画の議論を開始します。 ④ 府本部は、組織強化・拡大の取り組み推進のため、年6回以上の産別建設センター会議を開催します。また、以下の内容を協議します。 ア 11月：組織集會 イ 1月：産別オルグ団会議に参加（本部の会議） ウ 2月：新採組織化対策会議 ⑤ 府本部は、単組に対する情報提供や活動支援のほか、単組間の情報交換の機会提供など、単組活動の活性化による組織強化を進めます。そのため、活動が停滞気味な単組について日常的な連携を強めます。また、対面とウェブなどを効果的に組みあわせ、単組オルグや会議等を行うことで、単組への情報提供、具体的要望や意見の把握等をさらに進める等、単組の支援に取り組みます。 (2) じちろう共済の優位性を組合員へ伝え加入を勧める活動を強化し、とくに、若年層組合員の加入拡大を進めます。 (3) 財政分析講座やセミナーを開催し、財政分析を労使交渉・協議に活かす取り組みを進めます。 (4) 新入組合員が組合活動を実感する取り組みとして、職場課題をテーマに意見交換や学習会を行うなど、アフターフォローに取り組みます。 (5) 府本部新入組合員歓迎集會を開催し、組合に接する第一歩として、組合を知ってもらい、今後組合活動に積極的に参加してもらえるよう、魅力ある内容での運営を図ります。 (6) 交流会等、文化・スポーツ・レクリエーション活動の取り組みを通じ、単組を超えて多くの部員と知り合い、部員相互の理解と親睦を深め、「また参加したい。また会いたい」等、活動のきっかけとして、いつまでも交流を続けていけるような出合いの場を提供していきます。また、レクリエーション等の活動を通じて、各部員が日ごろ抱えている不満や問題を出し合い、青年部全体で問題を共有し、職場環境や権利の向上を目指し、問題の解決や要求の実現に向けて、単組間の団結力を高めます。 (7) 青年部未組織の単組にも交流会・学習会・新入組合員歓迎集會等への参加を呼び掛け、近隣単組とも連携しながら、組織化を達成するよう努力します。 (8) 男女平等意識の向上をめざした学習会の開催や、女性役員・活動家の育成やエンパワーメントにつながる研修を検討していきます</p>
奈 良	<p>県本部として、統一的な単組活動家の養成教育研修が行えていない。 気楽に参加してもらえるものを企画運営し多くの参加者を募りたい。</p>

県本部名	教育研修の位置付け
和歌山	<p>【次代の担い手育成と教育機能の充実】</p> <p>○次代の担い手育成を自治労組織全体の課題と位置づけ、「県本部事業促進交付金」などを活用し組織の意識改革と運動の見直しを進めます。人材育成に不可欠な教育研修について、機能強化をはかります。</p> <p>○単組は組合活動の魅力を高めると同時に、若年層・女性が参加しやすい組合活動にむけ環境整備を進めます。若手組合員、青年部の活動活性化は、単組組織全体の活性化であることを意識し、以下に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次代の担い手づくり」を単組全体の課題として協議し、具体的な取り組みを進めます。 ・若年層、青年部が職場での悩みや仕事に関する情報交換など、気軽に意見交換できる場づくりを進めます。 ・若年層の興味・関心や、職場の身近な課題からテーマを抽出し、学習会やレク活動を企画・開催します。労働組合は多様な活動が可能な場であることを認識してもらい、若年層の美感や達成感を高める取り組みを積み重ねる中で、組合への参加を促します。 ・若手組合員、青年部の意見を受け止め、主体的に活動できる場を提供しながら、必要な支援を行います。 ・県本部主催の労働学校や各種学習会への積極的な参加を促します。 <p>○県本部の将来的な人材育成は、単組の人材育成と一対のものであることを意識し、単組の人材育成を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県本部または地連単位で「次代の担い手づくり」をテーマに協議・意見交換を行い、課題解決にむけた検討を行います。 ・単組執行部の選出方法、新旧役員の引き継ぎ、役割分担などの現状把握と次代の担い手づくりの育成を目的に、単組オルグを強化します。 ・新入組合員研修や加入後の継続的なフォローアップ、県本部労働学校など、単組の人材育成を意識した各種教育研修を体系的に整備し、取り組みます。
大阪	<p>次代を担う単組役員育成のため、府本部ユニオンカレッジを開校します。WEBを活用したカリキュラムや参加者交流などを企画し、参加者同士の横の連携を強化できるよう一定期間継続したプログラムを構築します。</p>
兵庫	<p>2022年度運動方針より</p> <p>【教育・学習活動】</p> <p>6. 県本部教育宣伝委員会で、単組執行部学習や次世代育成をはじめとする教育宣伝課題を議論し、取り組みを企画します。</p> <p>7. 2022年度は本部の事業促進交付金を活用し、教育宣伝委員会と青年部、女性部が連携して、労働学校、女性部臨職評合同学習会、青年女性地域別交流会などを一連のものとして、取り組みます。また、参加者への継続的なフォローアップで交流と学習の場を保証していくことで、単組の組合員同士の横の繋がりを広げることも意識しながら取り組みます。</p> <p>8. 例年開催している県本部労働学校とスキルアップセミナーについては、労働学校パワーアップ版として2022年2月に基礎編、2022年8月に実践編を開催します。</p> <p>9. 自治労本部が主催する情報宣伝セミナーや中央労働学校等や教育・研修セミナーについても県本部の取り組みの参加者にも広く周知して、積極的な参加を促し、単組役員のスキルアップをめざします。</p> <p>10. じちろうネットの「教育研修ポータル」での学習講座動画の周知や、ブロックでの新入組合員講座や学習会等の参加を積極的に働きかけるとともに、県本部・ブロックから講師派遣や素材提供等に積極的に取り組みます。</p> <p>11. 単組での新規採用職員を始めとした若年層への学習会を少なくとも年1回の開催ができるよう支援をします。また、単組の執行部強化にむけ、県本部・ブロックからの講師派遣を行い、執行部むけ学習会の開催を働きかけ、組合活動の実践にむけた組織力量の底上げを進めます。</p> <p>12. 県本部は、本部が提起する県内の高校や専門学校などでのワークルールや労働組合の意義などを教える「出前講座」の開催の可能性について調査検討します。</p>
岡山	<ul style="list-style-type: none"> ・県本部は、単組の役員・活動家育成にむけて、引き続き、県本部労働学校を開催します。 ・県本部は、県内の新規採用組合員・職員の交流の場として、新規採用職員交流会を企画します。
広島	<p>単組活動はもとより、自治労運動を担う役員の育成や若年層や女性組合員の運動への参画が喫緊の課題となっていることから、次代の担い手育成と教育機能の充実をはかるため、「労働講座」を開催してきた。特に、組合員が抱える身近な悩みや課題に寄り添い、若年層組合員・青年部・ユース部・女性部の主体的な活動と活性アを通じ、担い手の育成を進めていくため、「県本部新入組合員セミナー」「ステップアップセミナー」を開催します。</p>
鳥取	<p>持続可能な組織体制の回復</p> <p>～互いの関係を再構築し、参画し育て合い支え合える組合づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場課題や仕事に関連するテーマなど、組合員の興味・関心に即した集会・学習会・研修会の開催に取り組みます。 ・単組の取組事例やノウハウの共有、単組ニュースに即したテーマ設定、開催方法、開催日程など、多様な組合員の参加を目指すとともに、単組が日常活動のヒントや課題解決の方策を得られるよう意識します。
島根	<p>議案集P114【島根県本部の教育研修の取り組み】</p> <p>19. 単組における人材育成が、単組・評議会・県本部の持続的な組織強化につながるとの認識のもと、人材育成にむけた教育研修を重要課題と位置付け、県本部主催による講座・学習会を開催します。</p> <p>20. 主な教育研修講座・学習会としては、下記のとおりとしますが、その他の人材育成に関わる学習会等については、諸情勢や単組からの要望等を踏まえて開催を検討することとします。</p> <p>①新入組合員学習会 あらたに組合加入した新入組合員に対して、組合運動、自治労運動の基礎的な事項や各種制度を習得する機会として開催します。</p> <p>②女性セミナー 次代を担う女性活動家の人材育成を目的に、研修・学習会を開催します。</p> <p>③労働学校 次代の単組役員候補者や現職の役員を対象として、単組役員を担うことに対する意識を高める機会として開催します。</p>
山口	<p>県本部「県本部第10次組織強化・拡大推進計画」を策定し、単組の強化・拡大に取り組むこととし、体系的な教育研修を通じて自治労運動を担う人材の育成をはかる。</p>
香川	<p>3. 県本部体制の強化をはかるとともに、単組の強化・拡大に取り組みます。</p> <p>① 平和労組会議との共催による香川県労働者セミナーの運営に、主体的に取り組みます。具体的には、労働大学やまなぶ県協等との共催体制を強化しながら豊富化を図ります。また青年女性ブロック別学習会などの継続的な教育システムを確立するとともに、まなぶ講演会、まなぶ学習交流会、四国労大学習会など、友誼団体が主催する学習・交流事業に主体的に参加します。また、賃金・労働条件や政策・制度など、各分野に精通した担当者を育成します</p>

県本部名	教育研修の位置付け
徳島	未来の活動家をしっかりと育成するため、濃密な教育を施す機会をもうけ続けていく。同時に、広く多数の参加者が学習できる機会を提供することにも注力している。この二つのバランスを取りながら、教育研修を行っていく。
愛媛	人材育成のための「仕事の学校」や若手組合員の労働組合の意義を知るための「フレッシュャーズ講座」を開催すること。 また、近年では競合や組織率が低い単組で新採加入の取り組みが非常に困難な状況であることから、単組・ブロック単位で「自治労の必要性や結集する意義」といった原点に回帰した学習会を実施する予定。
高知	2021年県本部定期大会において、組織拡大・強化方針と並んで人材教育の強化を方針化。 これまでの県本部の教育・学習体系を見直し、組織運営、交渉の進め方、賃金労働条件に関する基本的知識など実践に使えるカリキュラム等も踏まえて、教育体系を具体的に再構築していく。
福岡	<p>【2022運動方針】</p> <p>Ⅲ. つながり・支え合う組織の確立</p> <p>2022年度の取り組み</p> <p>1. 単組機能の強化と県本部体制の確立</p> <p>(3) 単組機能強化及び次代の担い手育成のため、以下に取り組みます。</p> <p>① 単組は、職場課題や仕事に関するテーマなど、組合員の興味・関心に即した集会・学習会・研修会の開催に取り組みます。</p> <p>② 県本部は、単組活動を支援するため、単組役員がモチベーションを持って活動に取り組めるよう支援することを意識して、連続学習会など各種教育研修の企画・運営を行います。</p> <p>③ 県本部は、将来的な人材育成が、単組機能の強化と一対のものであることを意識し、単組の人材育成を支援します。</p> <p>④ 単組・総支部・ランク・県本部は、ユース部が主体的に活動できるよう、若年層組合員の意見を受け止め、活動の場を提供するなど必要な支援を行います。</p> <p>⑤ 単組・支部・総支部・県本部は、ユース部と連携して若年層の興味・関心や、職場の身近な課題からテーマを抽出し、学習会等を開催します。労働組合は多様な活動が可能な場であることを認識し、実感や達成感を高める取り組みを積み重ねる中で、組合参加を促します。</p> <p>⑥ 単組・総支部・ランク・県本部は、会議や集会等の日時の設定、開催方法など誰もが参加しやすい環境づくりに努めます。</p>
佐賀	自治労を取り巻く環境は、ますます厳しくなっており、このような時こそ労働組合役員の任務と指導性が極めて重要となっています。県本部では、組織の強化・拡大を謳った第19次組織強化長期計画の目標達成に向けて、「時代の担い手」の育成と現行執行部の体制強化をはかり、今日までの運動課題の整理と共有化、単組運動の活性化を目的に自治労学校活動者コースを開催したものである。
長崎	<p>【次代の担い手育成と教育機能の充実】</p> <p>9. 次代を担う人材は日常の活動からしか生まれません。人（組合員）が集うことで活動が活性化し、それが次代を担う人材育成へとつながります。次代の担い手育成を自治労組織全体の課題と位置づけ、組織の意識改革と運動の見直しを進めます。また、人材育成に不可欠な教育研修について、より実効性のあるものとなるよう、産別全体で機能強化をはかります。</p> <p>10. 単組は組合活動の魅力を高めると同時に、若年層・女性が自ら運動することによっての達成感を得られるような組合活動にむけ環境整備を進めます。また若手組合員、青年部、女性部の活動活性化は、単組活動の活性化と並行した、組織全体の活性化、次代の担い手の人材育成につながることを意識し、以下に取り組みます。</p> <p>1) 「次代の担い手づくり」を単組全体の課題として協議し、具体的な取り組みを進めます。</p> <p>2) 職場での悩みや仕事に関する情報交換など、気軽に意見交換できる場づくりを進めます。</p> <p>3) 若年層や女性が興味・関心を持ち、職場の身近な課題にそった学習会やレク活動を自らが企画・開催できるようサポートします。労働組合は多様な活動が可能な場であることを認識してもらい、多様な組合員の実感や達成感を高める取り組みを積み重ねる中で、組合への参加を促します。</p> <p>4) 若年層、女性の意見を受け止め、主体的に活動できる場を提供しながら、必要に応じて支援を行います。</p> <p>5) 若手組合員、女性が仕事や家庭と組合活動との両立に大きな負担を抱えている現状を踏まえ、時代や体制に即した運動の見直しなど、単組活動全体のあり方を工夫します。</p> <p>6) 県本部主催の労働学校や各種学習会への積極的な参加を促します。</p> <p>11. 県本部の将来的な人材育成は、単組の人材育成と一対のものであることを意識し、単組の人材育成を支援します。</p> <p>1) 県本部は定期的な単組オルグなどを通じて、個々の単組に向き合いながら実態を把握し、その課題・悩みに寄り添い解決にむけた支援を行います。</p> <p>2) 新入組合員研修や加入後の継続的なフォローアップ、県本部労働学校などの各種教育研修については、非専従役員の活動を意識し、内容・会議の開催方法などを見直します。</p> <p>3) 自治労共済の優位性をテーマに学習会を開催し、若手組合員への共済推進に取り組みます。</p>
大分	<p>教育活動の推進</p> <p>① 私たちを取り巻く情勢の変化を的確に捉えるとともに組合員の意思疎通をはかり課題の解決にむけ組合への結集を求めするためには、教育活動はとりわけ重要です。県本部は、自治労運動を理解し継承・発展をはかるために、今後も労働者教育を実践し各種学習会を開催します。開催にあたっては、より効率的な方法を模索していきます。また、単組の組織強化や組合員の意識の高揚をめざした労働教育を進めるとともに、その内容の充実にも努めます。</p> <p>② 県本部と単組新役員との意思統一をはかり、課題の克服に取り組むため新役員学習会を開催します。</p> <p>③ 「労働者としての視点・考え方」を学習し、今後の自治労運動を担う活動家を育成するため、労働学校を開催します。普通科では労働運動に関する基本的知識を習得することを目的とした内容を、専攻科では労働運動に関する専門的な知識を習得することを目的とした内容をより充実させるとともに、日程等に計画性を持った運営を進めます。また、組合活動への女性参画促進をはかるため、普通科・専攻科ともに女性の積極的な参加を求めます。</p> <p>④ 新採用の組合員を対象に労働組合の基礎的知識の習得や連帯意識の高揚をはかるため、新入組合員学習会を開催します。開催にあたっては、新入組合員が参加できる条件を整えた上で全単組の参加を呼びかけます。内容についても、わかりやすい講義や単組間交流を重視した組み立てを検討します。なお、30人以上の新入組合員がいる単組については単組独自開催を基本とします。</p> <p>⑤ 単組での学習活動の推進をはかるために、講師の派遣・紹介、学習資料の提供を行います。</p> <p>⑥ 各種運動の推進をはかるため、中央本部や連合大分、県平和運動センターなどが開催する学習会に積極的に参加します。</p>

県本部名	教育研修の位置付け
宮崎	<p>【第91回定期大会運動方針案より】</p> <p>三 たたかう組織の確立</p> <p>I 学習活動の強化と運動の担い手の育成</p> <p>学習活動を強化し、運動の担い手の育成に取り組みます。</p> <p>①交渉担当者会議を開催します。</p> <p>②ユニオンアカデミー（旧新入組員学校）を開催します。また、総支部・単組での開催も追求します。</p> <p>③労働講座を開催します。</p> <p>④単組書記長会議を開催します。</p> <p>⑤単組、総支部、評議会単位での学習活動、担い手育成に取り組みます。</p>
熊本	<p>組合活動の強化にむけて、次代の担い手育成をめざし、10～11月にかけて「新規単組役員・地区支部長等セミナー」を開催します。</p> <p>若年層組員むけに、組合の意義や活動、他単組とのネットワークづくり、じちろう共済の優位性を学ぶなど、県本部ユース部と連携し、「新入組員むけ労働セミナー」開催にむけて検討します。</p>
鹿児島	<p>第85回定期大会資料より抜粋</p> <p>1. 教育活動の基本的考え方と産別教育機能の充実</p> <p>(1) 教育活動の基本的考え方</p> <p>県本部は、単組が自主的に実施する活動の支援と県本部や総支部・地区本部が直接実施する活動を組み合わせながら、次代の自治労運動を担う人材育成のため、教育研修機能の充実をはかってきています。引き続き、県本部、総支部・地区本部や単組の教育研修の責任領域を位置づけながら、取り組みを行います。</p> <p>(略)</p> <p>② 県本部の取り組み</p> <p>単組執行部と県本部活動の中心を担う人材の育成を目的とした教育活動、および単組の教育活動への支援を行います。また、連合や他産別と連携をはかりながら、研修メニューの多様化など教育研修活動の拡充にむけて、講師や協力助言者の確保、教育研修団体などとの交流を進めます。</p> <p>ア. 各単組・総支部（地区本部）が行う「新入組員セミナー」に積極的に協力し、自治労（労働）運動への理解を促します。</p> <p>イ. 新任執行委員、青年部員および女性部員のスキルアップならびに活動家の育成と参加者間の交流を目的として「県本部労働学校（ユニオンカレッジ）」を開催します。</p> <p>ウ. 中央本部または県本部が主催する各種セミナーへの積極的な参加を単組に促しながら、青年部、女性部や各評議会が抱える課題の共有化とそれぞれの段階での教育研修を実施し、各機関のリーダーや単組・総支部・地区本部の役員となる人材の育成をはかります。また、各評議会等が開催する書記長会議等へも積極的に協力し、各評議会等のスキルアップをはかります。</p> <p>とくに若年層については、次代の自治労運動を担う人材であることから、基本組織と一体となった取り組みを行います。</p> <p>エ. 単組強化の観点から、関係法制度に関する知識や技術、実務能力の向上のための実践教育を目的として「単組四役セミナー」を開催します。また、公共労組部門と民間労組部門については、共通課題以外については別途、分科会を実施します。</p> <p>③ 単組、総支部・地区本部の取り組み</p> <p>ア. 単組は、総支部・地区本部と連携しながら、新入組員に対する学習会の取り組み、および単組運動の中心を担う人材の育成を目的とした教育活動に取り組みます。</p> <p>イ. 単組・総支部・地区本部は、自治体・公共サービス職場の全新入組員を対象とした「新入組員セミナー」を開催し、自治労（労働）運動への理解を促します。</p> <p>ウ. 総支部・地区本部は、単組と連携し、単組および総支部活動の担い手育成に取り組みます。また、「青年部・女性部の交流・学習会」にも積極的に参加します。</p>
沖縄	<p>①県本部は事業計画「労働学校TheWeb」に取り組み、次代を担う人材育成を進めます。</p> <p>②県本部は単組の教育活動を支援し、単組活動の活性化を図ります。</p> <p>③「労働学校TheWeb」受講生制度を引き続き取り組みます。</p> <p>④県本部教育宣伝セミナーを開催し、教育宣伝担当者の育成に努めます。</p> <p>⑤単組機関紙の定期発行に向け、教育宣伝担当者会議を開催します。</p>
社保	<p>○次代を担う役員の人材育成を目的とした、ねんきん機構労組・協会けんぽ労組、各地方本部の取り組みを積極的に支援します。</p> <p>○青年・女性運動の活性化にむけ、あらゆる取り組みに青年・女性の参画を追求し、運動強化と学習活動の推進をはかるとともに、ねんきん機構労組・協会けんぽ労組の主体的な取り組みを支援します。</p> <p>○地方本部・支部・分会においては、日常的な職場活動の活性化を最重要課題として、組員から信頼される労働組合の機能と役割を強化し、情報周知や学習など、課題の共有と全員参加の運動をめざします。</p>

2. 教育研修の体制

県本部名	担当部局	責任役職・担当者役職・名前	運営担当
北海道	教育情宣部	書記長 山木 紀彦 教育情宣部長 高田 将平	運営委員会・プロジェクトで対応 (名称 自治労北海道学校運営委員会)
青森	組織対策局	副中央執行委員長 岩淵恵一 書記 工藤公嗣	担当部局で対応
岩手	教宣部及び組織調査部	書記長 及川隆浩 書記次長 千葉猛(日蔭丈朗)	担当部局で対応
宮城	教育宣伝部	教宣部長 岡本 雄大 書記 菊池 涼太	担当部局で対応
秋田	教育宣伝部	副中央執行委員長 齋藤雅樹 財政局長・中央執行委員 山内一滋・村岡耕平	担当部局で対応
山形	教宣部	書記長 齋藤富士雄 書記 安藤寛菜	担当部局で対応
福島	調査部	調査部長 和知 聡	担当部局で対応
新潟	教育宣伝部 (組織部、賃金労働部)	教育宣伝部長 山本 善人	担当部局で対応
群馬			担当部局で対応
栃木	教育宣伝部	書記次長 大関寛泰 書記 佐々木圭子	
茨城	教育宣伝	書記長 生井澤 律子 書記 小林 弘美	担当部局で対応 運営委員会・プロジェクトで対応 (名称 ユニオンセミナー実行委員会)
埼玉		書記長 前原 書記次長 杉田	
東京	内容により各局で担当	書記次長 須崎崇文	担当部局で対応
千葉			
神奈川	組織局	組織局長 松本 好史 組織拡大専門員 高尾 真	担当部局で対応
山梨	自治労山梨県本部	中央執行委員長 白倉 和也 書記次長 後藤 真彦	運営委員会・プロジェクトで対応 (名称 ユニオンセミナー実行委員会)
長野	総務報道局	書記次長 小林 誠 総務報道局長 山田 和敏	担当部局で対応
富山	担当部局は特になし。研修内容により担当者が変わる。		担当部局で対応
石川	組織部	組織部長 坂下 英之 組織部担当 北村 隆史	担当部局で対応
福井	組織局	書記長 五十嵐 祥 書記次長 高橋 亮太	担当部局で対応
静岡	組織部	書記長(組織部長) 大隅 靖 執行委員(組織担当) 高田 佑美	運営委員会・プロジェクトで対応 名称 ゆにおん・かれっじ (県本部労働学校) 運営委員会
愛知		書記長 近藤 邦博 書記 松本 高徳	担当部局で対応

県本部名	担当部局	責任役職・担当者役職・名前	運営担当
岐 阜	各評議会別の担当役員及び書記		
三 重	教宣部	副委員長 宮脇 拓也 書記 松井 涼	担当部局で対応
滋 賀	教育宣伝部	書記長 工藤 博司 書記次長 川村 幸久	担当部局で対応
京 都	なし	書記長 川戸英美 組織拡大専門員 中原慎太郎	運営委員会・プロジェクトで対応 (名称 産別建設センター)
奈 良	組織部 教育	部長 藤本幹也 事務局長 須貝 縦	担当部局で対応
和 歌 山	組織部	組織部長 (県本部副委員長) 吉川 和孝	担当部局で対応
大 阪	総合組織局男女協働部	副執行委員長 田中 伸生 男女協働部長 竹田 聖子	運営委員会・プロジェクトで対応
兵 庫	教宣部	教宣部長 秦信昭 書記 藤田正也	運営委員会・プロジェクトで対応 (名称 教宣委員会)
岡 山			運営委員会・プロジェクトで対応 (名称 労働学校運営委員会)
広 島	総務教宣局	書記長 竹田 恵 書記 中川 友美	担当部局で対応
鳥 取	教育宣伝部	部長 稲田いずみ 書記 鈴木結加	担当部局で対応
島 根	担当部局なし	書記長 木下 幹也	担当部局で対応
山 口	教育宣伝部	部長 古川 俊 (県本部書記次長) 山本 容子	担当部局で対応
香 川	組織担当	副委員長 久保武士 書記 大西竜郎・蔵本和幸	運営委員会・プロジェクトで対応 (名称 香川県労働者セミナー実行委員会)
徳 島	組織局	県本部書記長 鈴木圭吾 県本部組織局書記 平田俊介	運営委員会・プロジェクトで対応 (名称 県本部労働学校運営委員会)
愛 媛		執行委員長 中塚広之 書記 西岡亜実	運営委員会・プロジェクトで対応
高 知	組織部・教育宣伝部	書記長 山崎幹生 組織部長 中岡歩美	担当部局で対応
福 岡	教育報道局	教育報道局長 奥田龍弥	担当部局で対応
佐 賀	教宣局	組織教宣局長 永石亀	担当部局で対応
長 崎	組織局	組織局長 廣島 時一 組織局次長 井村 義則 ※その他各評議会担当役員	担当部局で対応 (※評議会については各評議会担当で対応)
大 分	総務教宣局	総務教宣局長 藤島 勲 教育宣伝部長 吉川 祥平	担当部局で対応
宮 崎	組織局	副執行委員長 中原 広幸 執行委員 蔵本 聡	担当部局で対応
熊 本	組織部	書記次長 森 友紀 組織部長 蔵元 慎也	担当部局で対応
鹿 児 島	労働局	書記次長 豊田 一彦 執行委員 松蘭 宏貴	担当部局で対応
沖 縄	組織局 教育宣伝部	県本部副委員長 前底伸幸 教育宣伝部長 知花史直	担当部局で対応
社 保	特に特化した体制はない		

3. 教育研修にかかわる予算（2022年度）

県本部門名	総予算	主 内 訳
北海道	4,667,000円	新入組合員学校 415,000 ステップアップセミナー 605,000 単組・総支部役員講座 415,000 活動家育成講座 2,027,000 女性セミナー 609,000 女性役員講座 546,000 教材費 50,000
青 森	2,300,000円	課題別会議・集会費 800,000 組織対策費 1,500,000
岩 手	18,100,000円	3-1-1組織費 14,300,000 3-1-2教宣費 500,000 3-2-1青年部費 1,000,000 3-2-2女性部費 1,000,000 3-2-3町村評費 300,000 3-2-4現業評費 1,000,000
宮 城	5,500,000円	教育宣伝部費 5,500,000
秋 田	1,050,000円	書記長会議 350,000 教宣講座・単組教宣学習会 200,000 共済学習会 500,000
山 形	3,500,000円	各専門部及び各補助機関の予算より支出。 予算額については、各補助機関からの支出合計額を計上。
福 島	2,650,664円	カリキュラム・講師料（j-union） 1,802,900 講師旅費（FPユニオンLabo） 24,518 会場費・宿泊・昼食 779,069 サテライト会場費等 37,677 雑費 6,500
新 潟	5,435,000円	新入組合員集会（3会場） 1,200,000 自治労次世代プロジェクト（JJ P）全5回 1,500,000 県本部書記会議研修会 600,000 現業評議会 交渉力セミナー 200,000 県本部青年・女性ユニオンスクール 300,000 県本部ユニオンアフタースクール 300,000 県本部青年女性春闘討論集会 400,000 県本部春闘討論集会・新春セミナー 150,000 県本部労働安全衛生セミナー 485,000 公共民間労組サポートセミナー 300,000
群 馬	2,600,000円	集会費 300,000円 学習会費 2,300,000円
栃 木	7,000,000円	組織対策費 1,500,000 教育宣伝対策費 1,500,000 現業対策費 1,000,000 公企対策費 200,000 青女対策費 1,000,000 福祉対策費 1,000,000 臨時非常勤等職員対策費 300,000 公共民間労組評特別会計 500,000
茨 城		ブロック活動者学校 1,300,000 ユニオンセミナー 696,000 新入組合員労働学校 600,000 青年女性労働学校 130,000 中央女性労働講座 170,000

県本部名	総予算	主 内 訳
埼玉	910,000円	役員研修・くみあいセミナー 140,000 組織集会 150,000 現評学習会等 350,000 保育集会・学習会等 270,000
東京	24,610,000円 (他の取り組み含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研修費 100,000円 ・男女平等参画推進費 260,000円 (他の取り組み含む) 専門局費_労働局費 (他の取り組み含む) ・労安対策費 450,000円 ・非常勤協議会費 800,000円 専門局費_組織局費 (他の取り組み含む) ・組織対策費 5,000,000円 ・地協活動費 3,000,000円 ・現評活動費 3,750,000円 ・青年部活動費 2,150,000円 ・女性部活動費 1,900,000円 専門局費_政治政策局費 (他の取り組み含む) ・衛生医療対策費 850,000円 ・社会保障対策費 3,090,000円 ・自治研費 1,350,000円 地域公共民間費_組織対策費 (他の取り組み含む) ・公共サービス民間労組協議会 1,910,000円
千葉		
神奈川	700,000円	新役員セミナー 700,000
山梨		宿泊費 150,000円 交流費 100,000円 飲食費 50,000円 会議費 100,000円 講師代 100,000円
長野	2,100,000円	新入組合員学校 600,000 労働学校 1,500,000
富山	13,980,000円	組織化・組織強化対策費 (※) 7,640,000 実践講座 会場料等 160,000 新入組合員講座 2,180,000 新入組合員講座単組助成 3,000,000 新入組合員講座単組助成 (2022年度新採対象) 1,000,000 ※組織強化の一部を教育研修に充てている
石川	10,150,000円	闘争費 3,000,000円 教宣活動費 2,400,000円 県職評 50,000円 市職評 250,000円 町村評 200,000円 現業評 1,000,000円 衛生医療評 400,000円 公共民間評 500,000円 社福評 350,000円 青年部活動費 1,000,000円 女性部活動費 1,000,000円
福井	950,000円	県本部労働学校 (自治体用+公共民間用) 700,000 若手組合員研修 250,000
静岡	11,500,000円	組織活動費 (全体) 6,500,000 青年女性部費 (全体) 5,000,000

県本部名	総予算	主 な 内 訳
愛 知	813,550円	教育費（労働学校等） 520,000 組織活動費（社会福祉評議会） 組織活動費（衛生医療評議会） 組織活動費（青年部）ステップアップセミナー 232,250 組織活動費（青年部）新歓 61,300
岐 阜	3,356,740円	県本部ウェルカムセミナー（教育費） 1,865,000 県本部青年・女性リーダーズセミナー（教育費） 1,220,000 県本部労働安全セミナー（教育費） 171,540 県本部リーダーズセミナー（教育費） 100,200
三 重	7,250,000円	教育活動費 7,250,000 各補助機関（女性部等でも予算立てしているものもあります）
滋 賀		県本部ユニオンセミナー 700,000
京 都	3,173,962円	京都自治研集会 958,122 リーダーズセミナー 564,096 新入組合員歓迎集会 134,298 男女がともに担う学習会 162,997 地方財政セミナー 46,977 学童児童館保育関係学習交流会 25,132 町村評・学習会／賃金権利セミナー 102,446 社福評 京都保育集会 97,444 J I - U P パワーアップセミナー 206,148 府本部労働安全衛生学習会 71,537
奈 良		
和 歌 山		県本部ユニオンセミナー 1,000,000 県本部町村職評議会活動者学校（秋・春） 500,000 県本部青年女性協議会ワーキングスクール 100,000 県本部ユニオンカフェ 2,000,000
大 阪	1,270,000円	ユニオンカレッジ開催費 1,000,000 自治労運動を女性と男性がともに担う2022年度学習会 100,000 女性ネットワーク学習会 120,000 2022町村評議会学習会 50,000
兵 庫	600,000円	労働学校費 100,000
岡 山	1,000,000円	労働学校等研修経費 1,000,000
広 島	5,760,000円	組織対策費 1,200,000 組織強化費 4,560,000
鳥 取	690,000円	中央労働学校 20,000 県本部新組学習会 250,000 その他（教育研修、労働学校等） 180,000 男女がともに担う委員会（学習会等） 240,000
島 根	5,000,000円	労働学校 887,000 労働安全研修会 371,000 新入組合員学習会 1,487,000 女性役員学習会 814,000
山 口	2,300,000円	県本部青年女性部労働学校 400,000 Welcome自治労！新規組合員研修 1,500,000 県本部労働学校 400,000
香 川	5,000,000円	学習活動費 5,000,000

県本部名	総予算	主 な 内 訳
徳 島	5,600,000円	県本部労働学校等 3,000,000 新聞印刷 2,200,000 各資料、図書 400,000
愛 媛	270,000円	仕事の学校 400,000 フレッシュヤーズ講座 800,000 部会評議会集会 150,000
高 知		教育費 1,500,000 評議会活動費 9,500,000
福 岡	2,900,000円	教育報道局費 学習・研修会費 500,000 政策費 学習会関連費 1,800,000 現業評議会費 学習・研修会費 300,000 公営企業評議会費 学習・研修会費 50,000 ユース部費 学習・研修会費 100,000 都市交通評議会費 学習・研修会費 150,000
佐 賀	1,333,990円	会場費 26,800 旅費 332,750 講師料 150,460 資料印刷代 235,400 学習交流会 582,120 諸経費 6,460
長 崎	1,202,597円	総支部への交付金 527,022 旅費 527,445 会場代 27,380 交流会費 85,000 食糧費(昼食代) 35,750
大 分	7,500,000円	労働学校(普通科・専攻科) 3,100,000 新入組合員学習会 3,200,000 情宣セミナー補助 500,000 新役員学習会 700,000
宮 崎	3,100,000円	交渉担当者会議 1,300,000 ユニオンアカデミー 700,000 労働講座 1,100,000
熊 本	411,625円	単組新規役員・地区支部長等向け労働セミナー 411,625
鹿 児 島		
沖 縄		教宣費 1,500,000
社 保	6,148,800円	政策研究集会 2,072,800 平和学習行動 4,076,000

4. 県本部の教育研修について

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
北海道	新入組合員学校（地方本部別で9カ所で開催）	労働組合の基本的な必要性や役割の学習、および単組間交流による仲間づくり	入職3年目まで	約500人	6月～11月	混合（ハイブリッド）	運営費 交流会費	交通費 宿泊代	10,000程度
	単組・総支部役員講座（3地方本部が開催）	地方本部の会議に併せて開催。単組間の情報交換と、直近の情報などを共有。その他、教宣講座や政治学習会など。	単組の4役クラス	約150人	4月23日 7月16日 9月23日	混合（ハイブリッド）	運営費 交通費 宿泊代	交流会費	5,000円程度
	女性セミナー（全道5カ所で開催）	女性役員の育成	女性役員およびその候補	約100人	8月6日 8月20日 9月17日	混合（ハイブリッド）	運営費	交通費 宿泊代	2,000円程度
	※女性役員講座およびステップアップセミナーは、2022年についてはコロナで中止								
青森									
岩手	2022県本部町村評学習交流会	町村単組の賃金・労働条件改善を進めるため、制度、取り組みに寄与する学習を実施	町村単組役員を中心に組合員も含む	8人	2022年5月28日	混合（ハイブリッド）	運営費 交通費		0円
	県本部青年部女性部セミナー・ウィンタースポーツ交流会	青年部女性部組合員の組織強化に寄与する学習を実施	青年部・女性部組合員	28人	2022年2月5日	混合（ハイブリッド）	運営費	交通費 宿泊代	
	県本部青年部女性部セミナー	青年部女性部組合員の組織強化に寄与する学習を実施	青年部・女性部組合員	28人	2022年6月18日	対面	運営費 交通費		0円
	県本部女性集会	女性組合員の働きやすい職場の実現にむけた取り組みに寄与する	女性部組合員	20人	2022年5月14日	対面	運営費 交通費		0円
宮城	春闘学習会・単組代表者会議	春闘情勢・方針の合確認と課題の整理	単組役員他	50人	2022年1月21日 13:30～17:30	対面	運営費 交通費		
	総支部別政治学習会	政治闘争の必要性を学習する	単組役員他	100人	2022年5月12日・17日・18日・19日	対面	運営費	交通費	
	青年女性労働講座	青年女性役員の学習強化	青年女性部組合員	40人	2022年6月11日 10:30～6月12日 12:00	対面	運営費 交流会費	交通費 宿泊代	10,500円
	青年女性政治学習会	政治闘争の必要性を学習する	青年女性部組合員	20人	2022年7月1日 18:30～20:00	対面	運営費	交通費	
秋田	県本部単組・支部書記長会議	賃金・労働条件や共済推進、政治闘争等諸課題に係る取り組みについて学習するとともに組織強化にむけて交流を深め、単組運動の活性化を図る。	単組・支部の書記長及び単組三役、今後、単組三役を担う人材	22人（単組8・県本部中執8・県本部専従者4・県本部書記2）	12.11（土） 13:30～12.12（日）12:30	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費	交流会	4,000円
山形	青年部役員討論会（スキルアップセミナー）	活動家育成、労働者意識の向上、意見交換、交流等	青年部・女性部組合員	25人	2022年6月15日 13:00～16:00	対面	運営費 交通費		
	県本部女性集会	女性が定年まで健康に働き続けるために	女性部組合員	25人	2022年3月8日 13:15～16:30	対面	運営費 交通費		

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
山形	県本部福祉集会	福祉職場の課題共有	社会福祉部組合員	15人	2022年9月3日 13:00～14:20	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費		
	県本部公共民間協春 闘交流集会	春闘での要求前進に向け、意見交換、交流を図る	公共民間協議会組合員	15人	2022年2月5日 14:00～16:00	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費	交通費	
	県本部青年女性労 働学校	活動家育成、労働者意識の向上、職場の意見交換等	青年部・女性部組合員	50人	2022年9月26日 13:30～17:00	対面	運営費 交通費	交通費	
	県本部現業夏季交流 集会	活動家育成、労働者意識の向上、意見交換、会計年度任用職員の組織化に向けて	現業部組合員	45人	2022年8月19日 10:15～8月20日朝	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費	運営費 交通費 宿泊代	
	総支部別新組学習会	組合の基本、自治労共済等	新入組合員	80人程×3	総支部別に1日開催	対面	運営費 交通費	交通費 宿泊代 交流会 その他	0円～ 10,000円
	総支部別ブロックセ ミナー	活動家育成、労働者意識の向上、意見交換等	青年部・女性部組合員	20人程×2	月1回の開催を目標に最北・置賜で開催	対面	運営費 交通費	交通費	
福島	労働学校 (1日目)		入職5年以内の若手組合員	27名	7月30日(土) 10時～17時	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費 宿泊代		
	労働学校 (2日目)		入職5年以内の若手組合員	29名	8月5日(金) 10時～17時	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費 宿泊代		
	労働学校 (3日目)		入職5年以内の若手組合員	33名	8月6日(土) 10時～17時	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費 宿泊代		
新潟	県本部新入組合員集 会(新潟会場)	採用3年未満を対象として「新入組合員の労働者としてのモノの見方・考え方を養う第一歩の場」「他単組の同世代の仲間との交流の場」と位置づけ。集会は青年部・女性部が連携して主体的な企画・運営。	新入組合員 (採用3年未満)組合員+引率	36	11月19日11時から 17時30分まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	県本部新入組合員集 会(中越会場)	採用3年未満を対象として「新入組合員の労働者としてのモノの見方・考え方を養う第一歩の場」「他単組の同世代の仲間との交流の場」と位置づけ。集会は青年部・女性部が連携して主体的な企画・運営。	新入組合員 (採用3年未満)組合員+引率	21	11月23日11時から 17時30分まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	県本部新入組合員集 会(上越会場)	採用3年未満を対象として「新入組合員の労働者としてのモノの見方・考え方を養う第一歩の場」「他単組の同世代の仲間との交流の場」と位置づけ。集会は青年部・女性部が連携して主体的な企画・運営。	新入組合員 (採用3年未満)組合員+引率	15	11月26日11時から 17時30分まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
新潟	自治労次世代プロジェクト (JJP) 第1回 (長岡開催)	給与構造改革や給与制度の総合的見直しなどによる水準低下や制度の複雑化対し、単組賃金闘争を強化するため長期間にわたり運動に携われる「賃金のプロ」を養成する。 (内容は前述の第7期企画を参照)	目的に照らした単組役員等	14	1月28日10時から17時まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	自治労次世代プロジェクト (JJP) 第2回 (新潟開催)	給与構造改革や給与制度の総合的見直しなどによる水準低下や制度の複雑化対し、単組賃金闘争を強化するため長期間にわたり運動に携われる「賃金のプロ」を養成する。 (内容は前述の第7期企画を参照)	目的に照らした単組役員等	16	3月12日10時から16時まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	自治労次世代プロジェクト (JJP) 第3回 (上越開催)	給与構造改革や給与制度の総合的見直しなどによる水準低下や制度の複雑化対し、単組賃金闘争を強化するため長期間にわたり運動に携われる「賃金のプロ」を養成する。 (内容は前述の第7期企画を参照)	目的に照らした単組役員等	12	5月21日10時から16時まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	自治労次世代プロジェクト (JJP) 第4回 (新潟開催)	給与構造改革や給与制度の総合的見直しなどによる水準低下や制度の複雑化対し、単組賃金闘争を強化するため長期間にわたり運動に携われる「賃金のプロ」を養成する。 (内容は前述の第7期企画を参照)	目的に照らした単組役員等	8	6月11日10時から16時まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	自治労次世代プロジェクト (JJP) 第5回 (新潟開催)	給与構造改革や給与制度の総合的見直しなどによる水準低下や制度の複雑化対し、単組賃金闘争を強化するため長期間にわたり運動に携われる「賃金のプロ」を養成する。 (内容は前述の第7期企画を参照)	目的に照らした単組役員等	12	7月2日11時から17時まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	県本部書記会議研修会	県内単組で働く書記の研修・学習の場の提供により知識・経験を深め、単組を超えた書記の交流による情報交換を行い、日ごろの業務の円滑化をはかる。	県本部・単組書記	53	12月9日12時から16時まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	現業評議会 交渉力セミナー (3ブロック合同・新潟会場)	現業・公企統一闘争にむけ、実際に交渉に参加する各単組の組合員に対し、模擬団交等により知識を深め、統一闘争での交渉力を高める。	県内単組 現業職で実際に交渉に参加する組合員各2人以上	27	8月20日13時から16時まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
新潟	現業評議会 交渉力セミナー (2ブロック合同・上越会場)	現業・公企統一闘争にむけ、実際に交渉に参加する各単組の組合員に対し、模擬交渉等により知識を深め、統一闘争での交渉力を高める。	県内単組 現業職で実際に交渉に参加する組合員各2人以上	24	9月10日13時から16時まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	青年女性ユニオンスクール	職場の「合理化」による問題に対し、「合理化」に気づくための「労働者としてのモノの見方・考え方」を養う。また仲間との学習・交流を図り、夏期の青年女性交流集會に参加・持ち寄る。	交流集會参加予定者＋各単組青年・女性部組合員	17	7月2日13時から16時30分	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	青年女性ユニオンアフタースクール	夏期の青年女性交流集會での学びや持ち帰ったことを各単組の青年部・女性部組合員にひろげ、確定期以降の取り組み強化や職場環境改善につながるきっかけをつくることを目的。	交流集會参加者＋各単組青年・女性部組合員	13	10月2日13時30分から17時まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	青年女性春闘討論集會	青年女性労働者の置かれている生活職場実態や秋闘を終え、春闘期に学習を行い新たな闘争サイクルとして賃金要求をはじめとした青年女性の譲れない要求を掲げ取り組みを進める	県本部青年部・女性部組合員 ※ 各臨時大会に引き続き合同開催	60	2月26日13時30分から16時30分まで	混合（ハイブリッド）	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	県本部春闘討論集會・新春セミナー	1月の旗開き・拡大単組代表者会議に併せ、春闘情勢や課題を理解し春闘に臨むことと、新春セミナーは時節の政治課題を取り上げた講演を行い、政治闘争の活性化に資する	拡大単組代表者会議参加者・執行部（大会参加規模の約7割程度）	103	1月13日15時から14日11時まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	県本部労働安全衛生セミナー	職場の労働安全衛生の確立にむけ、現業評議会と県本部が連携し、各回課題を選定しセミナーを開催する。（今回はメンタルヘルス・ストレスチェック制度）	労安衛生委員を担う組合員、単組役員及び現業評議会組合員 ※ セミナー毎になるが、事業所側の担当者も対象とする場合がある。	52	12月3日13時30分から15時30分まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	県本部公共民間サポートセミナー	単組の組織運営を強化し、経営側からのさまざまな攻撃に対抗できる自立した労働組合とすることと、共済加入のメリットを周知し、引き続きの自治労への結集をはかる。	公共民間労組役員・組合員	14	12月10日13時30分から18時まで	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
群馬	【青女部】2022単組役員スキルアップセミナー	単組役員モチベーションのアップやスキルアップ、連帯感の高揚などを図り、単組活動の活性化につなげる	単組青年女性部役員	25単組91名	①2022年2月6日(日)13:30~16:30(組織強化分科会) ②2022年2月11日(金・祝)13:30~16:30(教宣分科会)	ウェブ	運営費 交通費 (県本部青女部執行委員のみ)	交通費	(旅費以外はなし)
	【青女部】2022スタートアップセミナー	自治労運動や公務員賃金などについての学習・交流	新入組員	20単組61名	2022年5月7日(土)13:30~16:30	対面	運営費 交通費 (県本部青女部執行委員のみ)	交通費	(旅費以外はなし)
	【青女部】2022ユース・ライフセミナー	自主福祉活動の重要性を学び、自身の将来設計について考え、加入促進をめざす	単組青年女性部員	19単組54名	2022年6月10日(金)13:00~17:30	対面	運営費 交通費 (県本部青女部執行委員のみ)	交通費	(旅費以外はなし)
	【青女部】2022くみあい塾	労働組合の必要性や重要性などを理解するとともに、労働者・自治体職員として必要な知識を学習・交流し、今後の活動に結びつける	単組青年女性部員	18単組62名	2022年7月23日(土)13:30~17:30	対面	運営費 交通費 (県本部青女部執行委員のみ)	交通費	(旅費以外はなし)
	【健福評】学習会	喫緊の課題の学習、取り巻く情勢の確認、単組間交流	保育・関連職場組員	9単組16名	2022年6月26日(日)10:30~12:00	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費 (県本部健福評幹事のみ)	交通費	(旅費以外はなし)
	【公企評】2022年度学習会	喫緊の課題の学習、取り巻く情勢の確認、単組間交流	公企労組役員・組員	7単組22名	2022年5月18日(水)18:30~20:00	対面	a 運営費 b 交通費 (県本部公企評幹事のみ)	交通費	(旅費以外はなし)
	【公共民間】学習会	喫緊の課題の学習、取り巻く情勢の確認	公共民間単組役員・組員	12単組26名	2021年12月9日(木)19:00~20:20	対面	運営費 交通費 (県本部公民評幹事のみ)	交通費	(旅費以外はなし)
	【書記会議】全体会議・学習会①~②	喫緊の課題の学習、取り巻く情勢の確認、単組間交流	単組書記	①12単組37人 ②10単組31人	①2022年1月27日(木)15:30~17:00 ②2022年6月7日(火)14:30~17:00	対面② ウェブ①	運営費 交通費		
【教宣】2022機関紙セミナー	単組の教宣活動のサポート	単組教宣担当役員・教宣活動に興味のある組員	12単組21名	2022年6月4日(土)14:00~17:30	対面	運営費 交通費 (県本部教宣対策委員のみ)	交通費	(旅費以外はなし)	
栃木	県本部書記会議全体・3地区研修会	自治労書記政策の基本に則り、書記のスキルアップをはかる。	県本部・単組書記	全体28人 3地区40人	全体：9月28日(水)14:30~17:00 県央：2021年12月7日(火)9:00~12:00 県北：2021年12月10日(金)10:00~12:00 県南：1月13日(木)10:00~12:00	対面	運営費 交通費 交流会費		0円

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
栃 木	県本部青女協集会 「ゆる花」	青年と女性組合員が気軽に体験を楽しみながら、職場の課題などの意見交換しながら、交流を深める	青年と女性組合員	17人	5月14日(土) 13:00~16:00	対面	運営費 交通費		0円
	県本部現評定年引き 上げ学習会	定年引き上げ制度への理解を深め、現業職員に関する課題を共有するため	現業職組合員	26人	7月30日(土) 13:30~15:30	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費		0円
	県本部リーダー セミナー	22春闘に向け、自治労・県本部方針を共有し、全体会(地方財政)と分散会(組織運営、機関紙、共済)の知識を学ぶ。合わせて、単組・組合員が交流し、情報・意見交換。	単組四役	61人	2022年1月22日 (土) 9:30~ 12:00	対面	運営費 交通費 交流会費		0円
	男女がともに担う自 治労栃木委員会講演 会	制度改正を学ぶとともに、男性育休の取得率の向上を通じ、職場における男女平等参画の促進をめざす。	組合員	39人	2022年9月3日 (土) 14:00~ 16:00	対面	運営費 交通費		0円
	県本部保育集会	公立保育園の役割として求められる、障がいを持つ子どもへの保育について、理解を深める。	保育士および 保育行政を担 う組合員	37人	2022年10月23日 (土) 14:00~ 16:00	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費		0円
茨 城	2022年度ブロック活 動者学校	一般組合員を対象に組合活動の基礎を学ぶ。	組合員、青 年・女性	第1回-5/11 58人(県 北・水郡・ 水戸・県職 ブロック) 第1回-5/17 47人(鹿 行・県南・ 土浦ブロッ ク) 第2回-6/7 60人(県 北・水郡・ 水戸・県職 ブロック) 第2回-6/9 44人(鹿 行・県南・ 土浦ブロッ ク) 第3回-7/5 58人(県 北・水郡・ 水戸・県職 ブロック) 第3回-7/7 52人(鹿 行・県南・ 土浦ブロッ ク) 延べ319人 参加	第1回-5/11、 5/17 第2回-6/7、6/9 第3回-7/5、7/7 いずれも18:30~ 20:00に開催	混合(ハイブリッド)	運営費 講師料・ 旅費	運営費 会場費 (ブロッ ク負担) 交通費	

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
茨城	ユニオンセミナー	組合役員、新任役員、青年部・女性部、評議会の役員などを対象に、労働組合活動の権利・賃金、労働法規などの学習とグループ討論をしながら役員の定着化をめざす。	組合役員、新任役員、青年・女性	第1回—14 単組50人 第2回—11 単組37人	第1回-5/21 13:00～17:00 第2回-7/16 10:00～17:00	混合(ハイブリッド)	運営費	交通費	
	2022年度賃金確定討論集会(第4回ブロック活動者学校)	賃金確定闘争に向けた単組・ブロックの意思統一。2005・2014給与制度改革と現行制度を理解して、給与制度改革で旧制度賃金取り戻す。	単組役員・賃金担当、ブロック役員	17単組43人	10/16 10:00～16:30	対面	運営費 交通費		
	新入組合員労働学校(青年部・女性部)	新組合員を対象に労働組合の権利・賃金・共済などを学習し自治労への理解を深める。	組合に加入し3年経過までの新組合員	14単組40人	10/9 10:00～16:30	対面	運営費 交通費 交流会費		
	保育集会(社会福祉評議会)	保育運動前進のため。	単組保育職場組合員	10単組29人	6/11 13:00～16:30	混合(ハイブリッド)	運営費	交通費	
	福祉関係職場交流集会(社会福祉評議会)	福祉職場運動前進のため。	単組福祉職場組合員	6単組7人	11/27 14:00～16:00	a 対面 b ウェブ c 混合(ハイブリッド)	a 運営費 b 交通費 c 宿泊代 d 交流会費	a 運営費 b 交通費 c 宿泊代 d 交流会費	
	青年女性県内職場交流集会(青年女性労働学校(前期))	賃金確定闘争、独自要求闘争など青年・女性労働者の要求実現にむけた取り組みのため。	青年女性	12単組52人	6/12 13:30～17:00	混合(ハイブリッド)	運営費	交通費	
	青年女性労働学校(後期)	賃金確定闘争、独自要求闘争など青年・女性労働者の要求実現にむけた取り組みのため。	青年女性	11単組40人	9/11 13:30～17:00	対面	運営費	交通費	
	現業評議会春闘討論集会	現業評議会として春闘に取り組むタイミングで、時勢に応じた学習会を開催。今回は労働安全衛生をテーマにした。	現業職員	9単組19人	3/19 10:00～12:00	対面	運営費	交通費	
	現業評議会現業職場学習会	近年に死亡事故が発生したため、労働安全衛生について学習した。	現業職員	13単組21人	7/23 10:00～12:00	対面	運営費	交通費	
	現業・公企統一闘争総決起集会	現業公企統一闘争に取り組むタイミングで、時勢に応じた学習会を開催。今回は定年延長をテーマにした。	現業・公企職員	14単組25人	10/22 10:00～12:00	対面	運営費	交通費	
2022県本部町村職交流集会	町村職の組合員を対象に、時勢に応じた学習会を実地。今回は人材確保をテーマに実施しており、全国町村評議会の直近の動向等についても解説。	町村職組合員	5単組11人	11/2 13:30～17:00	対面	運営費	交通費		

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
埼玉	保育交流会	参加者交流、保育実践交流	保育士、放課後支援等保育に関わる組合員	15	11月21日 10:30~12:00	対面	運営費 交通費		
	現業学習会	定年延長について学ぶ	現業組合員	15	12月4日 15:00~16:30	対面	運営費 交通費		
	春闘・政治学習会	春闘学習、政治活動の必要性	単組代表者	44	1月6日 14:30~17:00	対面	運営費 交通費		
	現業集會	春闘方針、現業・公企統一闘争学習、意思統一	現業・公企組合員	20	2月26日 15:00~17:00	対面	運営費 交通費		
	保育学習会	保育情勢学習、組織内議員の必要性を学ぶ	保育士、放課後支援等保育に関わる組合員	20	3月6日 10:30~12:00	対面	運営費 交通費		
	埼玉保育集會	保育を考える仲間づくり	保育士、放課後支援等保育に関わる組合員	44	6月5日 9:30~12:00	対面	運営費 交通費		
	現業学習会	労働組合と政治闘争について学ぶ	現業・公企組合員	15	6月18日 15:00~17:00	対面	運営費 交通費 交流会費		
	くみあいセミナー (南ブロック)	政治活動の必要性、なぜ組織内議員は必要か	35歳以下の役員になって1年~3年以下の役員及び役員候補者		12月4日(公共民間) 1月29日南ブロック	対面 ウェブ	運営費 交通費		
	くみあいセミナー (北ブロック)	役員経験のメリット	35歳以下の役員になって1年~3年以下の役員及び役員候補者		2月19日北ブロック	対面 ウェブ	運営費 交通費		
	賃金学習会	単組実態を学ぶ	単組役員		ときがわ町職 6 さいたま市職 12 熊谷市職 10 秩父市職 7 嵐山町職 4 松伏町職 2 寄居町職 13 桶川市職 9 上里町職 4 上尾市職 10 所沢市職 2 川島町職 17 計 96	ときがわ町職 2021年10月20日 さいたま市職 2021年8月4日 熊谷市職 2021年9月13日 秩父市職 2021年8月16日 嵐山町職 2021年8月3日 松伏町職 2021年8月5日 寄居町職 2021年9月8日 桶川市職 2021年8月18日 上里町職 2021年8月19日 上尾市職 2021年10月22日 所沢市職 2021年8月10日 川島町職 2021年9月28日			
東京	【Web】東京都本部2021自治研連続学習会(第3回)(13:30~ Web開催)				2022年2月12日	ウェブ			

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
東京	【Web】都本部臨時・非常勤協議会2022春開学習会 (10:00～ Web開催)				2022年2月27日	ウェブ			
	【Web】都本部民間協組合力アップセミナー (19:00～ Web開催)				2022年3月8日	ウェブ			
	【Web】都本部自治体議員連合学習会 (13:30～ Web開催)				2022年4月30日	ウェブ			
	【Web】都本部現業評議会保育現業部会2022学習交流会 (18:15～ Web開催)				2022年5月20日	ウェブ			
	都本部社会福祉評議会児童館・学童部会学習交流会 (13:30～ SKホール)				2022年5月29日	対面			
	都本部青年部・女性部第23回青年女性中央大交流集会事前学習会 (19:00～ SKホール、Web併用)				2022年6月6日	混合（ハイブリッド）			
	都本部2022男女平等・ジェンダー平等推進学習会 (18:30～ 連合会館)				2022年7月12日	対面			
	【Web】2022都本部労働安全衛生学習会 (18:00～ Web開催)				2022年7月22日	ウェブ			
	都本部女性部第1回女性役員向けセミナー～女性労働カフェ～ (18:30～ 中野サンプラザ)				2022年9月2日	対面			
	都本部現業評議会清掃部会2022年度学習会 (18:30～ 中野サンプラザ、Web併用)				2022年9月9日	混合（ハイブリッド）			
	都本部女性部第2回女性役員向けセミナー～女性労働カフェ～ (18:30～ 中野サンプラザ)				2022年9月30日	対面			
都本部民間協三多摩ブロック2022学習会 (10:00～ 中野サンプラザ)				2022年10月15日	対面				

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
東京都	都本部民間協社会福祉グループ/社協労組ネット東京 2022学習会 (13:00～ 中野サンプラザ)				2022年10月15日	対面			
	都本部女性部第3回女性役員向けセミナー～女性労働カフェ～ (18:30～ 中野サンプラザ)				2022年10月21日	対面			
	都本部民間協2022組織強化拡大プロジェクト「賀川豊彦記念松沢資料館」見学・学習会 (10:30～ 賀川豊彦記念松沢資料館、Web併用)				2022年11月19日	混合（ハイブリッド）			
	都本部社会福祉評議会児童館・学童部会2022年度学習交流会 (13:00～ 中野サンプラザ)				2022年12月4日	対面			
	都本部民間協一般グループ2022年度第4回拡大幹事会（ミニ学習会） (19:00～ 中野サンプラザ)				2022年12月9日	対面			
	都本部女性部・青年部2022反戦平和フィールドワーク「国立ハンセン病資料館」見学学習会 (12:30～ 国立ハンセン病資料館)				2022年12月11日	対面			
	都本部民間協23区ブロック2022学習会 (19:00～ 中野サンプラザ、Web併用)				2022年12月12日	混合（ハイブリッド）			
	都本部民間協2022年度被災地支援事業「首都圏大規模災害に備える体験学習」 (11:00～ そなエリア東京)				2022年1月14日	対面			
	都本部自治研学習会 (13:30～ SKホール、Web併用)				2022年1月14日	混合（ハイブリッド）			
千葉県	新採対策会議	100%加入に向け全体で昨年度の反省や良かったことなどを共有する	新採のある単組	40	毎年1月に行っている	対面	運営費 交通費		0

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
千葉	政治学習会	政治活動の自由と選挙運動の制限などを再認識させる	希望者全員	50	選挙前に行う	対面	運営費 交通費		0
	仕事の学校	各テーマごとに講師を呼び学ぶ	テーマごとに違う	20～100	年2～3回	対面 混合（ハイブリッド）	運営費 交通費 交流会費		0
神奈川	新役員セミナー	単組役員の次世代育成	単組・支部の新役員（役員経験1～3年）、比較的経験の少ない役員、役員を展望する組合員、書記	9	2022年9月3日	対面		なし	
山梨	自治労山梨県本部委員長・書記長セミナー	単組役員の育成 単組の運動強化	単組委員長・書記長・単組役員	24人	2021年11月6日 14時～17時	対面	運営費	交通費	0
長野	新入組合員学校	労働組合の基礎を学び、単組を越えた交流を深める	入職3年目までの新入組合員	126人	2022年6月11日 （土）13時から 17時30分	混合（ハイブリッド）	運営費 宿泊代	交流会	8,000円
	労働学校	労働者としてのものの見方・考え方を学ぶ。単組を越えた交流を深める	入職3年目以降の青年層組合員	41人	2022年11月11日 （金）10時から 12日（土）12時	対面	運営費 宿泊代 交流会費	交通費 宿泊代 交流会 その他	県本部負担者（単組4人）を超えた場合 20,650円 （夕・泊） 昼食代・ 会場として 3,000円
	青年部スキルアップセミナー	組合の意義や基礎知識を学ぶ。職場の課題にある背景・原因を考え、改善へむけた行動に結びつける	単組青年部役員	43人	2023年2月4日 （土）10時30分 ～16時	対面	運営費 交通費		
	女性労働学校	働く女性の権利確立運動強化月間に総学習の取り組みとして開催。	単組女性部役員・組合員		2022年2月26日 （土）12時30分 から16時15分	混合（ハイブリッド）	運営費 交通費	交通費	
	公共サービス民間労組協議会労働学校				2022年は開催なし				
富山	単組役員育成講座	単組大会を経て新任役員が多くなる時期に役員研修し、秋季確定闘争での交渉力UPにつなげる。	単組代表者	42	2022年10月4日 16時から17時	対面	運営費 交通費		0
	男女がともに担う自治労運動学習会	男女平等の意義を学習し、役員の担い手をはじめ組合活動に女性の声を活かす体制づくりをめざす。	単組代表者	43	2022年6月20日 16時から17時	対面	運営費 交通費		0
	県本部労働学校 新入組合員歓迎講座	新入組合員同士の交流を図りながら労働組合への理解を深めてもらう。	当年度採用の組合員 前年度採用で未受講の組合員	84	2022年 6月10日14時から 11日11時	c混合（ハイブリッド）	運営費 宿泊代 交流会費	交通費	0

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
石川	衛生医療評議会学習会	医療職場の労働条件等の学習（病院職場を取り巻く情勢と課題）	衛生医療評単組	24人	2022年12月3日（土）14：40～15：40	対面	運営費 交通費		
	2023現業活性化集会（意見交流）	職場・雇用を守り続け、将来の展望を切り開いていく現業活性化の取り組みがきわめて重要な課題	現業評単組	30人	2023年1月21日（土）15：00～17：00	対面	運営費 交通費	宿泊代 交流会	12,000円
	青年女性新入組員学習会	組織強化に向けた取り組みや県内各単組間の交流	組合加入3年未満	63人	2022年9月2日（金）11：30～17：15	対面	運営費 交通費 交流会費	交流会	3,000円
福井	単組役員向け労働学校	賃金・労働条件や組織強化・拡大等、単組役員として必須となる知識や能力を養う。	五役 次代の担い手（単組役員候補）	今年度開催無	今年度開催無				
	公共民間評労働学校	組合活動の必要性の理解を深めるとともに、意見交換を通じて単組間の意識の共有や交流を図る。	五役 単組執行委員 一般組員	12人	10月13日	対面	運営費	交通費	
	市町職評若手組員研修会	労働組合の基礎・基本を学ぶとともに、組合に対する興味関心を高めることで次代の担い手を育む。	自治体入庁2～5年目の職員	41人	11月19日	対面	運営費 交流会費	交通費	
静岡	定年引上げ学習会（三島市労連）	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	単組執行委員	19	2022/5/11 17:40-18:15	対面			
	定年引上げ学習会（焼津市職）	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	単組分会役員	40	2022/5/19 18:15-19:15	対面			
	定年引上げ学習会（菊川市職）	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	単組執行委員	16	2022/5/19 18:00-18:50	対面			
	定年引上げ学習会（袋井市職）	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	単組執行委員	15	2022/5/25 18:00-18:30	対面			
	定年引上げ学習会（掛川市職）	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	単組執行委員・組員	70	2022/6/6 18:00-19:00	対面			
	定年引上げ学習会（沼津市労連）	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	単組執行委員・中央委員	43	2022/6/8 18:00-19:00	対面			

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
静岡県	定年引上げ学習会 (菊川市職)	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	単組執行委員・組合員	35	2022/6/9 18:00-18:50	対面			
	定年引上げ学習会 (富士市職)	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	単組執行委員	25	2022/6/9 18:00-19:00	対面			
	定年引上げ学習会 (西伊豆町職)	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	組合員	50	2022/6/20 18:00-19:00	対面	交通費		
	定年引上げ学習会 (磐田市職)	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	単組執行委員	15	2022/8/4 18:15-19:00	対面	交通費		
	定年引上げ学習会 (焼津市病院労組)	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	単組分会役員・組合員	33	2022/8/18 17:45-18:35	対面			
	定年引上げ学習会 (富士宮市職)	単組ニーズに即した学習会を実施し、単組の活動をサポートするとともに、県本部との信頼関係の構築を図る。	単組執行委員等	23	2022/8/23 17:45-18:30	対面			
	新規役員向け学習会 (焼津市職)	単組の担い手育成	単組執行委員	14	2022/2/24 18:00-19:00	対面			
	青年部強化合宿	組合基礎と青年部活動の強化	県本部青年部 常任委員	3	2021/11/12・13 17:30-19:00 9:00-12:00	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	ウェルカムセミナー	青年層における組合基礎の学習と仲間づくり	新採1～3年目の組合員	49	2022/6/18 9:00-12:30	対面	運営費 交通費		
	現業評議会学習会	各評議会職場における課題共有、知識習得、意見交換、情報共有	各評議会の組合員	8	2022/6/4 13:30-16:30	対面	運営費 交通費		
	公営企業評議会学習会	各評議会職場における課題共有、知識習得、意見交換、情報共有	各評議会の組合員	16	2022/7/23 10:30-13:30	混合（ハイブリッド）	運営費 交通費		
	衛生医療評議会学習会	各評議会職場における課題共有、知識習得、意見交換、情報共有	各評議会の組合員	11	2022/7/26 15:30-17:00	混合（ハイブリッド）	運営費 交通費		
	現業・公企統一闘争 総決起集会	課題の共有、結束の強化、取り組みの促進	各評議会の組合員	22	2022/9/10 15:00-17:00	対面	運営費 交通費		
	県本部春闘討論集会	春闘の組織討議を進めること	各単組3役	45	2022/1/13 13:30-17:00	対面	運営費 交通費		
県本部臨職評春闘討 論集会学習会	基礎知識の習得と仲間づくり	各評議会の組合員	16	2022/3/19 9:00-12:00	対面	運営費 交通費			

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
静岡県	第1回県本部こども部会学習会	組合基礎と定年引上げの学習、職場課題・情報の共有	組合員	12	2022/5/28 10:00-14:00	対面	運営費 交通費		
	第2回県本部こども部会(拡大)学習会	アサーティブコミュニケーション、全国的にみる保育職場の課題の共有	組合員	9	2022/8/6 9:00-12:30	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費		
	第3回県本部こども部会学習会	模擬団交の学習と職場課題・情報の共有、こども部会立ち上げについて	組合員	12	2022/9/3 9:00-12:30	対面			
愛知県	新規組合員歓迎会		新規採用 1~2年目の組合員	41人	2022年10月22日 9:10~12:30	対面	運営費 交通費		0
	ステップアップセミナー	鬼木まこと議員の周知	青年層組合員	8人	2022年5月27日 8:00~16:30	対面	運営費 交通費		0
岐阜県	県本部青年・女性リーダーズセミナー	単組青年部・女性部のリーダー育成、青年層及び女性の現状と課題について理解	単組青年部組合員、女性部組合員	31 (青年部17, 女性部14)	2021年11月21日 13:30~16:30	ウェブ	運営費		
	県本部自治体関連労組協議会学習会	自治体の外郭団体職員、民間職員の現状と課題について理解	単組役員、自治体外郭団体・民間労組の組合員	18	2021年12月7日 18:30~20:00	対面	運営費	交通費	平均5,000円
	県本部組織集会	新規採用職員・非正規労働者等の組合加入について、取り組みの意思統一と情報交換	単組役員、組合員	33	2022年2月20日 13:30~15:30	混合(ハイブリッド)	運営費	交通費	平均5,000円
	県本部現業評議会組織集会	現業職場の活性化と組織強化・拡大の取り組みについて理解	単組役員、現業職等の組合員	33	2022年2月20日 15:00~16:45	混合(ハイブリッド)	運営費	交通費	平均5,000円
	県本部現業評議会清掃集会	清掃職等の現状と課題について理解	単組役員、清掃職等の組合員	25	2022年3月5日 13:00~15:00	対面	運営費	交通費	平均5,000円
	県本部社会福祉評議会介護集会	介護職等の現状と課題について理解	単組役員、福祉職等の組合員	18	2022年3月6日 14:00~16:30	混合(ハイブリッド)	運営費	交通費	平均5,000円
	県本部現業評議会学校集会	学校調理、用務職等の現状と課題について理解	単組役員、学校調理職・用務職等の組合員	20	2022年4月16日 13:00~15:00	対面	運営費	交通費	平均5,000円
	県本部リーダーズセミナー	人員確保闘争、男女平等推進闘争にむけた取り組みの意志統一と、単組活動家の養成	単組役員、組合員	31	2022年5月20日 13:00~16:45	混合(ハイブリッド)	運営費	交通費	平均5,000円
	県本部社会福祉評議会保育集会	保育職等の現状と課題について理解	単組役員、保育職等の組合員	26	2022年6月4日 14:30~16:30	混合(ハイブリッド)	運営費	交通費	平均5,000円
	県本部衛生医療評議会病院集会	病院職等の現状と課題について理解	単組役員、病院職等の組合員	25	2022年6月5日 13:00~16:00	混合(ハイブリッド)	運営費	交通費	平均5,000円
	県本部ウェルカムセミナー	新入組合員の学習(組合と賃金・休暇制度、共済)と交流	入職3年目までの組合員	73	2022年6月18日 13:00~16:15	対面	運営費	交通費	平均5,000円
	県本部労働安全セミナー	快適な職場環境と労働安全衛生を確立するための取り組みを理解	単組役員、組合員	21	2022年7月15日 14:00~16:30	対面	運営費	交通費	平均5,000円
県本部消防セミナー	消防職員の現状と課題について理解	単組役員、消防職の協力員	25	2022年7月21日 14:00~16:00	対面	運営費	交通費	平均5,000円	

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
岐阜	県本部公営企業評議会学習会	公営企業職等の現状と課題について理解	単組役員、公営企業職の組合員	16	2022年8月5日 14:00～17:00	対面	運営費	交通費	平均5,000円
三重	2021じちろうウエルカムセミナー (コロナ禍で延期が続き、年度をまたいで開催)	組合活動の基本を学び、他単組の新入組合員と交流をはかるため	県本部加盟単組(各市・町、一部事務組合、公共民間)の2021年度新入組合員	52人	2021年11月27日(土) 10時30分～16時30分	対面	運営費 交通費(運営サイド) 交流会費	交通費 交流会費 その他	単組負担1,000円/人(昼食・資料代) 懇親会参加の場合は、別途3,000円/人
	県本部第1回政治学習会★	組織内議員の必要性を組合員に周知するため	単組代表者1人	29人	2022年4月7日(木) 14時00分～15時15分	対面	運営費※ 交通費※ 前段に政治闘争本部会議を開催しているため、前段で支払い		
	2022じちろうウエルカムセミナー	組合活動の基本を学び、他単組の新入組合員と交流をはかるため	県本部加盟単組(各市・町、一部事務組合、公共民間)の2022年度新入組合員	77人	2022年6月11日(土) 10時30分～16時45分	対面	運営費 交通費(運営サイド) 交流会費	交通費 交流会費 その他	単組負担1,000円/人(昼食・資料代) 懇親会参加の場合は、別途3,000円/人
	単組自治研担当者学習会	単組の自治研担当者に改めて自治研活動の進め方や継続して活動している単組の事例を学んでもらうため	単組自治研担当者	39人	2022年7月20日(水)	対面	運営費 交通費		
	県本部書記学習会	自治労三重県本部は単組・県本部の書記が自治労運動を理解し、より積極的に自治労運動に取り組むため	県本部書記協加入書記	27人	2022年7月22日(金) 10時30分～14時00分	対面	運営費 交通費 交流会費(書記協議会で負担)		
	2022年度労働安全衛生セミナー	長時間労働の是正やすべてのハラスメントがない快適な職場環境実現のため	各単組労安担当者1名程度、当局側の担当者1名程度	35人(内行政から8人)	2022年7月26日(火) 14時00分～16時00分	対面	運営費 交通費		
	2022年度県本部青年部第3回常任委員会及び平和学習会	県内の戦跡を巡り、戦争が身近にあったことを認識することで、平和問題への理解をより一層深め、各単組へ取り組みを拡げていく	青年部役員	8人	2022年7月30日(土) 10時00分～18時00分	対面	運営費 交通費		
	県本部女性部学習会	共済運動を通じ、健康で働き続けるための課題解決	女性組合員	22人	2022年9月1日(木) 13時30分～16時30分	対面	運営費 交通費		
滋賀	県本部ユニオンセミナー	県本部・単組の祖式強化及び人材育成次代の担い手育成	就任1～2年目の単組役員(次期役員候補も可)	9単組16人	2022年7月22日 14:00～17:00 終了後懇親会	対面	運営費 交通費 交流会費	交流会(1000円のみ)	1,000円
	賃金学習会	賃金担当者の育成	単組の書記長・賃金担当者	12単組19人	2022年10月31日 18:30～20:00	ウェブ	運営費 交通費 (通信費含む)		

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
京 都	府本部2022政治・政策学習会	公共サービスと政治の関係性を学習 組織内議員の周知	組合員、自治体議員	108人	2022年6月10日 (金) 18:30~20:00	対面	運営費 交通費	なし	
	京都府北部時局講演会	公共サービスと政治の関係性を学習 組織内議員の周知	組合員、自治体議員	40人	2022年6月11日 (土) 14:00~15:00	対面	運営費 交通費	なし	
	府本部リーダーズセミナー	組織強化・拡大と人材育成	若年層組合員	48人	2021年11月27日 (土) 13:00~17:00	対面	運営費 交通費	なし	
	府本部労働安全衛生学習会	安全衛生活動の意義や必要性について学習	組合員	11人	2021年10月27日 (水) 18:30~20:00	対面	運営費 交通費	なし	
	2022保育所・学童保育等京都府南部学習交流会（オンデマンド研修）	テーマ「学童期のことばがけ」	南部ブロック学童保育指導員・保育士組合員	4単組80人規模	2022年1月26日 (水)~2月9日 (水)	ウェブ	運営費	なし	
	2022年度地方財政セミナー	2022地方財政の動向について学習	組合員、自治体議員	30人	2022年2月10日 (木) 18:30~20:00	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費	なし	
	男女がともに府本部学習会	多様な一人ひとりを支え合う社会の実現に向けて	組合員	31人	2022年5月21日 (土) 14:00~15:00	対面	運営費 交通費	なし	
	2022京都自治研究会	地方自治について	組合員、自治体議員	70人	2022年8月5日 (金) 15:00~19:30	対面	運営費 交通費	なし	
	府本部執行部・評議会・協議会・専門部の役員対象共済学習会	じちろう共済加入拡大・制度を活用した組織強化・拡大について	府本部執行部・評議会・協議会・専門部の役員	—	執行委員会、各幹事会開催時に不定期開催	対面	運営費 交通費		
奈 良	青年部学習会 「職場でのパワーハラスメントへの対処について」	職場の課題を学習して、解決に向けた取り組みを行う。	新採等の若年層組合員	31人	2022年8月6日 13時から16時	対面	運営費	交通費	
	新採歓迎会における共済学習会	共済の意義及び内容を学習して理解を深める。	新規採用職員	54人	2022年4月29日 14時から17時	対面	運営費	交通費	
	保育集会	現場の課題解決のためにどのように要求交渉を行っているか情報を共有	保育現場組合員	47人	2022年7月2日 14時から15時30分	混合(ハイブリッド)	運営費	交通費	
	男女平等集会 「LGBTQ+を考える」	組合が組合員に寄り添うことの大切さを学ぶ。	全組合員	26人	2022年7月14日 18時30から20時	対面	運営費	交通費	
	町村評「政治・選挙活動コンプライアンス学習会」	政治活動への理解を深める	町村組合を中心とした全組合員	33人	2022年7月14日 19時から20時30分	混合(ハイブリッド)	運営費	交通費	
和 歌 山	ユニオンセミナー	①単組役員の人材確保・育成 ②単組の組織強化 ③単組間の枠を越えた連帯強化、ネットワークの拡大 ④単組力の強化	各単組役員・書記 (次代を担う役員候補者)	12単組19人	2022年 5月13日(金) 13:30~14日 (土)12:00	対面	運営費 交通費	宿泊代 交流会	5,000円

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
和歌山	町村評活動者学校	①単組間の情報交換による課題等の共有化 ②人事院勧告内容をはじめとする各議題の学習 ③確開期および春開期における町村単組の要求事項・取り組み等の確認 ④上記取り組みによる団結強化を図り、各単組での成果を収めること	町村単組役員(組合員)	8単組18人	2022年12月11日 13:00~17:00	対面	運営費 交通費		0円
	ワーキングスクール	コロナの影響により未実施							
	ユニオンカフェ	①単組の枠を超えた交流 ②組合に対する理解を深め、仲間を育成する ③単組力の強化	主に採用1年目、2年目の若年層組合員	10単組39人	2022年10月1日(土) 13:30~17:30		運営費 交流会費	交通費	0円
大阪	女性ネットワーク学習会	治療と仕事の両立支援	単組女性役員	17単組38人	2022年3月17日 18:45~20:00	ウェブ	運営費 交通費 (委員分)		参加者交通費
	自治労運動を女性と男性がともに担う2022年度学習会	仕事と家庭の両立支援	単組役員	15単組79人	2022年3月3日 18:45~20:00	ウェブ	運営費 交通費 (委員分)		参加者交通費
	2022町村評議会学習会	定年延長に関する事項	町村評議会幹事	9単組15人	2022年4月26日 19:00~21:00	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費		0円
兵庫	労働学校・基礎編	単組を率いる執行部も1年で交替するなど、長期的な人材育成や運動づくりも弱まっているのが現状です。このような状況を克服し、「単組執行部強化」をめざし、県本部では労働学校を開催し、知識の向上を図ることとしています。	各単組青年女性部役員や単組執行委員で交渉経験のない方など、今後組合活動の中心となる方	17単組37人	2022/2/18 ↓コロナで延期 2022/6/3開催 10:00~17:00 17:15~参加者意見交換会	対面	交通費 交流会費	交流会 その他	参加費1000円 ※交流会+1000円
	労働学校・実践編	単組を率いる執行部も1年で交替するなど、長期的な人材育成や運動づくりも弱まっているのが現状です。このような状況を克服し、「次世代育成」「単組執行部強化」をめざし、県本部では労働学校を開催し、知識の向上を図ることとしています。	各単組青年女性部役員や単組執行委員で交渉経験のない方など、今後組合活動の中心となる方	14単組27人	2022/8/16 ↓コロナで延期 2022/11/1開催 10:00~17:00 17:15~参加者意見交換会	対面	運営費 交通費 交流会費	交流会 その他	参加費1000円 ※交流会+1000円
	保育を考えるつどい	職場における感染症対策や、職場、家庭との連携なども含めて、コロナ禍における現状と今後の課題、そして健康で働き続けるための職場環境改善について、みんなで議論。	保育士、幼稚園教諭、保育現業、学童指導員ほか	17単組121人	2022/6/26 13:30~16:00	対面	運営費	交通費	

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
兵 庫	病院集会	今回の集会では、検討会の構成員でもある城西大学の伊関友伸教授に進捗状況を講演いただき、新たなガイドラインについての知識を深め、今後の対応の一助としたいと思います。	医療職場、保健衛生職場組合員	不明	2022/3/11 13:00～16:30	ウェブ	運営費		
	労働安全衛生集会	健康で安心して働き続けられる職場づくりに向けて、安全衛生委員会の活性化を重視した取り組みの意思統一。	労働安全衛生担当の執行委員、職員側選出の安全衛生委員など	不明	2022/6/17 14:00～16:30		運営費 交通費	交通費	
岡 山	町村評議会学習会	町村単組が取り組むべき課題を学ぶ	町村単組	30	2022年1月22日	ウェブ	運営費		
	現業評議会2022夏季学習会	現業職員が抱える課題を共有し、今後の現業職員の働き方やあり方を学ぶ	全単組	47	2022年9月10日	対面	運営費 交流会費	交流会費	2,000円/人
	賃金・労働条件担当者学習会	初歩的な賃金・労働条件について学ぶ	全単組	16	2022年10月26日	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費		
広 島	新入組合員セミナー	単組での学習会開催ができていない単組の新入組合員を対象に自治労運動の取り組みについて学習	1年～3年の新入組合員	42人	6月12日 10時から15時50分	対面	運営費 交通費		
	ステップ・アップセミナー 3回	次代の担い手を対象に自治労運動等の学習	入職10年程度組合員 ※登録制で3回出席(基本)	3回合計 98人	< 1回目 > 6月19日 13時から16時50分 < 2回目 > 10月2日 13時から16時10分 < 3回目 > 12月4日 10時から15時30分	対面	運営費 交通費		
	組織強化セミナー	単組の交流 産別組織としての連携の強化	単組五役 青年部 女性部	58人	5月29日 10時から15時	対面	運営費 交通費		
鳥 取	女性交流集会	ジェンダー平等につながる施策制度を学ぶ	単組役員、女性ネット委員、青年女性部員、県本部男女がともに担う委員、県本部執行委員	56	2022/6/9 14～16時	対面	交通費	交通費	
島 根	労働学校	現在の単組役員及び幹部候補生を対象としたスキルアップを図るため。	単組幹部(五役以上) 幹部候補予定者	39	2022年5月9日	対面	運営費 交通費 宿泊代		

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
島 根	新入組員等学習会	将来的な役員の人材育成を念頭に、自治労組員加入時の学習会として、基本的な労働組合知識及び自治労運動の中身や組織運動について理解するため。	新入組員	200	①2022/5/21 (東) ②2022/5/28 (西)	対面	運営費 交通費 宿泊代		
	労働安全衛生学習会	安全で快適な職場環境と労働安全衛生を確立するため。	書記・各単組執行委員・労安担当者	39	2022年8月11日	対面	運営費 交通費 宿泊代		
	女性セミナー	女性リーダーの育成とネットワークの構築のため。	各単組女性役員・次期役員候補	36	2022年9月7日	対面	運営費 交通費 宿泊代		
	町村職評議会担い手スキルアップセミナー	単組執行部の中枢を担う人材育成のために必要な知識を得ること及び単組間の意見交換・交流のため。	書記長、書記次長又は青年部役員	20	①2022/6/17 (前) ②2022/8/20 (後)	対面	運営費 交通費 宿泊代		
	県本部書記会議学習会	労働運動（政治闘争・ろうきん運動）への理解促進のため	各単組書記	24	2022年6月17日	ウェブ	運営費 交通費		
	県本部衛生医療評議会診療報酬改定に係る研修会（H&M）	診療報酬改定に伴う病院経営に関して必要な知識を習得するため。	病院職場をもつ単組組員	24	2022年4月23日	ウェブ	運営費 交通費		
	県本部現業・公企合同組織集会	現業・公企労働者を取り巻く問題・課題克服にむけ、必要な知識を習得するため及び単組間の交流・意見交換をおこなうため。	現業・公企職場をもつ単組役員組員	50	2022年6月19日	ウェブ	運営費 交通費 宿泊代		
山 口	青年女性部労働学校	青年女性組員の知識向上	青年女性組員	43人	2022年5月21日 (土) 10時30分 から14時30分	対面	運営費 交通費	交通費	
	Welcome自治労！新規組員研修	自治労についての基礎知識の習得、横の繋がりの形成	新規組員、単組引率	127人	2022年6月4日 (土) 10時から 16時	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費	交通費	
	県本部労働学校	単組の組織力の強化と労働運動の活性化	単組執行委員	41人	2022年6月4日 (土) 10時から 16時	対面	運営費 交通費	交通費	
香 川	自治体賃金塾	単組賃金担当者の育成	単組役員、青年部女性部幹事、賃金担当者	27人	2022. 3. 12 10:00-17:30	混合	運営費 交通費 交流会費		
	単組財政分析講座	交渉に活かす地方財政の学習	単組役員、組織内・推薦議員	21人	2022. 3. 19 13:30-17:00	混合	運営費 交通費		
	定年延長学習会	制度学習会	単組役職員	25人	2022. 5. 7 18:00-21:00	混合	運営費 交通費		
	パブリックマネジメント研究会	人材育成、自治研活動家養成	単組組員	①31②15③12	①2022. 4. 23 13:30-17:00 ②2022. 6. 5 13:30-17:00 ③2022. 8. 6 13:30-17:00 ④⑤は23年度実施	対面	運営費 交通費 交流会費	交流会	一人3000円

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
香川	香川県労働者セミナー	次世代活動家育成	単組役員、 青年女性幹事	①38②41③62	①2022.7.23 13:30-17:00 ②2022.8.27 13:30-17:00 ③2022.10.15 13:30-17:00	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	新入組員学習交流会	新採組員歓迎・共済加入	3年目までの 新入組員 (コロナ禍で 未実施分を繰 上げ)	39	2022.6.18 13:30-17:30	対面	運営費 交通費 交流会費		
徳島	県本部労働学校	単組間の交流、活動家 育成、基礎学習	・入庁後数年 の組員 ・単組役員 ・誰でも歓迎	109	2022/5/20-6/11	対面	運営費 宿泊代 交流会費	交通費	不明 円
	県本部新入組員交流集会	単組間の交流、基礎学 習	・入庁5年以 内の組員 (コロナ禍で 二年分実施で きていなかった ので期間を 広くとった) ・引率者	72	2022/7/12	対面	運営費	交通費 宿泊代 交流会	6000+交通 費(不明) 円
	県本部ブロック別労働学校	単組間の交流、基礎学 習	・青年部員、 女性部員		別紙参照	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		0円
愛媛	フレッシュヤーズ講座	新採組員に労働組合 の意義や賃金労働条件 の基礎的な内容を学習 する	概ね入庁3年 目までの組員	54人	2022年6月25日 10:00~16:00	対面	運営費 交通費		
	仕事の学校	みんなが幸せになるた めの自治体職員の働き 方、組員への教宣物 の良い例悪い例を学習 する。	単組執行部、 組員	38人	2022年9月3日 13:00~16:00	混合(ハイブリッ ド)	運営費 交通費		
高知	次世代育成セミナー (青年部)	県本部青年部の役員の 担い手を育成する	単組青年部役 員	33人	2021.11.27 14:00~11.28 12:00	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	ユースセミナー	新入組員の交流と親 睦を深めるとともに、 自治労運動の基礎を学 ぶ	加入1~3年 目の組員	52人	2022.1.15 10:00~17:00	対面	運営費 交通費	交流会	5,000円
福岡	2021秋闘総支部学習 会 ①遠賀川総支部 ②京築総支部 ③福岡総支部 ④筑紫総支部 ⑤田川総支部 ⑥南筑後総支部 ⑦朝倉総支部 ⑧中筑後総支部 ⑨久留米総支部 ⑩宗粕総支部 ⑪北九州総支部	秋闘課題についての学 習および情報共有	単組・支部の 代表者(委員 長、書記長 等)	①20人 ②30人 ③40人 ④50人 ⑤20人 ⑥25人 ⑦20人 ⑧18人 ⑨30人 ⑩22人 ⑪30人 合計305人	①10月7日 ②10月13日 ③10月13日 ④10月14日 ⑤10月15日 ⑥10月15日 ⑦10月18日 ⑧10月18日 ⑨10月19日 ⑩10月21日 ⑪10月21日	①対面 ②対面 ③対面 ④対面 ⑤対面 ⑥対面 ⑦ウェブ ⑧対面 ⑨対面 ⑩対面 ⑪対面			

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
福岡	県本部公共サービス民間労組協議会2021秋季学習会	2021秋闘から2022春闘に向けた賃金・労働条件改善の闘いの推進をはかるため	県本部直加盟の公共サービス民間労組及び社会福祉協議会労組、全国一般福岡労組、自治体単組加盟の関連労及び社協評議会、社福ユニオン加盟の社協分会、県本部の都市公共交通評議会、公営競技評議会、衛生医療評議会病院部会の構成組織で民間労働法制が全面適用される労組、組織内に民間労働法制が適用される関連労組及び社協評議会、地方独立行政法人病院労組などで働く民間の組合員が存在する総支部・自治体単組、ウオーターエージェンシー大阪労組	36	2021年10月16日	対面	交通費		
	2022年度県本部保育集会	公立保育所が果たすべき役割を改めて共有し、子ども・子育て職場の量と質の向上、人材確保に向けた取り組みを進めるため	総支部・単組役員、保育所担当職員、公立幼稚園職員、子育て支援センター職員、学童保育指導員、その他参加希望者	64	2021年10月24日	ウェブ	運営費 交通費		
	2021労働法連続学習会	民間労働法制だけでなく地方公務員法など地方公務員に適用される労働法制を含む「官・民、正規・非正規を問わず、全ての公共サービス労働者に適用される労働法」の基礎を学習	県本部加盟単組	27	2021年11月27日	対面	運営費 交通費		
	社会福祉関連協議会第28回定期大会学習会		各社協労組組合員、社会福祉協議会に勤務する職員、自治体単組社協担当役員	25	2021年12月19日	対面	交通費		

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
福岡	2022春關総支部学習会 ①北九州総支部 ②朝倉総支部 ③福岡総支部 ④中筑後総支部 ⑤京築総支部 ⑥遠賀川総支部 ⑦田川総支部 ⑧久留米総支部 ⑨南筑後総支部 ⑩宗粕総支部 ⑪筑紫総支部	春關課題についての学習および情報共有	単組・支部の代表者（委員長、書記長等）	①10人 ②10人 ③15人 ④15人 ⑤15人 ⑥10人 ⑦15人 ⑧30人 ⑨15人 ⑩20人 ⑪20人 合計175人	①1月31日 ②2月1日 ③2月7日 ④2月7日 ⑤2月8日 ⑥2月9日 ⑦2月9日 ⑧2月9日 ⑨2月9日 ⑩2月17日 ⑪2月24日	①ウェブ ②対面 ③対面 ④対面 ⑤対面 ⑥ウェブ ⑦ウェブ ⑧ウェブ ⑨対面 ⑩ウェブ ⑪ウェブ			
	2022年度第1回広報セミナー	広報担当者を中心に機関紙の書き方やレイアウトなど、広報紙作成の技術のスキルアップを図るとともに、担当者のネットワークづくりを目的とする	単組・支部の広報担当者および専門部役員（ユース部・女性部・現業評議会など）	7	2022年2月2日	対面	交通費		
	第1回女性ネットワーク交流会	男女がともに担う運動の推進と組合運動の活性化のため	各総支部の役員（男女各1人）、県職労本部役員（男女各1人）、男女がともに担う県本部委員	37	2022年2月19日	対面	運営費 交通費		
	公共サービス民間労組協議会・社会福祉関連協議会合同2022春關学習会	公共サービス民間労組においては、民間委託職場を中心に春關交渉が継続される中、4月1日から改正育児・休業法などの労働諸法の施行、36協定の更新手続、さらには7月の参議院議員選挙「鬼木まこと」勝利に向けた終盤の闘いに突入する	県本部直加盟の公共サービス民間労組及び社会福祉協議会労組、全国一般福岡労組、自治体単組加盟の関連労及び社協評議会、社福ユニオン加盟の社協分会、県本部の都市公共交通評議会、公営競技評議会、衛生医療評議会病院部会の構成組織で民間労働法制が全面適用される労組、組織内に民間労働法制が適用される関連労組及び社協評議会、地方独立行政法人病院労組などで働く民間の組合員が存在する総支部・自治体単組、ウォーターエージェンシー大阪労組	26	2022年3月12日	対面	交通費		

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
福岡	2022年度県本部ユース部春闘・政治学習会		単組ユース部代議員、県本部ユース部三役・常任委員	116	2022年3月18日	対面	交通費		
	臨時・非常勤等職員協議会2022春闘学習会		臨職協幹事および単組役員、組合員	28	2022年3月26日	対面	交通費		
	2022労働学習会第1～3回	労働組合が多様な活動を可能とする場であることを認識し、組合活動への参加を促すことを目的	単組・支部、総支部、ランク役員、専門部・評議会役員	①41人 ②29人 ③31人	①2022年4月21日 ②2022年5月23日 ③2022年6月8日	混合(ハイブリッド)	運営費 交通費		
	県消研2022年度第28期役員研修会				2022年4月27日	対面 ウェブ 混合(ハイブリッド)	運営費 交通費 宿泊代 交流会費	運営費 交通費 宿泊代 交流会費	
	政治学習会「第26回参議院選挙勝利にむけて」		公共サービス 民間労組	29	2022年5月21日	対面	運営費 交通費		
	県本部社会福祉評議会政治学習会	自治労の代表として全国比例区から立候補する、福岡県本部出身の「鬼木まこと」の勝利に向けて学習会を開催する。	障労連、保育部会	26	2022年5月22日	対面	交通費		
	県本部町村共闘会議「政治学習会」	7月に行われる第26回参議院議員選挙に向けた政治学習会	町職労・村職労・公共民間単組	64	2022年5月26日	ウェブ			
	定年延長説明会	定年延長制度の制度構築に向けた基準等の周知のため	単組代表者	64	2022年7月15日	対面	交通費		
	県本部書記評議会「夏季学習会」	ストレスチェックを受検する意義や受検結果の見方、メンタルヘルス向上への活かし方などを学び、セルフケアをより充実させることを目的とする	県本部・単組書記	34	2022年7月22日	対面	交通費		
	公営企業評議会2022政策集会		公営企業組合員	15	2022年8月5日	対面	交通費		
現業評議会夏季活性化集会	現業職場の諸課題の共有化と情報交換を図り、現業運動の活性化を進めるため	現業組合員	53	2022年8月6日	対面	交通費			
佐賀	自治労学校 活動者コース	活動者育成	単組執行部又は次代の担い手	25	12月18～19日	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
佐賀	自治労学校 新採者コース	新規加入組合員に対する基本講座を実施	新規加入組合員	約100	2023年11月27日	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	自治労学校 新採者コース	新規加入組合員に対する基本講座を実施	新規加入組合員	約100	2023年11月28日	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
長崎	長崎総支部 「JICHIROビギナスセミナー」	自治労共済の加入促進とろうきんの利用拡大、及び単組の組織強化のため開催。開催に際しては各総支部・単組の青年部長・女性部長等の協力も要請。	2019年4月2日から2021年4月1日の間に組合加入した組合員	56	2022年7月16日	対面	運営費 交流会費		0
	県南総支部 「JICHIROビギナスセミナー」	自治労共済の加入促進とろうきんの利用拡大、及び単組の組織強化のため開催。開催に際しては各総支部・単組の青年部長・女性部長等の協力も要請。	2019年4月2日から2021年4月1日の間に組合加入した組合員	27	2022年4月28日	対面	運営費 交流会費		0
	東彼総支部 「JICHIROビギナスセミナー」	自治労共済の加入促進とろうきんの利用拡大、及び単組の組織強化のため開催。開催に際しては各総支部・単組の青年部長・女性部長等の協力も要請。	2019年4月2日から2021年4月1日の間に組合加入した組合員	18	2022年4月9日	対面	運営費 交流会費		0
	上五島総支部 「JICHIROビギナスセミナー」	自治労共済の加入促進とろうきんの利用拡大、及び単組の組織強化のため開催。開催に際しては各総支部・単組の青年部長・女性部長等の協力も要請。	2019年4月2日から2021年4月1日の間に組合加入した組合員	9	2022年4月27日	対面	運営費 宿泊代 交流会費		0
	壱岐総支部 「JICHIROビギナスセミナー」	自治労共済の加入促進とろうきんの利用拡大、及び単組の組織強化のため開催。開催に際しては各総支部・単組の青年部長・女性部長等の協力も要請。	2019年4月2日から2021年4月1日の間に組合加入した組合員	28	2022年5月25日	対面	運営費 宿泊代 交流会費		0
	対馬総支部 「JICHIROビギナスセミナー」	自治労共済の加入促進とろうきんの利用拡大、及び単組の組織強化のため開催。開催に際しては各総支部・単組の青年部長・女性部長等の協力も要請。	2019年4月2日から2021年4月1日の間に組合加入した組合員	15	2022年5月21日	対面	運営費 宿泊代 交流会費		0
	県本部 JICHIROリーダーシップセミナー	「労働組合の基礎知識」や「模擬団交」を実施し、次代の担い手を育成することを目的とする。	単組（総支部）執行委員（役員）の経験年数が浅い組合員・今後単組（総支部）の執行委員（役員）になる予定（次代を担う）の組合員等	10	2022年8月26日 13:30～27日 12:00	対面	運営費 宿泊代 交流会費		0

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
長 崎	総支部・単組青年女性代表者会議及び青年女性労働学校	各総支部・単組の青年・女性組織の役員交代の時期に合わせ、県本部・総支部・単組の各種取り組みの意思統一を図るとともに、青年・女性の労働運動についての学習をはかる。	各単組青年部長、女性部長、青年部・女性部役員	59	2021年11月26日 10:30～16:30	対面	運営費 宿泊代 交流会費	運営費 交通費 宿泊代 交流会費	参加費 1,000円/人 交流会費 6,000円/人 ※青年部・女性部の代表者以外の旅費は単組負担
	県本部青年女性平和学習会	「反戦・平和」をテーマに私たちを取り巻く情勢と被爆の事実から平和な社会を守ることの重要性を学ぶことを目的とする。	各単組青年部、女性部	45	2021年12月4日 (土) 14:00～16:30	対面	運営費	交通費 宿泊代	交通費・宿泊費は単組負担
	第7回長崎県地方自治研究集会	自治研を身近なものにするため、毎年、テーマを設定し、地方自治に活かしていくことを目的とする。	各単組・総支部役員、組合員、自治研推進委員、県本部組織内議員	69	2021年6月4日 (土) 9:30～15:00	対面	運営費 交通費 宿泊代		0
大 分	労働学校（普通科）第82期	産業別組織としての自治労を背負う幹部活動家の養成を目的とする	組合員で、単組執行委員会の推薦した者	65人	第1回：1月12日 13時30分～13日 12時 第2回：2月17日9 時30分～ 第3回：3月10日 13時30分～ 第4回：5月16日 13時30分～17日 12時 第5回：7月15日9 時30分～ 第6回：8月22日9 時30分～ 第7回：10月18日 9時30分～		運営費 交通費 宿泊代 交流会費	その他	10,000円 (入校時)
	労働学校（専攻科）第53期	産業別組織としての自治労を背負う幹部活動家の養成を目的とする	労働学校普通科卒業生ならびに幹部活動家の希望者の中で、労働学校理事会で選考した者	17人	第1回：1月31日9 時30分～ 第2回：2月25日9 時30分～ 第3回：3月10日 13時30分～ 第4回：4月28日9 時30分～ 第5回：7月11日 13時30分～12日 12時 第6回：10月20日 9時30分～		運営費 交通費 宿泊代 交流会費	その他	10,000円 (入校時)
	新入組合員学習会	新入組合員を対象に「労働組合」「自治労働運動」を学習し、「自治体労働者・公共サービス労働者」として「地方自治」とのかかわりに対する理解を深めるとともに労働組合の存在意義を理解してもらうこと	2022年度新入組合員・2021年度新入組合員学習会以降の新たな組合員・2021年度新入組合員に参加できなかった組合員	185人	9月27日13時～ (前面webで講義のみ) 10月31日13時30分～(分散会のみ別日程で行った)		運営費 交通費 宿泊代 交流会費		

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
大分	新役員学習会	2023年度運動方針の徹底、広範な運動領域への理解、意思統一のため	2023年度単組役員	38人	11月22日10時～		運営費 交通費 宿泊代 交流会費		各単組3人までは県本部負担。それを超える分は、宿泊・夕食11,000円、夕食のみ6,000円/人は単組負担。
	青年政治労働学校	青年部独自交渉を見据え、労働運動への理解、意思統一をはかるため	単組青年部3人、県本部青年部執行委員	43人	11月29日10時		運営費 交通費 宿泊代 交流会費	なし	
	女性部単組役員学習会	女性の当面する諸課題について学習し、労働運動への理解、県内女性部の意思統一をはかるため	単組女性部三役（3人程度）、県本部女性部執行委員	52人	11月21日15時		運営費 交通費 宿泊代 交流会費	なし	
	いきいき女性セミナー	「女性の働く権利強化月間」の取り組みの一環として	各単組女性部2人ずつ対面、Zoom参加2人～、女性部執行委員	61人	2月20日15時30分～		運営費 交通費		なし
宮崎	交渉担当者会議	確定交渉に向けて、交渉の進め方を学習するため	単組執行部役員	50	11月上旬	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	ユニオンアカデミー	新入組合員を対象に組合、賃金の基礎の学習・交流	組合加入3年までの組合員	100	10月頃	対面	運営費 宿泊代 交流会費	交通費	
	労働講座	自治労働運動の発展と働く者の側に立った政治の実現をめざし、各単組・県本部・地域での労働運動の担い手を育成するため	原則3年以上の組合員	50	6月頃	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費	運営費 交通費 宿泊代 交流会費	
熊本	単組新規役員・地区支部長等向け労働セミナー	ゆとりある職場環境や豊かな暮らしを追求していくためにも、各単組での組織強化や活動の活性化が重要になり、先頭に立って取り組む単組や地区支部で新たに役員に就任した組合員に向けて、今後の確定闘争の取り組み方等を主としたセミナーを開催	単組で新たに役員なられた組合員、役員就任予定の組合員、新たに地区支部長、地区支部書記長、執行委員、監査委員となった組合員	22単組34人	2021年11月6日（土） 10：00～17：00	対面	運営費及 交通費 ※1日開催につき、交流会及び宿泊なし。	単組枠及び地区支部枠各2人まで県本部負担とし、それ以上の参加者は単組負担。	
鹿児島	単組四役セミナー	単組四役を対象に、関係法制度に関する知識や技術、実務能力の向上のための実践教育を実施することにより各単組における労働運動強化に繋げることを目的とする。	各単組四役	40単組87名	2022年2月11日（金） 12：30～17：40	混合（ハイブリッド）	運営費 交通費		
	ユニオンカレッジ	コロナにより延期							
	教宣集会	2023年度に実施 2022年度は未実施							

県本部名	教育研修名	目的	参加対象	受講者数	開催月日	開催形式	県本部の負担	単組の負担	単組の負担額
沖 縄	労働学校 入校式	次代を担う人材育成を目的に県本部が実施する「労働学校TheWeb」に各単組から登録受講生を募集し、参加組合員に対する研修後のフォローや受講生交流を新たに取り入れることで、自治労運動を身近なものとして単組活動に携わる人材の育成につなげる。	単組が推薦する組合員（各単組2人以上）	5単組 5人	2022年7月1日 15時から2日12時まで	対面			
	労働学校	次代を担う人材育成を目的に県本部が実施する「労働学校TheWeb」に各単組から登録受講生を募集し、参加組合員に対する研修後のフォローや受講生交流を新たに取り入れることで、自治労運動を身近なものとして単組活動に携わる人材の育成につなげる。	単組が推薦する組合員（各単組2人以上）	7単組 9人	2022年11月5日 14時から17時まで	対面			
社 保	トップセミナー	社会・政治情勢を知り、政治活動の重要性を学ぶ	地方本部・支部代表者 等	80～90人程度	2022年8月21日午前	混合（ハイブリッド）	運営費 交通費 宿泊代		
	政策研究集会	制度・政策に関する取り組み強化と次世代育成	地本制度政策担当 青年組合員等	80～90人程度	2023年1月28日午後	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		
	平和学習行動	戦跡等の実地をめぐる平和・人権課題を学ぶとともに青年層の人材育成をはかる	青年層組合員	25～30人程度	2023年8月4日～6日予定	対面	運営費 交通費 宿泊代 交流会費		

5. 労働学校等（連続）講座

（1）カリキュラム

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式
北海道	2022年度活動家育成講座	9月17日13：30～14：40	賃金講座「人事院勧告と給与決定のしくみ」 賃金講座「2021人事院勧告の問題点」	柿崎賃金労働部長・自治労北海道本部	講義中心	対面
		15：10～16：00	単組報告「一時金遡及問題に係る取り組み」 単組報告「組織内首長と2021人事院勧告をめぐるたまたかい」	牧野執行委員長・名寄市労連 谷内書記長・赤平市職労	講義中心	対面
		16：30～17：20	グループワーク「賃金闘争について」		講義中心	対面
		9月18日9：00～10：30	賃金講座「2022賃金確定闘争にむけて」	柿崎賃金労働部長・自治労北海道本部	講義中心	対面
		10：40～11：40	グループワーク「賃金闘争について」		講義中心	対面
		13：00～14：00	講演「ハラスメントは、起こさせない、起こさない、そして許さない」	立花純子講師・日本カウンセラー協会	講義中心	対面
		14：20～15：00	グループワーク「自分たちの職場はどうなっているか」		講義中心	対面
		15：00～15：30	報告「職員組合の役割と組織内議員」	江本組織部長・自治労北海道本部	講義中心	対面
		15：40～16：40	政治講座「組合員の政治意識から見えること」 政治講座「第26回参議院議員選挙～なぜ組合員は2枚目の白い投票用紙に『鬼木まこと』と書いたのか」	河端総合政策局事務局長・自治労北海道本部 高田教育情宣部長・自治労北海道本部	講義中心	対面
		16：50～17：30	グループワーク「参議院議員選挙闘争で感じたこと」		講義中心	対面
	9月19日9：00～10：00	講演「人に伝わる話し方」	石川香織衆議院議員・立憲民主党	講義中心	対面	
	10：10～11：00	グループワーク「これからの運動を考える」		講義中心	対面	
	2022年度活動家育成講座「フォローアップ研修」	12月10日10：00～	グループワーク「職場の課題を話し合ってみよう」		ワークショップ中心	対面
		11：30～	グループワーク「すぐに解決できそうな課題と解決方法」		ワークショップ中心	対面
		13：30～	講座 職場の課題解決にむけて	瀧口企画総務部長 江本賃金労働部長 柿崎臨時執行委員長 菅原臨時執行委員長	講義中心	対面
		15：00～	グループワーク「これから実践したいこと」		ワークショップ中心	対面
		16：10～	単組報告「組織内議員との連携」	苫小牧市職労 斎藤書記長	講義中心	対面
		16：40～	単組報告「組織内議員との連携」	津別町職 田島執行委員長	講義中心	対面
		12月11日9：00～	講演 「自治労の政治活動」	森下 総合政治政策局長	講義中心	対面
		10：10～	意見交換		その他（ ）	対面
10：30～	グループワーク「職場の課題を解決するために必要なこと」		ワークショップ中心	対面		
青 森						
岩 手	県本部現業労働学校（第30期）	1時間目 2022年6月15日18時～19時	現業労働者と政治闘争について	本部現業局長 吉村秀則さん	講義中心	混合（ハイブリッド）
	県本部現業労働学校（第30期）	2時間目 2022年7月27日18時～19時	現業労働者と労働安全衛生について	本部労働条件局長 八巻由美さん	講義中心	混合（ハイブリッド）
	県本部現業労働学校（第30期）	3時間目 2022年8月19日18時～19時	現業労働者を取り巻く状況と課題	参議院議員 鬼木誠さん	講義中心	c混合（ハイブリッド）
宮 城	開催無し					
秋 田	開催無し（斜線）					
山 形	—					

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式
福 島	2022年度労働学校	7月30日 10時～11時	自治労の基礎知識	澤田精一・県本部	講義中心	混合 (ハイブリッド)
	2022年度労働学校	11時～12時	3日間の目標設定	丸山由紀夫氏 (j-union)	講義中心 ワークショップ中心	混合 (ハイブリッド)
	2022年度労働学校	13時～14時	チームビルディング	丸山由紀夫氏 (j-union)	講義中心 ワークショップ中心	混合 (ハイブリッド)
	2022年度労働学校	14時～15時	みんなで考える労働組合	丸山由紀夫氏 (j-union)	講義中心 ワークショップ中心	混合 (ハイブリッド)
	2022年度労働学校	15時～17時	実践コミュニケーション・ タイムマネジメント	丸山由紀夫氏 (j-union)	講義中心 ワークショップ中心	混合 (ハイブリッド)
	2022年度労働学校	8月5日 10時～12時	1日目の振り返り・タイムマ ネジメント	加藤 瞳氏 (j-union)	講義中心 ワークショップ中心	混合 (ハイブリッド)
	2022年度労働学校	13時～15時	オンライン会議活性化法	野村麻希子氏 (j-union)	講義中心 ワークショップ中心	混合 (ハイブリッド)
	2022年度労働学校	15時～17時	上司・先輩との円滑なコ ミュニケーション手法	丸山由紀夫氏 (j-union)	講義中心 ワークショップ中心	混合 (ハイブリッド)
	2022年度労働学校	8月6日 10時～12時	自治労の組合活動と共済の 取り組み	宮越 肇氏 (FPユニオンLobo)	講義中心 ワークショップ中心	混合 (ハイブリッド)
	2022年度労働学校	13時～14時	みんなで考える労働組合の 役割	丸山由紀夫氏 (j-union)	講義中心 ワークショップ中心	混合 (ハイブリッド)
	2022年度労働学校	14時～16時	ワークショップ～組合/自治 体の可能性	丸山由紀夫氏 (j-union)	講義中心 ワークショップ中心	混合 (ハイブリッド)
	2022年度労働学校	16時～17時	学びの共有	丸山由紀夫氏 (j-union)	講義中心 ワークショップ中心	混合 (ハイブリッド)
	新 潟	第5期JJP(自 治労次世代プロ ジェクト)	第1回 1月29日 (土)	オリエンテーション、賃金 制度、組合運動の意義、 2021闘争ふまえた(勧告の 取り扱いなど) 2022闘争の 取り組みについて(定年延 長制度含む)		
第2回 3月12日 (土)			勧告制度の仕組み(給与の 総合的見直し等)、人事評 価制度(査定昇給制度)、 団体交渉に関する関係法 令、交渉についてなど			
第3回 5月21日 (土)			モデル賃金表、組合必携作 成			
第4回 6月11日 (土)			2021確定期の積み残し課 題、2022春闘の取り組み結 果と課題、単組要求の取り まとめ(要求書の作成)、 模擬団体交渉にむけてなど			
第5回 7月9日 (土)			人勤情勢をふまえた賃金確 定期の展望、模擬団体交渉 について			
群 馬	2022ユニオンカ レッジ	第1回 2022年5月14日 (土) 9:30～ 12:15	①「今こそ組合活動～私た ちは労働者～」 ②グループワーク「職場実 態討論」	①田村朋大(県本部2022ユ ニオン企画委員) ②石井千晶(県本部2022ユ ニオン企画委員)	講義中心 ワークショップ中心	対面
	2022ユニオンカ レッジ	第2回 2022年6月11日 (土) 9:30～ 12:00	①「私たちユニオン層を取 り巻く状況」 ②グループワーク「参画し やすい組合活動とは」 ③「組織内議員の重要性」	①齋藤太一(県本部2022ユ ニオン企画委員) ②永井美帆(県本部2022ユ ニオン企画委員) ③生井澤律子(茨城県本部 書記長)	講義中心 ワークショップ中心	対面
	2022ユニオンカ レッジ	第3回 2022年8月27日 (土) 9:30～ 12:00	①講話「これからの労働運 動を支える皆さんへ」 ②グループワーク「要求づ くり」	①佐藤英夫(県本部中央執 行委員長) ②真下亮祐(県本部2022ユ ニオン企画委員長)	講義中心 ワークショップ中心	対面
栃 木	—	—	—	—	—	—
茨 城	2022年度ブロック 活動者学校	第1回 5/11、5/17 18:30～20:00	私たちの課題と要求づくり	県本部千歳執行委員長	講義中心	混合(ハイブリッド)
	2022年度ブロック 活動者学校	第2回 6/7、6/9 18:30～20:00	じちろうの共済について～ 知って、使って、トクをし て～	自治労共済推進部茨城県 支部 花岡事務局長	講義中心	混合(ハイブリッド)
	2022年度ブロック 活動者学校	第3回 7/5、7/7 18:30～20:00	安全衛生活動と快適職場づ くり	本部総合労働局 八巻労働 条件局長	講義中心	混合(ハイブリッド)

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式	
茨 城	ユニオンセミナー 第1回 5/21 13:00～17:00	13:30	開校・あいさつ	◇第1講座：県本部千歳執行委員長 ◇第2講座：自治労共済推進本部茨城県支部 花岡事務局長 ◇第3講座：県本部生井澤書記長 ◇第4講座：県本部花島副委員長	講義中心	混合(ハイブリッド)	
		13:40	◇第1講座：「自治労運動について」	◇第1講座：県本部千歳執行委員長	講義中心	混合(ハイブリッド)	
		14:20	◇第2講座：「自治労共済について」	◇第2講座：自治労共済推進本部茨城県支部 花岡事務局長	講義中心	混合(ハイブリッド)	
		14:50	質疑・討論		講義中心	混合(ハイブリッド)	
		15:00	休 憩		講義中心	混合(ハイブリッド)	
		15:10	◇第3講座：「給与制度の仕組みについて」	◇第3講座：県本部生井澤書記長	講義中心	混合(ハイブリッド)	
		15:50	質疑・討論		講義中心	混合(ハイブリッド)	
		16:00	◇第4講座：「私たちの権利について」	◇第4講座：県本部花島副委員長	講義中心	混合(ハイブリッド)	
		16:40	質疑・討論		講義中心	混合(ハイブリッド)	
		16:50	まとめ・閉会		講義中心	混合(ハイブリッド)	
	ユニオンセミナー 第2回 7/16 10:00～17:00	10:00	開校・あいさつ			ワークショップ中心	混合(ハイブリッド)
		10:10	◇第1講座「労働基準法の基本のキ」	講師：松上隆明 労働出版センター講師		ワークショップ中心	混合(ハイブリッド)
		11:10	質疑・討論			ワークショップ中心	混合(ハイブリッド)
		11:30	◇提起：「時間外縮減と人員確保の取り組み」（県本部）	◇提起：県本部生井澤書記長		ワークショップ中心	混合(ハイブリッド)
		12:00	昼食・休憩 ※昼食は県本部で準備します。			ワークショップ中心	混合(ハイブリッド)
		13:00	◇第2講座「時間外労働の上限規制から見た職場」	講師：松上隆明 労働出版センター講師		ワークショップ中心	混合(ハイブリッド)
		14:00	質疑			ワークショップ中心	混合(ハイブリッド)
		14:20	休憩			ワークショップ中心	混合(ハイブリッド)
		14:30	◇グループ討論「職場の労働実態について」16:30 グループ討論報告・まとめ			ワークショップ中心	混合(ハイブリッド)
17:00	終了			ワークショップ中心	混合(ハイブリッド)		
埼 玉	組合役員って何を するの	1月18日 10月20日 1月11日 9月8日 9月27日 9月28日 11月12日 10月26日	組合役員って何を するの	単組専従者	講義中心	対面	
東 京							
千 葉							
神 奈 川							
山 梨	県本部委員長書記 長セミナー	11月6日 14:10～ 15:10	確定闘争と定年引上げに ついて	森本正宏 本部総合労働局長	講義中心	対面	
	県本部委員長書記 長セミナー	11月6日 15:20～ 15:40	2021年人事院勧告と県人事 委員会勧告について	松木友幸 県本部副中央執行委員長	講義中心	対面	
	県本部委員長書記 長セミナー	11月6日 15:40～ 16:10	当局要求・交渉の進め方 について	森本正宏 本部総合労働局長	講義中心	対面	
	県本部委員長書記 長セミナー	11月6日 16:10～ 16:30	共済推進について	こくみん共済coop自治労共 済推進本部山梨県支部	講義中心	対面	

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式	
長野	第75期県本部労働学校 1日目	1日目 11月11日 (金) 10:00	開校式 学校長あいさつ 青年部あいさつ 自己紹介				
		10:50	「この学校で学びたいこと」 兒玉聖史 本部青年部長	兒玉聖史 本部青年部長			
		11:10	【講座Ⅰ】「新版 経済学入門」第1章～第4章	川村訓史 労働大学			
		12:00	昼食				
		13:00	講座Ⅰのまとめ				
		13:15	分散会①				
		14:05	意見共有				
		14:15	休憩				
		14:25	【講座Ⅱ】「新版 経済学入門」第5章				
		15:15	講座Ⅱのまとめ				
		15:30	【講座Ⅲ】「私たちの賃金」 兒玉青年部長				
		16:00	休憩				
		16:10	分散会②				
		17:00	意見共有				
		17:10	1日目終了・事務連絡				
	18:30	夕食交流会 2F「志賀」					
	第75期県本部労働学校 2日目	2日目 11月12日 (土) 07:00	朝食 2F (ロイヤルホール)				
		9:00	【講座Ⅳ】「ライフプランニングの疑似体験～お金と保障、そしてスケールメリット～」	自治労共済長野支部 安土功一 事務局次長			
		10:00	現地へ移動				
		10:15	松代大本営象山地下壕 フィールドワーク				
		11:15	ホテルへ移動				
		11:25	感想共有				
		11:40	休憩 (アンケート記入)				
		11:50	閉校式 県本部総評「なぜ労働組合に集まるのか」 賞状授与	県本部 小川 晃 書記長		対面	
	12:30	解散					
	富山			県本部労働学校 新入組合員歓迎講座			
石川	労働学校基礎編	2022年6月10日 (金) 12:45	アイスブレイクタイム		その他 (自己紹介)	対面	
	労働学校基礎編	2022年6月10日 (金) 13:10	組合の意義・活動について	本部総合組織局組織強化局長 林鉄平 氏	ワークショップ中心	対面	
	労働学校基礎編	2022年6月10日 (金) 14:30	賃金の仕組みについて	県本部書記長 糸崎弥央 氏	ワークショップ中心	対面	
	労働学校基礎編	2022年6月10日 (金) 15:50	労働組合と政治闘争～自治労の政策実現に向けて～	本部臨時中央執行委員 隈本伸也 氏	ワークショップ中心	対面	
	労働学校実践編	2022年9月22日 (木) 11:25 ～12:05	県本部提起 ・県人事委員会対策 ・定年引上げにむけた取り組み ・医療・社会福祉職場の処遇改善の取り組み ・第20回統一自治体選挙の取り組み	県本部書記長 糸崎弥央 氏	講義中心	対面	
	労働学校実践編	2022年9月22日 (木) 12:50 ～13:50	評議会、部会における課題	各評議会部会代表者	講義中心	対面	
	労働学校実践編	2022年9月22日 (木) 14:00 ～14:40	当局 (の“えげつなさ”)に学ぶ 効果的な団体交渉の仕方	本部組織拡大オルグ 小池徳博 氏	講義中心	対面	

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式	
石 川	労働学校実践編	2022年9月22日 (木) 14:40 ～14:50	県内単組の取り組み事例	県本部組織部長 坂下英之 氏	講義中心	対面	
	労働学校実践編	15:00 ～17:15	課題解決型グループワーク		ワークショップ中心	対面	
福 井							
静 岡	ゆにおん・かれっじ (県本部労働学 校)	2021/12/10 13:00-15:25	第33回ゆにおん・かれっじ (県本部労働学校)	山口課長・県男女共同参画 課 安池代表取締役・株式会社 えて	講義中心		
		2022/2/22 13:30-16:30	第34回ゆにおん・かれっじ (県本部労働学校)	県本部役員	講義中心		
		2022/6/8 10:00-16:30	第35回ゆにおん・かれっじ (県本部労働学校)	県本部役員 坂倉代表・コミュニケー ションハウス	ワークショップ中心		
		2022/8/24 13:00-16:30	第36回ゆにおん・かれっじ (県本部労働学校)	県本部役員 北川オルグ・本部	ワークショップ中心		
愛 知	愛知県本部 第6期 ユニオンカレッジ 10月14日(金)	14:00～	主催者代表挨拶・オリエン テーション				
		14:20～	青年・女性が抱える課題と アプローチについて 本部 小原前青年部長				
		15:10～	休憩				
		15:20～	共有しよう！職場や組合の 課題 ①気付いていますか？職場 や組合で起こっている不安 や不満 ②グループワーク① ～共 有しよう！職場や組合の課 題～	市川元書記長 近藤書記長			
		16:40～	休憩				
		16:50～	愛知県本部の再建と自治 労・連合運動	柚谷職域統括本部長			
		17:40～	本日のまとめ 印象に残っ た言葉を書いてみよう				
		18:00～	移動・チェックイン(コン フォートホテル名古屋金山 禁煙 朝食付き)				
	18:30～	懇親会(20:30終了予定)					
	愛知県本部 第6期 ユニオンカレッジ 10月15日(土)	9:15～	グループワーク② 昨日の印 象に残った言葉を共有しよ う				
		9:30～	組織内議員を経験して感じ たこと	岸まきこ参議院議員			
		10:20～	共感される・必要とされる 労働組合とは	本部 藤森副執行委員長			
		11:10～	休憩				
		11:20～	労働組合が共済を推す理由 (わけ)	自治労共済 藤島氏			
		12:10～	昼食休憩				
		13:10～	組合員に共済を知ってもら うためのアプローチ ① しくじり先生。知らな かったは、モッタイナイ！ ② 共済を活用して自由に 使えるお金を増やそう！	近藤書記長 荒虫事務局長			
		14:00～	休憩	市川元書記長			
		14:10～	労働組合の可能性と共感さ れる組合をめざして				
		15:00～	本日のまとめ				
		15:25～	発表				
16:00～		修了式					
16:30	解散						
岐 阜	※労働学校は未開 催						
三 重	2022年度は実施無 し						
滋 賀	県本部ユニオンセ ミナー	14:10～ 15:15	組合役員は何をすればいい の？	県本部書記長 工藤博司	講義中心	対面	
		15:30～ 17:00	チームの能力を最大限に引 き出すリーダーの3か条	組織活性化コンサルタント 的場つよし	講義中心	対面	

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式
京 都	府本部リーダーズセミナー	2021年11月27日 (土) 13:30～15:30	笑える政治教育ショー	たかまつなな (笑下村塾 代表取締役) 中山女子短期大学 (吉本興行・芸人)	講義中心	対面
	府本部リーダーズセミナー	2021年11月27日 (土) 15:45～16:45	日常的な組合活動の進め方 と賃金闘争の基礎	八巻由美 (自治労働条件 局長)	講義中心	対面
奈 良	4/14未提出					
和 歌 山	県本部第11回ユニ オンカフェ	5/13 13:40 ～15:30	給与制度 給与構造改革以降の給与制 度の変遷等	県本部 小上書記長	講義中心	対面
		5/13 15:30 ～17:00	共済制度 自主福祉活動と組織強化	共済本部 高橋副本部長 県支部 比留間事務局長	講義中心	対面
		5/13 17:00 ～18:00	自治研活動について	自治研センター 瀧本 所長 県本部 吉川副委員長	講義中心	対面
		5/14 9:30～13:30	政治闘争 組織内議員の活動からみる 政治とのかかわり等	本部・榎本総務局長	講義中心	対面
	県本部町村評2022 年第1回活動者学 校	12月11日 13:00～17:00	単組状況の共有 (2022確定 闘争、人事評価制度、定年 延長、宿日直、代休の運 用、その他独自課題)	各単組から報告後、意見交 換	ワークショップ中心	対面
			組織強化の取り組み	町村評・藤田事務局長から 提起後、意見交換	ワークショップ中心	対面
			組織拡大の取り組み (新規 採用者、会計年度任用職 員、定年延長に伴う役職定 年者の組織化等)	町村評・藤田事務局長から 提起後、意見交換	ワークショップ中心	対面
			自主福祉運動の推進につ いて (加入状況の共有と加入 推進にむけた取り組み)	担当職員	講義中心	対面
			テーマに基づく意見交換	各単組から報告後、意見交 換	ワークショップ中心	対面
	大 阪	ユニオンカレッジ	第1日目 5月 11日 18:45～	オリエンテーション	府本部	講義中心
第2日目 5月 18日 18:45～			賃金課題	府本部	講義中心 その他 (終了後意見 交換会web)	ウェブ
第3日目 6月 1日 18:45～			男女平等課題	岸まきこ 参議院議員	講義中心 その他 (終了後意見 交換会web)	ウェブ
第4日目 6月 8日 18:45～			ライフプランセミナー	瀬戸家みのりファイナン シャルプランナー	講義中心 その他 (終了後意見 交換会web)	ウェブ
第5日目 6月 15日 18:45			修了式		講義中心	対面
兵 庫	労働学校	2022/6/3 10:00 ～17:00 17:15～参加者意 見交換会	基礎編	講義①労働組合の意義とは 講師・尾西亮太郎県本部書 記長 (三田市職労出身) 離 籍専従 講義②私たちの権利 講師・戎剛県本部副委員長 (淡路市職労出身) 離籍専 従 講義③こんなにお得『じち ろう共済』 講師・新井亮自治労共済推 進兵庫県支部事務局長 講義④労働組合と政治につ いて 講師・小原王之県本部副委 員長 (神戸市従出身)	講義中心	対面
	労働学校	2022/11/1	実践編	講義①労使交渉のすすめ 講師・尾西亮太郎県本部書 記長 (三田市職労出身) 離 籍専従 講義②じちろう共済を活用 して組合への結集力を高め よう 講師・新井亮自治労共済推 進兵庫県支部事務局長	ワークショップ中心 (参加者による模擬 交渉)	対面

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式
岡山						
広島	新入組合員セミナー	6月12日 10:00～15:50	①なぜ労働組合が必要なのか	中央本部 小原奈穂美青年部長	講義中心	対面
			②政治闘争の意義～入門編～	県本部副中央執行委員長 神原 悦朗	講義中心	対面
			③労働者自主福祉事業について	自治労共済（県支部）事務局長 中山 悦己	講義中心	対面
			④労働組合と歩んだ30年～いろいろな出会いを大切に～グループ討議	県本部副中央執行委員長 地村 高明	講義中心	対面
	ステップ・アップセミナー	< 1回目 > 6月19日 13:20～ 14:10	①ステップ・アップセミナー開催にあたって	県本部中央執行委員長 山崎 幸治	講義中心 その他（グループ討議10分）	対面
			②労働組合の役割	県本部書記長 竹田 恵	講義中心 その他（グループ討議10分）	対面
			③政治闘争の意義	県本部副中央執行委員長 神原 悦朗	講義中心	対面
		< 2回目 > 10月2日 13:00～ 14:00	①自治労の役割～平和・人権の取り組み～	県本部書記長 竹田 恵	講義中心	対面
			②組織拡大・強化 民間労組の取り組み	県本部拡大専門員 佐藤 次彦	講義中心	対面
			③連合広島の取り組み	連合広島事務局長 藤井 則正	講義中心	対面
			グループ討議			対面
		< 3回目 > 12月4日 10:40～ 11:40	①労働者自主福祉事業の推進について～じちろう共済の取り組み～	自治労共済（県支部）事務局長 中山 悦己	講義中心	対面
			②労使関係ルールの確立にむけて	県本部副中央執行委員長 小迫 敏宏	講義中心	対面
			③グループ討議 新規採用者へのアプローチ		ワークショップ中心	対面
組織強化セミナー	5月29日 10:40～ 12:00	①違反のない選挙	五百蔵洋一弁護士	講義中心	対面	
		②国政報告	江崎孝参議院議員	講義中心	対面	
鳥取						
島根	2022年島根県本部労働学校	2022年5月9日 10:20～12:00	講義Ⅰ 「自治労島根県本部組織強化行動計画」について	自治労島根県本部 須田 晋次 執行委員長	講義中心	対面
	2022年島根県本部労働学校	2022年5月9日 13:00～14:20	講義Ⅱ 「労働組合の歴史と民主的労働運動」について	独立行政法人 労働政策研究・研修機構 労働法・労使関係部門 前浦 穂高 副主任研究員	講義中心	対面
	2022年島根県本部労働学校	2022年5月9日 14:30～15:50	講義Ⅲ 「労働法」について	自治労本部 森本 正宏 総合労働局長	講義中心	対面
	2022年度 自治労島根県本部新入組合員等学習会 (2022/5/21・28) (対面)	2022年5月21日 (東部) 2022年5月28日 (西部) 13:55～14:25	講義①「労働組合について」	自治労島根県本部 瓜坂 秀史 副執行委員長	講義中心	対面
		2022年5月21日 (東部) 2022年5月28日 (西部) 14:25～ 14:50	講義②「賃金について」	自治労島根県本部 上田 賢 書記次長	講義中心	対面
		2022年5月21日 (東部) 2022年5月28日 (西部) 15:00～15:30	講義③「組合運動と政治闘争」	自治労島根県本部 倉井 宏朗 副執行委員長	講義中心	対面
		2022年5月21日 (東部) 2022年5月28日 (西部) 15:30～15:55	講義④「組合運動の事例発表」	[講師(東部)] 出雲市職員連合労働組合 青年部 [講師(西部)] 益田市職員労働組合 青年部	講義中心	対面

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式
島 根	2022年度 自治労 島根県本部新入組 合員等学習会 (2022/5/21・ 28) (対面)	2022年5月21日 (東部) 2022年5月28日 (西部) 16:00～16:25	講義⑤「じちろう共済運動 について」	全労済自治労共済島根県支 部 川添 美幸 事務局長	講義中心	対面
		2022年5月21日 (東部) 2022年5月28日 (西部) 16:25～16:50	講義⑥「労金運動につい て」	[講師(東部)] 中国労働 金庫松江支店 野津 務 次長 [講師(西部)] 中国労働 金庫浜田支店 檜谷 靖 代理	講義中心	対面
	2022年度 自治労 島根県本部女性セ ミナー	2022年9月7日 13:40～14:00	基調講演 「島根県本部の皆さんに期 待すること」	自治労本部 青木 真理子 副中央執行委員長	講義中心	対面
	2022年度 自治労 島根県本部女性セ ミナー	2022年9月7日 14:10～15:10	講義Ⅰ 「労働組合とは」	自治労本部 氷室 佐由里 政策局長	講義中心	対面
	2022年度 自治労 島根県本部女性セ ミナー	2022年9月7日 15:20～16:20	講義Ⅱ 「労働法について」	自治労本部 八巻 由美 労働条件局長	講義中心	対面
	2022年度 自治労 島根県本部女性セ ミナー	2022年9月7日 16:20～16:50	意見交換 テーマ「女性が組合役員を 担うためには」		その他(終了後意見 交換)	対面
香 川	香川県労働者セミ ナーver.2 カリ キュラム 地域共闘と 働く者の 賃金論	7月23日 13:30(15)	開会・あいさつ・オリエン テーション	実行委員長		
	香川県労働者セミ ナーver.2 カリ キュラム 地域共闘と 働く者の 賃金論	13:45(60)	①労働組合・地域共闘の必 要性	労働政策研究・研修機構松 上隆明氏		
	香川県労働者セミ ナーver.2 カリ キュラム 地域共闘と 働く者の 賃金論	14:45(30)	グループ討議・質疑			
	香川県労働者セミ ナーver.2 カリ キュラム 地域共闘と 働く者の 賃金論	15:15(15)	休憩			
	香川県労働者セミ ナーver.2 カリ キュラム 地域共闘と 働く者の 賃金論	15:30(60)	②働く者の賃金論	労働政策研究・研修機構松 上隆明氏		
	香川県労働者セミ ナーver.2 カリ キュラム 地域共闘と 働く者の 賃金論	16:30(30)	グループ討議・質疑			
	香川県労働者セミ ナーver.2 カリ キュラム 地域共闘と 働く者の 賃金論	17:00(10)	まとめ・事務連絡	事務局		
	香川県労働者セミ ナーver.2 カリ キュラム 地域共闘と 働く者の 賃金論	17:10～	開講コンパ(交流会)	事務局		

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式
香 川	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働安全衛生対策・ 単組の課題 事例検討	13:30(15)	開会・オリエンテーション	副実行委員長		
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働安全衛生対策・ 単組の課題 事例検討	8月27日(土) 13:45(60)	①労働安全衛生の基本	自治労・中内康起特別執行委員		
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働安全衛生対策・ 単組の課題 事例検討	14:45(30)	グループ討議・質疑			
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働安全衛生対策・ 単組の課題 事例検討	15:15(15)	休憩			
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働安全衛生対策・ 単組の課題 事例検討	15:30(60)	②ハラスメントに関する基礎知識と対策	神奈川県立保健福祉大学・津野香奈美准教授		
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働安全衛生対策・ 単組の課題 事例検討	16:30(30)	グループ討議・質疑			
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働安全衛生対策・ 単組の課題 事例検討	17:00(10)	まとめ・事務連絡	事務局		
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働安全衛生対策・ 単組の課題 事例検討	17:10～	中間コンパ(交流会)	青年協		
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働法制の基礎知識と 現在の課題	10月15日(土) 13:30(15)	開会・オリエンテーション	実行委員長		
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働法制の基礎知識と 現在の課題	13:45(60)	①労働法制の基礎(労組法、労基法等)	自治労全国一般香川・舟越則人委員長		
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働法制の基礎知識と 現在の課題	14:45(30)	質疑応答 ※会場キャパの都合上、第3講座①はグループ討議を行わず、参加者各自からの質問をお受けします			

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式
香 川	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働法制の基礎知識と現在の課題	15:15(15)	休憩			
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働法制の基礎知識と現在の課題	15:30(90)	②単組課題に関する解説	重哲郎弁護士		
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働法制の基礎知識と現在の課題	17:00(30)	まとめ・事務連絡・修了証授与式・記念撮影	事務局		
	香川県労働者セミナーver.2 カリキュラム 労働法制の基礎知識と現在の課題	17:30～	修了コンパ(交流会)	青年協		
徳 島	東部ブロック労働学校	2022/6/4	・開会・あいさつ・提起 ・講演「ライフプランセミナー」 ・質疑応答・閉会 ・交流会			対面
	中部ブロック労働学校	2022/5/14	・開会・あいさつ ・講演「労働組合とは？」 ・講演「労働者としてのモノの見方・考え方」 ・講演「権利について」 ・講演「政治闘争について」 ・分散会 ・分散会報告			
	南部ブロック労働学校	2022/6/18	・開会・あいさつ ・講演「公務職場の労働組合活動」 ・講演「社会の仕組みと地方自治体の果たす役割」 ・講演「賃金とは何か、賃金闘争と労働条件の関係」 ・交流会			
	北部ブロック労働学校	2022/7/23	・開会・あいさつ ・講演「私たちの賃金」 ・講演「ライフプラン」 ・講演「労働金庫のお役立つ情報」 ・交流会			対面
	西部ブロック労働学校	2022年5月14日～15日	・開会・あいさつ・提起 ・レクリエーション「〇×クイズ目指せ！インテリ労働者」 ・講演「労働組合とは」 ・分散会討論 ・夕食交流(BBQ)(2日目) ・講演「労働組合と政治の関わり」 ・分散会報告 ・景品贈呈式			
	関連評ブロック労働学校	2022/6/18	開会・あいさつ ・講演「わたしたちの賃金」 ・レクリエーション「ビンゴ大会」 ・分散会 ・分散会報告			

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式	
徳 島	第32期自治労徳島県本部労働学校カリキュラム第1回	5月20日 (金) 14:30～ 14:50	入校式・オリエンテーション	事務局			
		5月20日 (金) 14:50～ 16:00	労働組合と仲間づくり	長谷川大介 元県本部青年部長 (三好市職労連)			
		5月20日 (金) 16:10～ 17:00	グループディスカッション ①	事務局			
		5月20日 (金) 17:30～ 19:30	自治会結成・結団式	事務局			
		5月21日 (土) 9:00～ 10:50	「ものの見方・考え方」	鈴木圭吾 県本部書記長			
		5月21日 (土) 11:00～ 12:00	グループディスカッション ②	事務局			
	第32期自治労徳島県本部労働学校カリキュラム第2回	5月27日 (金) 14:30～ 15:50	「わたしたちの賃金」Ⅰ	谷西健司 元県本部青年部長 (美馬市職労連)			
		5月27日 (金) 16:00～ 17:00	グループディスカッション ③	事務局			
		5月28日 (土) 9:00～ 10:00	「わたしたちの賃金」Ⅱ	安藤悠輔 元県本部青年部長 (三好市職労連)			
		5月28日 (土) 10:10～ 10:50	グループディスカッション ④	事務局			
		5月28日 (土) 11:00～ 12:00	自治労共済運動について	藤岡一雄 こくみん共済coop<全労済> 徳島推進本部本部長			
	第32期自治労徳島県本部労働学校カリキュラム第3回	6月3日 (金) 14:30～ 16:00	「わたしたちの権利」	西岡健二郎 元県本部青年部長 (美馬市職労連)			
		6月3日 (金) 16:10～ 17:30	模擬団体交渉にむけて	受講生・聴講生			
		6月4日 (土) 9:00～ 11:00	「模擬団体交渉」	事務局			
		6月4日 (土) 11:10～ 12:00	グループディスカッション ⑤	事務局			
	第32期自治労徳島県本部労働学校カリキュラム第4回	6月10日 (金) 14:30～ 15:20	「人権を考えてみよう」	高開千代子 I女性会議徳島県本部事務局 局長			
		6月10日 (金) 15:30～ 16:30	「政治闘争」	調整中			
		6月10日 (金) 16:45～ 17:30	グループディスカッション ⑥	事務局			
		6月11日 (土) 9:00～ 10:00	「記念講演」	中川孝文 県本部執行委員長			
		6月11日 (土) 10:10～ 11:20	グループディスカッション ⑦	事務局			
		6月11日 (土) 11:30～ 12:00	修了式	事務局			
	愛 媛						
	高 知	2022年度未実施					
	福 岡	第2期単組・職場の活性化連続学習会	2021年11月1日 13:30～17:00	第1回連続学習会 テーマ「職場発案型の『良い職場づくり』を学ぶ。仲間への動機づけと育成方法を理解し、実践する」	J・ユニオン株式会社 藤村 英司	ワークショップ中心	対面

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式
福岡	第2期単組・職場の活性化連続学習会	2022年1月19日 13:30～17:00	第2回連続学習会 テーマ「建設的な労使関係を学び、当局へ提言するための準備を単組で実践できるようにする」	J・ユニオン株式会社 藤村 英司	ワークショップ中心	対面
	第2期単組・職場の活性化連続学習会	2022年3月23日 13:30～17:00	第3回連続学習会 「労使交渉の実践手法を学び、職場（組合員）の声を反映した提言にする」	J・ユニオン株式会社 藤村 英司	ワークショップ中心	対面
	第2期単組・職場の活性化連続学習会	2022年6月3日13:30～17:00	第4回連続学習会 テーマ「自分たちの職場は自分たちで良くする」	J・ユニオン株式会社 藤村 英司	ワークショップ中心	対面
佐賀	自治労学校活動者コース	12月18日 10時40分～12時	自治労運動の歴史と課題	県本部執行委員長	講義中心	対面
		12月18日13時00分～14時20分	労働法をめぐる情勢	弁護士 桑原健	講義中心	対面
		12月18日14時30分～15時50分	新しい資本主義	佐賀大学教授 平地一郎	講義中心	対面
		12月18日16時00分～17時	労働組合と政治闘争	自治労本部 隈本	講義中心	対面
		12月19日 9時～12時	自治労の組織化【会計年度任用職員】	自治労本部 北川啓子	ワークショップ中心	対面
長崎	県本部J I C H I R Oリーダーシップセミナー	1日目 13:40～14:20	労働組合の基礎知識	県本部 組織局長 井村義則	講義中心	対面
	県本部J I C H I R Oリーダーシップセミナー	1日目 14:20～15:00	県本部の現状：春闘と秋闘	県本部 書記長 宮本洋	講義中心	対面
	県本部J I C H I R Oリーダーシップセミナー	1日目 15:10～16:20	「模擬団交」	県本部 書記次長 村田元輝	講義中心	対面
	県本部J I C H I R Oリーダーシップセミナー	1日目 16:30～17:00	自治労共済活用	県支部 事務局長 井上亨	講義中心	対面
	県本部J I C H I R Oリーダーシップセミナー	1日目 17:00～17:30	労働金庫の活用	九州ろうきんより	講義中心	対面
	県本部J I C H I R Oリーダーシップセミナー	2日目 09:00～10:50	グループワーク「模擬団交」	県本部 書記次長 村田元輝	講義中心	対面
	県本部J I C H I R Oリーダーシップセミナー	2日目 11:00～11:30	県本部の現状：政治闘争	県本部 書記次長 村田元輝	講義中心	対面
	総支部・単組青年女性代表者会議及び青年女性部労働学校	1日目 10:30～11:15	総支部・単組青年女性代表者会議	自治労県本部青年女性部	講義中心	対面
	総支部・単組青年女性代表者会議及び青年女性部労働学校	1日目 11:15～12:15	講演①「どうせ同じ時間使うなら楽しくやりたくないですか？」	自治労青年部長 小原奈穂美	講義中心	対面
	総支部・単組青年女性代表者会議及び青年女性部労働学校	1日目 13:00～13:50	講演②「知ってもらいたい共済の仕組みや制度」	共済県支部事務局長 久知良 誠二	講義中心	対面
	総支部・単組青年女性代表者会議及び青年女性部労働学校	1日目 14:00～16:30	分散会討論	自治労県本部青年女性部	講義中心	対面
	大分	第82期労働学校普通科	第1回	開校式		
自治労運動とは				溝口 慎一郎（県本部委員長）		
自治労信販生協のご紹介				首藤 俊一（自治労生協専務理事）		
オリエンテーション						
全労済自治労共済の取り組み				木原 慎介（自治労共済県支部事務局長）		
自治体労働者の賃金制度について				安森 貴之（県本部賃金部長）		
第2回			政治闘争の必要性	藤島 勲（県本部書記長）		

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式
大 分	第82期労働学校普通科	第2回	労働組合と災害ボランティア	日野 剛 (大分県社会福祉協議会執行委員長)		
			労働法について	県雇用労働政策課		
		第3回	地方公務員の選挙運動・政治活動の自由と一定の制限	五百蔵 洋一 (中央本部顧問弁護士)		
			中央本部と連合本部での取り組みについて	佐保 昌一 (連合総合政策推進局長)		
		第4回	地域共闘の取り組みについて	鹿嶋 秀和 (連合大分副事務局長)		
			憲法と地方自治	福田 正直 (自治研センター理事)		
			レクレーション			
			民間労働者の組合活動	朝来 素生 (全国一般大分地方労組執行委員長)		
		第5回	自治労が取り組む男女平等参画社会について	田代 崇 (県本部組織強化部長)		
			脱原発社会にむけて～すべての原発を廃炉に～	姫野 正二 (大分県平和運動センター事務局長)		
			平和憲法について	青野 篤 (大分大学経済学部准教授)		
			職場のメンタルヘルス	進 美保子 (セルフエスティームトレーナー)		
		第6回	沖縄基地問題～本土復帰50年を迎えて～	大嶺 克志 (沖縄県本部書記長)		
			機関紙の作り方	吉川 祥平 (県本部総務教宣部長)		
		第7回	班別新聞計画・打ち合わせ	吉川 祥平 (県本部総務教宣部長)		
			班別新聞作成	吉川 祥平 (県本部総務教宣部長)		
	ファイナルレポート		吉川 祥平 (県本部総務教宣部長)			
	班別新聞発表・講評		吉川 祥平 (県本部総務教宣部長)			
			修了式	吉川 祥平 (県本部総務教宣部長)		
	第53期労働学校専攻科	第1回	開校式			
			自治労運動とは	溝口 慎一郎 (県本部委員長)		
			労働運動の歴史	佐藤 晴男 (県本部退職者会会長)		
			自治体労働者の賃金	安森 貴之 (県本部賃金部長)		
				オリエンテーション		
		第2回	労働組合と災害ボランティア	日野 剛 (大分県社会福祉協議会執行委員長)		
			民間労働者の組合活動について	朝来 素生 (全国一般大分地方労組執行委員長)		
			県本部の政治闘争について	藤島 勲 (県本部書記長)		
			自治体労働者の権利	中山 敬三 (県本部顧問弁護士)		
		第3回	地方公務員の選挙運動・政治活動の自由と一定の制限	五百蔵 洋一 (中央本部顧問弁護士)		
			中央本部と連合本部での取り組みについて	佐保 昌一 (連合総合政策推進局長)		
		第4回	自治労の自主福祉活動について	江藤 智章 (県本部副執行委員長)		
			男女平等参画社会にむけて	田代 崇 (県本部組織強化部長)		
第32次地制調答申がめざす地方自治の新たな基本方向について			福田 正直 (自治研センター理事)			
第5回		自治研活動の意義とその類型	嶋田 暁文 (九州大学大学院法学研究院教授)			
		組織強化・拡大について	藤河 隆浩 (県本部副執行委員長)			
		平和憲法について	青野 篤 (大分大学経済学部准教授)			
		交渉の進め方・模擬団交打ち合わせ	吉川 祥平 (県本部総務教宣部長)			
第6回		模擬団交準備・打ち合わせ				
		模擬団交				
		ファイナルレポート				
		修了式				

県本部名	教育研修名	日 程	講 座 名	講師名・所属	講座の運営	開催形式
宮 崎	労働講座	1 日目 13時～15時	賃金労働条件	本部	講義中心	対面
		1 日目 15時～17時	平和学習	労組会議	講義中心	対面
		2 日目 9時～12時	分散会		ワークショップ中心	対面
熊 本						
鹿 児 島	単組四役セミナー	12時40分～13時30分	講座1 情勢と主要課題	満永執行委員長	講義中心	混合
		13時40分～14時30分	講座2 賃金・労働条件課題	豊田書記次長	講義中心	混合
		14時40分～15時30分	講座3 年間闘争サイクルの確立と労使交渉の進め方	上菌書記長	講義中心	混合
		15時40分～16時30分	講座4 政治政策の課題	片野坂副執行委員長	講義中心	混合
		16時40分～17時30分	講座5 共済運動の推進	吉村事務局長	講義中心	混合
沖 縄	労働学校	2022年 4/19 12:15～12:35	職場におけるメンタルヘルス対策	城間 功旬 医師	講義中心	ウェブ
		4/26 12:15～12:35	男女で一緒に自治労運動	組織局長 宮里勝	講義中心	ウェブ
		5/31 12:15～12:35	労働学校TheWebについて	知花史直	講義中心	ウェブ
		6/28 12:15～12:35	制度・政策活動	県本部副委員長 仲宗根哲	講義中心	ウェブ
		7/1 15:00～ 7/2 12:00まで	労働学校入校式	県本部副委員長 前底伸幸	講義中心	
		7/5 12:15～12:35	職場の人手足りてますか？	組織局超 宮里勝	講義中心	ウェブ
		7/15 12:15～12:35	賃金決定の仕組み	組織局長 宮里勝	講義中心	ウェブ
		8/16 12:15～12:35	組織運営はこうやる！	組織局長 宮里勝	講義中心 その他（受講生）	ウェブ
		10/4 12:15～12:35	自治労沖縄県本部障害労働者連絡会の取り組み	県本部障労連 議長 仲宗根優氏	講義中心	ウェブ
		10/11 12:15～12:35	私たちの職場は政治に翻弄されている（JP労組）	日本郵政グループ労働組合 沖縄地方本部 我如古 直人 書記長	講義中心 その他（受講生）	ウェブ
		10/18 12:15～12:35	要求書をつくろう	組織局長 宮里勝	講義中心	ウェブ
		11/1 12:15～12:35	実演！熱演！団体交渉！	県本部組織局	講義中心 その他（受講生）	ウェブ
		11/5 12:15～12:35	労働組合の社会的役割を考える	沖縄県労働金庫 高良恵一氏	講義中心 その他（受講生）	対面
		11/15 12:15～12:35	新規採用説明会	共済県支部 高橋莉子	講義中心	ウェブ
		12/6 12:15～12:35	組合の「教育」ってナニ？	教育宣伝部長 知花史直	講義中心 その他（受講生）	ウェブ
		12/20 12:15～12:35	病気休職者の職場復帰に必要なこと	県本部副委員長 前底伸幸	講義中心	ウェブ
		1/31 12:15～12:35	一年の取り組みは春闘から	組織局長 宮里勝	講義中心 その他（受講生）	ウェブ
		2/7 12:15～12:35	自治体財政を検証しよう	県本部副委員長 仲宗根哲	講義中心 その他（受講生）	ウェブ
		2/21 12:15～12:35	機関紙をつくろう	教育宣伝部長 知花史直	講義中心	ウェブ
		3/7 12:15～12:35	人員確保の取り組みチェック！	県本部副委員長 前底伸幸	講義中心 その他（受講生）	ウェブ
社 保	社保労連として2021年度の実施はなし（主に単組が主催）					

(2) 労働学校：受講者の確保

県本部名	確保の状況	確保に向けた取り組み
北海道	前年並みの参加状況	地方本部分別、行政別に選出している。単組・地方本部における新専従者、次期専従候補者を中心に選出する。 専従者交代のタイミングなど、年度によって増減はあるものの、一定の参加者数で推移している。(20人前後)
青森		
岩手	参加者が増えている	
宮城	実施無し	
秋田	実施無し(斜線)	
山形		
福島	前年並みの参加状況	
新潟	受講者は減少している	
群馬	前年並みの参加状況	
栃木		
茨城	前年並みの参加状況	
埼玉	参加者が増えている	参加しやすいように単組ごとに開催
東京		
千葉		
神奈川		
山梨	参加者が増えている	単組オルグの実施、県本部機関会議での要請、参加しやすい日程
長野	前年並みの参加状況	参加対象となる青年層に対し青年部女性部役員による呼びかけ ブロック担当中執のオルグで親組へ呼びかけ
富山		
石川	前年並みの参加状況(実践編) その他(基礎編は初の実施で、総定数より若干少ない状況)	機関会議での周知をはじめ、各地区担当役職員を通じてのオルグや単組機関会議等での周知を実施
福井	前年並みの参加状況	内容を入念に検討して、組合員のニーズに沿ったテーマを設定するように努めている。
静岡	受講者は減少している	發文にて、特に女性役員への参加を呼び掛けた。
愛知	参加者が増えている	単組役員へのオルグ 単組役員を通じて、単組青年層への直接の声掛けなど
岐阜	実施無し	
三重	実施無し	
滋賀	参加者が増えている	昨年以上に、積極的な参加要請を行った。 また、前年はコロナの為にWEB開催になり、あまり集まらなかったが、今年是对面で行ったことも理由の一つ。
京都	前年並みの参加状況	・参加しやすい日程の確保 ・わかりやすい發文書の工夫 ・機関紙に掲載 ・会議や集会などで呼びかけ
奈良		
和歌山	前年並みの参加状況	

県本部名	確保の状況	確保に向けた取り組み
大阪	前年並みの参加状況	女性参加者を増やす取り組みを実施
兵庫	前年並みの参加状況	①受講者の中から厳選し実行委員として運営側での協力要請を行い、参加者確保を図っている。 ②青年部、女性部、臨職評からの呼びかけを依頼
岡山	その他（コロナ禍により実施できていない）	
広島	その他（近年、未実施のため比較できない）	県本部からの要請文への記載 各単組からの対象者への声掛け
鳥取	その他（近年はコロナ禍により開催できていない）	
島根	前年並みの参加状況	
山口	参加者が増えている	新採研修と合同で開催することで、新採の引率者を労働学校に参加するよう誘導することができた。
香川	その他（コロナ前には届かないが増えつつある）	単組ごとの対象者リストアップと声かけ担当を決めての声かけ
徳島	前年並みの参加状況	中心は、春闘期の青年部、女性部のオルグ時での勧誘活動。県本部執行部、各部評を通じても呼びかけを行っている。 今年度は、若年層向けに作成したビラを活用して、呼びかけた。
愛媛	前年並みの参加状況	各単組へ組合員に応じた動員を要請
高知	実施無し	
福岡	受講者は減少している	
佐賀	前年並みの参加状況	特段なし
長崎	受講者は減少している	・以前は1泊2日を2回実施していたが、「2回とも参加するのは難しい」と単組からの声があったため、今回は1泊2日を1回のみ実施。 ・参加者を募集しても単組からの申し込みが減少したため、現在は総支部ごとに何人以上参加者を出してもらうよう要請している
大分	前年並みの参加状況	機関会議で各単組最低1人以上の参加を提起
宮崎	受講者は減少している	
熊本		
鹿児島	受講者は減少している	①参加しやすい日程調整（金曜日の1日開催） ②参加・学習したいと思える内容設定（外部講師の登用など） ③経費の県本部負担 ④新任役員への義務的な参加の要請 ⑤各単組執行部への周知徹底及び参加者確保要請
沖縄	その他（2022年4月から受講生制度を導入）	次代の担い手として単組が推薦する組合員を中心に参加。受講生制度を導入しました。
社保	社保労連としての開催は無し	

(3) 労働学校：女性の参加状況

県本部名	参加者数	うち女性参加者数	女性の参加割合	参加状況	女性参加者確保の工夫
北海道	18	3	16.7%	前年並みの参加状況	地方本部、行政別での選出にあたり、複数を選出する際は女性1人以上を求めている。 青年部、女性部からの推薦を求めている。 グループワーク、班による行動については女性が1人とならないようにしている。 実際は、(2)②に記載したものがベースとなっている。専従・次期専従が女性であることが少ないため、現状では男女比のバランスを取ることは難しい。
青森					
岩手					
宮城					
秋田					
山形					
福島	92	29	31.5%	受講者は減少している	
新潟	67	11	16.4%	前年並みの参加状況	
群馬	78	13	17.0%	前年並みの参加状況	
栃木					
茨城	87	28	32.2%	前年並みの参加状況	
埼玉				前年並みの参加状況	
東京					發文による呼びかけに留まる。
千葉					
神奈川					
山梨	24人	3人	13.0%	参加者が増えている	単組オルグの実施、県本部機関会議での要請、参加しやすい日程
長野	41	11	26.0%	前年並みの参加状況	参加費の県本部負担を青年枠・女性枠を設け、女性の参加について意識づけ。 県本部女性部役員からの参加を確保
富山					
石川	基礎編 56人 実践編 90人	基礎編 17人 実践編 14人	基礎編 30.3% 実践編 15.5%	前年並みの参加状況 (実践編) その他(基礎編は初の実施で、想定よりも多い状況)	女性部を通じた周知
福井					
静岡	101	34	33.7%	受講者は減少している	發文にて、特に女性役員の参加を呼び掛けた。
愛知	16	4	25.0%	参加者が増えている	ブロック要請人数のうち数として女性人数を指定 ※基本3割以上をめざす。
岐阜					
三重					
滋賀	16	4	25.0%	参加者が増えている	

県本部名	参加者数	うち女性参加者数	女性の参加割合	参加状況	女性参加者確保の工夫
京 都	48	16	33.0%	前年並みの参加状況	・参加しやすい日程の確保 ・わかりやすい発文書の工夫 ・機関紙に掲載 ・会議や集会などで呼びかけ
奈 良					
和 歌 山				前年並みの参加状況	
大 阪	29	11	38.0%	前年並みの参加状況	女性ネットワーク委員会等からも参加呼びかけ
兵 庫	64	21	33.0%	前年並みの参加状況	女性部、臨職評からの呼びかけを依頼
岡 山					
広 島	198	75	38.0%	その他（近年、未実施のため比較できない）	県本部からの要請文への記載 各単組から対象者への声掛け
鳥 取					
島 根	39	4	10.3%	前年並みの参加状況	
山 口	41	12	29.0%	参加者が増えている	参加しやすい日程
香 川	83	36	43.0%	その他（コロナ前には届かないが増えつつある）	女性部長名での参加要請文書発出
徳 島	35	109	38.0%	参加者が増えている	県本部女性部のオルグ時の勧誘。 ※例年5月から6月にかけて本学校を開催しているが、同時期に女性の集会が重なっているため、女性部員には負担になっている。
愛 媛	38	6	15.7%	前年並みの参加状況	
高 知					
福 岡	77	12	15.6%	受講者は減少している	
佐 賀	25	4	16.0%	前年並みの参加状況	特段なし
長 崎	69	27	39.0%	受講者は減少している	特段工夫はしていないが、青年女性部労働学校以外には参加者を集めるのに苦慮している。
大 分	82	26	31.0%	前年並みの参加状況	機関会議で各単組呼びかけを提起
宮 崎	50	10	20.0%	受講者は減少している	
熊 本					
鹿 児 島	87	14	16.0%	前年並みの参加状況	①参加しやすい日程調整（金曜日の1日開催） ②参加・学習したいと思える内容設定（外部講師の登用など） ③経費の県本部負担 ④新任役員への義務的な参加の要請 ⑤各単組執行部への周知徹底及び参加者確保要請
沖 縄	11	2	18.2%		
社 保					

6. 協力機関・組織

県本部名	協力機関・組織名	協力内容
北海道	とくになし	
青森		
岩手	無	
宮城		
秋田		
山形		
福島		
新潟	新潟労働大学まなぶ	県本部執行委員会での学習会、単組における学習会での講師派遣など
群馬	仕事と暮らしの研究所 (水嶋 清光 氏)	機関紙コンクールの審査員をお願いしている
栃木	全労済自治労共済栃木県支部 中央労働金庫栃木県本部	<ul style="list-style-type: none"> ・組合活動の両輪である共済推進について、県本部、単組の説明会、学習会で講師を要請。 ・春闘交流集会やトップセミナー、リーダーセミナーなどを共同開催し、費用負担を折半。 ・各単組の新採説明会、ライフプランセミナー等への講師派遣や県本部・単組機関紙等への情報提供。
茨城	労働大学出版センター	講師派遣
埼玉		
東京	自治労本部	講師派遣、講師紹介
千葉		
神奈川		
山梨	NHK放送教育センター・ 自治労本部・ こくみん共済coop自治労共済推進本部	講師派遣
長野	労大出版センター 労働金庫 共済県支部	講師派遣・テキスト購入 講師派遣 講師派遣
富山	県平和運動センター	現在は実施できていないが、県内の自治労以外の労働組合を巻き込んだ研修を行う際に、主導する役割を担ってもらっている。
石川		
福井	県自治研センター	講師派遣
静岡	自治労本部 自治労共済静岡県本部	講師の派遣 資料提供・情報提供
愛知		
岐阜		
三重		
滋賀		
京都	京都地方自治総合研究所	講師紹介・手配、カリキュラム作成支援
奈良	特にありません	

県本部名	協力機関・組織名	協力内容
和歌山	自治労本部 自治労共済県支部	講師派遣・紹介 講師派遣
大阪		
兵庫		
岡山	・自治労共済 ・平和センター	・講師派遣
広島		
鳥取	自治研センター	講師紹介
島根	①自治労本部 ②自治労共済 ③中国労働金庫 ④（独）労働政策研究・研修機構 ⑤県内単組	①～⑤：講師派遣
山口	自治労共済山口県支部	ライフプランセミナーと題した、人生で掛かるお金についての講演と実習。
香川	香川県平和労組会議 香川労働大学 まなぶ友の会 香川県自治研センター	運営、企画、財政 講師派遣、運営、企画 企画 講師派遣
徳島	労大	講師派遣
愛媛		
高知		
福岡	J・ユニオン株式会社	カリキュラム作成支援、講師派遣
佐賀		
長崎	①共済県支部及び九州ろうきん ②自治研センター研究講師団	①講師を派遣してもらい、制度内容の詳細等を講演してもらっている。 ②講演や分散会等の進行に協力いただいている。
大分	・大分県自治研センター ・大分労働局 ・大分産業保健総合支援センター	講師派遣・紹介
宮崎	地方問題自治研究所	講師紹介
熊本		
鹿児島		
沖縄		
社保		

7. 県本部の教育研修の成果

県本部名	教育研修の成果
北海道	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、交流・情報交換
青森	
岩手	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、評議会・青年・女性の役員確保、情勢・課題の共有化、仲間づくり・団結・連帯感の醸成
宮城	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、評議会・青年・女性の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成、モチベーションの向上、単組の学習活動の促進、単組と関係の密接化
秋田	組織強化・運動強化、交渉強化、情勢・課題の共有化、交流・情報交換
山形	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、評議会・青年・女性の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成、モチベーションの向上、単組の学習活動の促進、単組と関係の密接化
福島	運動への理解促進、交流・情報交換、モチベーションの向上、単組の学習活動の促進
新潟	(その他) ※学習や交流機会を含む多くの活動においては、上記の成果を求めて実施しています。程度やねらいの違いがあっても上記の成果はあると考えています。
群馬	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、評議会・青年・女性の役員確保、技能・知識の向上、情勢・課題の共有化、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、単組と関係の密接化
栃木	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成、モチベーションの向上、単組の学習活動の促進、単組と関係の密接化
茨城	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、技能・知識の向上、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成、単組の学習活動の促進、単組と関係の密接化
埼玉	組織強化・運動強化、交渉強化、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、単組と関係の密接化
東京	情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、モチベーションの向上
千葉	
神奈川	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成
山梨	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成、単組と関係の密接化
長野	組織強化・運動強化、評議会・青年・女性の役員確保、交流・情報交換、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、モチベーションの向上
富山	上記の成果について、とくに総括しておらず掘めていない。
石川	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、評議会・青年・女性の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、自治労運動への一体感の醸成、モチベーションの向上、単組の学習活動の促進、単組と関係の密接化
福井	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、単組と関係の密接化
静岡	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成
愛知	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、交流・情報交換
岐阜	運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成、単組と関係の密接化
三重	組織強化・運動強化、技能・知識の向上、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、単組と関係の密接化 全国的な課題ですが、担い手確保や交流の機会が劇的に減少したと感じます。
滋賀	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、評議会・青年・女性の役員確保、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、単組と関係の密接化
京都	組織強化・運動強化、技能・知識の向上、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成
奈良	参加者の確保が困難、参加単組の固定化、県本部での教育研修の位置付けが不明確、実施後のフォローアップができない、講師の確保が困難、カリキュラム編成が困難
和歌山	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、評議会・青年・女性の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、モチベーションの向上、単組の学習活動の促進、単組と関係の密接化

県本部名	教育研修の成果
大阪	組織強化・運動強化、交渉強化、評議会・青年・女性の役員確保、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、単組と関係の密接化
兵庫	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、評議会・青年・女性の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、モチベーションの向上、単組の学習活動の促進、単組と関係の密接化 受講単組からの講師派遣依頼がされるようになった
岡山	担い手・県本部単組の役員確保、運動への理解促進、交流・情報交換
広島	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成
鳥取	評議会・青年・女性の役員確保、情勢・課題の共有化
島根	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、単組の学習活動の促進
山口	組織強化・運動強化、交渉強化、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、単組の学習活動の促進
香川	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、評議会・青年・女性の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成、単組の学習活動の促進、単組と関係の密接化 民間労組との交流促進
徳島	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、評議会・青年・女性の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成
愛媛	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、技能・知識の向上、交流・情報交換、自治労運動への一体感の醸成
高知	評議会・青年・女性の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成
福岡	交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、交流・情報交換
佐賀	組織強化・運動強化
長崎	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、運動への理解促進、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成
大分	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成
宮崎	組織強化・運動強化、交渉強化、運動への理解促進、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成
熊本	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成
鹿児島	組織強化・運動強化、情勢・課題の共有化、交流・情報交換
沖縄	組織強化・運動強化、担い手・県本部単組の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、自治労運動への一体感の醸成、単組の学習活動の促進、単組と関係の密接化
社保	組織強化・運動強化、交渉強化、担い手・県本部単組の役員確保、評議会・青年・女性の役員確保、技能・知識の向上、運動への理解促進、情勢・課題の共有化、交流・情報交換、仲間づくり・団結・連帯感の醸成、モチベーションの向上

8. 県本部で教育研修を実施する上での問題点・課題

県本部名	問題点・課題
北海道	女性の参加が少ない、日程の確保が困難、以前に比べて学習会の回数が減少
青森	
岩手	女性の参加が少ない、参加単組の固定化、日程の確保が困難、予算の確保が困難
宮城	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定化、県本部での教育研修の位置付けが不明確、実施後のフォローアップができない、以前に比べて学習会の回数が減少
秋田	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定化、単組が研修の必要性を理解できていない
山形	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定化、実施後のフォローアップができない、カリキュラム編成が困難 基本、平日開催だが、業務が忙しく参加できないという声がある一方、プライベート優先のため、休日も開催してほしくないという声もある。
福島	参加者の確保が困難、日程の確保が困難、実施後のフォローアップができない、講師の確保が困難、カリキュラム編成が困難、以前に比べて学習会の回数が減少
新潟	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定化、講師の確保が困難、カリキュラム編成が困難、以前に比べて学習会の回数が減少
群馬	女性の参加が少ない、参加単組の固定化
栃木	女性の参加が少ない、参加単組の固定化、日程の確保が困難、実施後のフォローアップができない
茨城	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、実施後のフォローアップができない、単組が研修の必要性を理解できていない
埼玉	参加単組の固定化、実施後のフォローアップができない、単組が研修の必要性を理解できていない
東京	参加者の確保が困難、カリキュラム編成が困難
千葉	
神奈川	コロナ禍で参加者減少
山梨	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定
長野	女性の参加が少ない、参加単組の固定化、日程の確保が困難、予算の確保が困難、実施後のフォローアップができない、カリキュラム編成が困難、以前に比べて学習会の回数が減少 ・次世代育成のための労働学校を長年継続して開催しているが、その後のフォロー的な機会がなく、継続的な人材育成になっていない。 ・県本部財政が厳しくなっており以前に比べ予算が少なくなった。単組負担を上げることは単組財政事情を考慮すると難しく、参加者確保のため県本部負担としている参加費（交流会・宿泊費）の負担も高く、予算に見合った会場の確保が難しい。労働学校の日程や内容の見直し・縮小を検討しながら限られた予算内でどう効果的な内容とするかが課題 また、宿泊を伴う内容で開催しているが、コロナ対策としてこれまで利用してきた相部屋の宿舎ではなくホテルのシングルを利用している。コロナ前から相部屋に対する抵抗感があったが、コロナ以降ますますその傾向が強まりそう。その他にも参加者の持つ心理的な負担感に配慮しながら参加者の確保やカリキュラム・運営の工夫が必要となっている。 ・基本組織役員を対象とする教育研修の取り組みができていない。組合の意義や活動について、これまで単組内で受け継がれていたが、それが薄まっている中で、これまでの経験や自治労の活動について、また、模擬団交のような実践的な研修など基本組織役員へ伝達していく機会を設けることが必要だと考えるが、新しい事業を立ち上げる予算・日程取りが難しい。新たな学習の機会を設けるより日々の実務や課題への対処に精一杯の状況。
富山	県本部での教育研修の位置付けが不明確、日程の確保が困難
石川	日程の確保が困難
福井	参加者の確保が困難、県本部での教育研修の位置付けが不明確
静岡	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、実施後のフォローアップができない

県本部名	問題点・課題
愛知	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定化、以前に比べて学習会の回数が減少 ・そもそも単組での学びの機会が少ない上に、役員の短期化、コロナ禍による活動縮小が重なり、本体の労働組合や執行委員としての役割や共済推進の必要性、上部団体加盟の意味や政治への取り組みなど、全てにおいて希薄化が進んでいる。 県本部としては、単組間の横のつながりの強化と、単組執行委員の継続的な学習会機会の担保などにより、単組の底上げ、単組間の連携強化・情報共有による県本部運動の底上げが必要だが、組織としてシステマティックな体制がまだまだ構築できていない。
岐阜	女性の参加が少ない、参加単組の固定化
三重	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定化、日程の確保が困難、実施後のフォローアップができない、講師の確保が困難、以前に比べて学習会の回数が減少 ・マンネリ感が否めない ・県本部役員が講師を行う場合、講演ができる人とできない人の差が出てしまう ・C参加単組だけでなく、参加者も固定されがち ・公共民間、一部事務組合の参加はほぼない（こちらとしても知識が無いため開催しづらい） ・参加者が役員1年目の方から永年役員を経験しているベテランまでいる場合、レベルを統一できない。また参加者の知識や意欲がどの程度あるのか（一般の組合員さんが参加してくださる場合に「組合運動」や「政治・選挙」を全面的に出すと温度差や引かれてしまうのではないかと感じる一方、知識を伝えたいという気持ちもあり、それらが反比例している） ・どういった内容であれば、参加したいと思われ、参加してよかったと思われるか。また、見合った講師をどのように探したらいいのか。外部講師の場合事務手続き（マイナンバーや源泉等、手探りでみようみまねなので基礎を知りたい） ・ウェブ会議のやり方（ZOOMの扱い方等） グーグルフォーム、PC等に対する知識がないので、それらに関するセミナーを開催していただきたいです ・本部、県本部等、さまざまな会議や行事があり、日程調整が難しい ・ウェブ会議を実施しようとしても、単組でネット環境がなく結局不参加となる
滋賀	参加単組の固定化、予算の確保が困難、カリキュラム編成が困難、以前に比べて学習会の回数が減少
京都	参加者の確保が困難、参加単組の固定化、日程の確保が困難、予算の確保が困難、実施後のフォローアップができない、講師の確保が困難、カリキュラム編成が困難
奈良	組織強化・運動強化、評議会・青年・女性の役員確保、全ての研修、学習会、集会において参加者の確保が困難である。
和歌山	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定化、予算の確保が困難、実施後のフォローアップができない
大阪	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定化
兵庫	参加単組の固定化 単組強化が必要な単組からの参加が少ない。
岡山	参加者の確保が困難、参加単組の固定化、日程の確保が困難
広島	参加単組の固定化、実施後のフォローアップができない
鳥取	実施後のフォローアップができない、以前に比べて学習会の回数が減少
島根	実施後のフォローアップができない
山口	参加単組の固定化
香川	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定化、日程の確保が困難
徳島	女性の参加が少ない、参加単組の固定化、実施後のフォローアップができない 上記問題点の解決には、「組合だからこうすべき／こうしてはいけない」という想像力不足が障害。自治労での特徴的な取り組みを編纂した資料を作成して切磋琢磨を促すだけでなく、資本主義社会で成功している様々な手法に謙虚に学んでいく必要があるように思われる。自己批判ではなく、本部へのお願いとなってしまっていて大変恐縮です。
愛媛	参加者の確保が困難、参加単組の固定化、単組が研修の必要性を理解できていない
高知	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定化、以前に比べて学習会の回数が減少
福岡	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない、参加単組の固定化
佐賀	参加単組の固定化、実施後のフォローアップができない 県本部担当者の確保
長崎	参加者の確保が困難、カリキュラム編成が困難、単組が研修の必要性を理解できていない、以前に比べて学習会の回数が減少 他の県本部の労働学校のカリキュラムを共有化してほしい。
大分	女性の参加が少ない、参加単組の固定化、日程の確保が困難、予算の確保が困難、講師の確保が困難、カリキュラム編成が困難

県本部名	問 題 点 ・ 課 題
宮 崎	実施後のフォローアップができない、以前に比べて学習会の回数が減少
熊 本	以前に比べて学習会の回数が減少 コロナの影響で、開催予定であった新入組員むけ労働セミナーが開催できませんでしたが、次年度の2022年12月に対面開催を実現できました。また、2022年度は1日開催だった単組新規役員・地区支部長等向け労働セミナーも交流会込みで2日間開催することができ学びと交流を深めることができました。
鹿 児 島	参加単組の固定化、実施後のフォローアップができない、単組が研修の必要性を理解できていない
沖 縄	参加者の確保が困難、女性の参加が少ない
社 保	

9. 県本部主催で、特に好評だった研修内容を具体的に

県本部名	自治労本部への意見
北海道	ハラスメントへの対応については関心が高い。顧問弁護士やカウンセラー協会を招いての講座は概ね好評だった。
青森	
岩手	
宮城	なし
秋田	新規採用職員学習交流会 県が自治研修所で実施する新人研修に合わせて、研修受講者及び単組の未加入新規採用職員を対象に、組合活動への理解と加入促進を促し、組織の強化及び組合員相互の親睦と団結強化を図る。 4～5月週1回全4回、県職連合と他労組は別会場としている。
山形	組合の基本など
福島	タイムマネジメント：仕事とプライベートを充実させるための業務の進め方、時間の使い方、業務における時間の使い方、個人診断 実践コミュニケーション：より良い相手への伝え方、相手に合わせてリアクションを取ることが、円滑な関係づくりに役立つ ワークショップ組合／自治体の可能性：コミュニケーションにおける聴く力、話す力、伝える力を高めるための手法
新潟	
群馬	
栃木	・リーダーセミナー、トップセミナーなど、組合組織の運営から共済の活用まで、単組役員として必要な基礎知識を習得し、具体的ですぐに実践できる内容のため、好評であり継続している。また、新員の単組役員と県本部・共済役職員とも顔合わせの場となり、人間関係を築く上でも有効。その後の組織強化、共済推進につながった単組も多い。 ・2022年度は知名度のある外部講師を招き、旬な話題でもあり、仕事にも役立つ「男性育休」や「障がい児保育」をテーマに講演会を開催し、好評を得た。単組役員や組合員が参加したくなるテーマ、講師の選定が重要。 ・毎年実施の「県本部春闘交流集会」は、単組執行部に加え、青年女性役員や新役員枠をつくり、参加も増えている。内容も、春闘方針に止まらず、旬なテーマの講演会、分科会（組織運営、教宣、じちろう共済）を企画し、年によってはグループワークやワークショップ等の手法も取り入れている。
茨城	
埼玉	
東京	女性労働カフェ
千葉	
神奈川	
山梨	単組委員長・書記長セミナー （確定闘争期に単組の執行委員長・書記長を対象としたセミナー。確定闘争期の重点課題とその時の政治情勢について、中央本部役員と自治労組織内議員からの学習会・講演会。単組間の情報交換と交流によって組織強化を図る。） NHK放送研修センター 労働組合と選挙活動
長野	スポーツ交流 分散会 自治労共済（助け合いの効果）についての講座
富山	掴めていない。
石川	
福井	入庁2～5年目あたりの職員を対象とした若手組合員研修会において、県内各市町の同年代の職員が集まり情報共有・交流を図れる点で非常に好評をいただいている。
静岡	・職場におけるLGBTQ+の課題 ・模擬団体交渉とグループワーク

県本部名	自治労本部への意見
愛知	新規組合員歓迎会での共済学習会。組合の大切さも絡めた内容で、マイカー共済の説明が特に好評だった。
岐阜	
三重	例年実施している、じちろうウエルカムセミナー（新採向けセミナー）は、他単組との交流を目的のひとつとしているため、好評です。
滋賀	長年出来ていなかった賃金学習会はWEBでしたが、参加率もよく、おおむね好評だったため、シリーズ化をするべく企画中です。
京都	ライフプランセミナーやじちろう共済集会
奈良	本年度の青年部学習会として開催した、共済後援のマネーリテラシーの学習会については、若年層組合員の関心も高かったのか好評だった。
和歌山	
大阪	
兵庫	見本交渉DVD、模擬交渉、自治労共済制度
岡山	
広島	
鳥取	
島根	・女性セミナーにおいて、自治労本部から講師として招いた青木副委員長、八巻局長、氷室局長の3名による講演、ディスカッションは、女性としての労働運動への関わり方や意識付けについて、大変参考になったと多くの意見があった。
山口	「なぜ労働組合が政治闘争に取り組むのか？」というテーマでの講演。政治闘争へのイメージが変わったと好評をいただいている。 受講者層別に講師を変えることによって、より分かりやすく伝えることができていると感じる。
香川	顧問弁護士による単組課題解説。 弁護士重哲郎氏を招き、事前に質問のあった単組課題に対して解説を行った。また、日本国憲法に関して「今必要とされるのは憲法を順守し、憲法の理念に沿った立法をし、政治を行う事であって、憲法改正（改憲）ではない」と語り、自民党の憲法改正について警鐘を鳴らした。 参加者からは「実際に労働組合を立ち上げ活動してきたリアルな体験に基づく話が聞けたのがよかった」「公務員は、労働基本権が制限され争議権は行使できないが、ピラ卷き、デモ行進等は、日常的な組合活用なので、当たり前ができるということを自信を持って広めていきたいと思った」「人間らしく働き生活するために法律があり、その大元は最高法規である憲法にあることを再認識できた。また、事例の中にあつたように、憲法は私たちの生活や職場などで意識されていないが、重さんの「憲法改悪をさせない・憲法を暮らしの中に」を實踐していかなければと強く思った」などの声があげられた。
徳島	コロナ禍で自治体間の交流が途絶えていたため、2022年7月16日に開催した新入組合員を対象にした交流集会は、参加者からは好評を博した。先輩組合員が漫才を披露するなど、場を和ませることに注力した。県本部青年部長が行った「組合とは何か」という入門的講義には、非常にわかりやすかったなど、事後アンケートには絶賛の声が相次いだ。
愛媛	フレッシュヤーズ講座で新採職員に対し給与の決定方法や昇給昇格の方法、また、休暇制度等身近でな内容については、単組で細かな学習会でできていない参加者からは好評であった。また、講師から運営まで青年女性部が運営することにより若手諸君の安心感やスキル向上に繋がった。
高知	模擬団交
福岡	
佐賀	特になし
長崎	県本部J I C H I R Oリーダーシップセミナーで振休未取得問題について「模擬団交」を実施したが、団体交渉をしたことがない若年層については好評だった。
大分	労働学校：模擬団交・新聞作成
宮崎	
熊本	
鹿児島	申し訳ございません。特に集約しておりません。
沖縄	

県本部名	自治労本部への意見
社 保	<p>政策研究集会は、厚労省年金局・保険局などの講師を招いての学習や日頃の業務内容ごとの小グループ討論を組み入れることで、定着してきている。</p> <p>また、政労評と共催で開催しているトップセミナーでは、その時期の課題（憲法問題や政治課題など）をテーマに著名な講師を招いて実施することで好評を得ている。</p> <p>平和学習行動は、青年の学習強化・組織強化だけでなく育成にも役立っており、行動に参加した者から地方本部・支部の役員が育っている。</p>

10. コロナ禍における県本部の教育研修・会議等で試みた新たな取り組み

県本部名	コロナ禍における県本部の教育研修・会議等で試みた新たな取り組み
北海道	ウェブを使っての学習会。 学習動画の提供。 学習動画については、15分程度の短いものを求める声がある。今後の課題として検討中。
青森	
岩手	現業労働学校はWEB併用で行っている。
宮城	なし
秋田	特になし
山形	事前にWEBアンケートを実施し、会議等で活用。
福島	今年度労働学校の開催について、これまでは、ひとつの会場で対面開催していたが、コロナ禍を考慮し各総支部内にサテライト会場を設け、参加者の移動に対する負担軽減を図った。また、カリキュラムの作成においては、これまでの労働学校でのアンケートや意見等を踏まえてカリキュラムの作成、講師についてj-unionに依頼し実施。
新潟	
群馬	
栃木	・共済学習会・説明会等は、世代ごと、職場単位の小規模、複数回で開催している。また、昼休み、業務後も1時間程度の開催にし、参加しやすい工夫をしている。 ・記念品、食事等は、お弁当ではなく、持ち帰りの人気店のパンやスイーツなど、もらってうれしいものを提供している。
茨城	
埼玉	
東京	
千葉	
神奈川	
山梨	特になし
長野	Zoomを用いた対面・ウェブのハイブリッド形式での開催 時間の短縮
富山	特になし。
石川	
福井	対面で集まっているのにも関わらず、LINEのオープンチャット機能を活用して、匿名性を担保しながら意見交換を行った。
静岡	・感染拡大状況によって、対面・WEBのみ・WEB併用を柔軟に切り替えた。 ・WEBで模擬団交を実施した。 ・大人数を集めての学習会ではなく、単組へ出張する形での学習会の頻度を増やした。
愛知	ウェブ（Zoom）を活用して防災ゲームを実施した。
岐阜	
三重	県本部が単組の執行委員会に出向いて、学習会を行いました。
滋賀	
京都	①3密回避、ソーシャルディスタンスの確保 ②換気、アルコール消毒、マスク着用の徹底 ③参加者情報の把握
奈良	特にありません。

県本部名	コロナ禍における県本部の教育研修・会議等で試みた新たな取り組み
和歌山	本部ガイドラインを参考とした取り組みを基本として、以下のことを中心に行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・会場は、参加予定者が会場収容人数の50%以下となるように選定 ・会場内の座席は、参加者間の間隔を十分したうえで配置 ・来場前に検温を実施し、37.5度以上の熱がある、風邪の症状がある、息苦しさや強いだるさなどの症状がある方は、参加の自粛をお願いする ・マスクの着用を義務づけること（非着用者には、マスクを会場で渡す）。 ・集会、会議の会場入口に手指消毒用の消毒液を配置し、消毒の徹底を促す。
大阪	
兵庫	見本交渉DVDの作成
岡山	
広島	ウェブ併用の活用
鳥取	
島根	新入組合員学習会の開催にあたり、東部・西部と2会場に分けて実施することで、参加者の分散をおこなった。
山口	
香川	zoom、YouTubeライブの活用
徳島	県本部労働学校が2年間開催できていなかったため、その間、県本部から単組学習会への講師派遣を行っていた。また、県本部青年部でも、2022年11月から、単組青年部での学習会への講師派遣を行っている。
愛媛	リモートとの併用を取り入れることにより参加しやすい雰囲気を作ることが出来た。
高知	
福岡	
佐賀	ウェブの活用 【ハイブリット】
長崎	コロナ禍においては、WEBによる集会や会議を開催してきたが、2021年度については次第に対面での集会・会議を実施。
大分	通常1泊2日の講座を、1日で開催できるよう1講座の時間を短縮し、実施した。 検温、手指消毒、1講座ごとに換気を行った。 グループごとの机配置を班ごとではなく一般講義スタイルに変更した。 グループワークを極力減らしたが、必要な講座については事前に自分でアイデアを紙に書き、話し合いがスムーズに進むように配慮した上で行った。
宮崎	ユニオンアカデミー開催にあたり、検討委員会を計6回開催した
熊本	コロナを理由に運動を停滞させてはいけませんので、感染対策を徹底した上で、例年1泊2日だった日程を1日開催にしたり、終日開催を半日にしたりするなど、時間を縮減し、できる限り実施する方向で企画しております。 コロナが5類に移行となれば、徐々に対面での学習会も以前のように実施していきたいと考えております。
鹿児島	自治労全体でも早いWEB会議システムの構築と実施
沖縄	
社保	機関会議については対面を基本としているが、必要に応じてウェブでの会議を行っている。全国組織のため土日を利用した会議開催が基本だが、ウェブの活用により平日夜の設定も可能となった。

11. 自治労本部への意見

県本部名	自治労本部への意見
北海道	10でも記載した短い動画を提供いただきたい。（小原前青年部長による政治に関する動画のような）
青森	
岩手	動画配信が増えている。簡単で良いので配信概要をコメント欄等に記載があると単組への配信が即座にできるので、対応していただくと幸いです。
宮城	なし
秋田	
山形	
福島	
新潟	
群馬	
栃木	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー，労働学校等参加しやすい日程を組んで欲しい。また、東京には行けないが、Webなら参加したいとの単組もあり、ハイブリット開催を願いたい。 ・本部がリストアップしている外部講師を県本部が依頼する場合、講師料等の補助を検討願いたい。
茨城	
埼玉	
東京	
千葉	
神奈川	
山梨	講師やセミナーの内容についての情報提供等
長野	カリキュラムの例や講師・教材の提供などしていただけると参考になります。
富山	特になし。
石川	
福井	特にございませぬ。
静岡	引き続き、講師をお願いしたい。
愛知	県本部間・地連間での横のつながりを強化する取り組み・機会の提供をお願いします。
岐阜	
三重	<p>おもしろい講師さんがいらっしゃったら、お教えていただきたいです。また、どこへ何を使って（メール？電話？）アポを取ったら取りやすいか教えて欲しいです。</p> <p>上記にも記載しましたが、セミナーを開催するためのセミナー（講師側のセミナー？話し方等）があればいいなと思いました。</p> <p>単組役員の多くが、他単組との情報交換を求めています。ウェブ活用は、どこでも気軽に参加できるというメリットがあるが、聞くだけになってしまい、深まりが乏しい。全国で良い事例があれば共有していただきたい。</p>
滋賀	パッケージフォーマットのさらなる充実。（資料・口述書など）
京都	YouTubeやお昼休みを利用したセミナー配信は、活用しやすくまた、参加しやすいので重宝しています。
奈良	ハードルが高くなく、参加者が募りやすいものを紹介してもらえれば、助かります。
和歌山	講師料・会場費など経費の補助金の検討をお願いします。 引き続き、講師派遣のご協力をお願いします。
大阪	

県本部名	自治労本部への意見
兵 庫	
岡 山	
広 島	
鳥 取	
島 根	
山 口	特になし
香 川	
徳 島	ブロック別労働学校が極めて好評だったため、コロナ感染症の状況を理由に助成を止めず、更なる組織拡大をめざして助成を継続していただきたい。
愛 媛	重点支援県本部の取り組み期間中は本部から講師派遣等大きな支援をいただいている。重点支援終了後も引き続き講師派遣や講座内容についてのアドバイスをお願いする。
高 知	
福 岡	
佐 賀	特になし
長 崎	他の県本部の労働学校のカリキュラムを共有化してほしい。
大 分	本部紹介講師の活用に対する財政支援や、労働学校維持費として開催県本部への財政支援をお願いしたい。
宮 崎	
熊 本	
鹿 児 島	<p>様々な県本部が様々な学習会をしており、それには他所からみて良い点悪い点があると思う。</p> <p>A県本部の学習会にB県本部の役員が1人入りA県本部の学習会を学習する。B県本部の学習会にC県本部の役員が1人入りB県本部の学習会を学習する。C県本部の…</p> <p>というような、網目のように県本部同士が繋がる取り組みは面白いのではないかと思う。（地連で実施すべきことだとは思いますが）</p> <p>もっと単純で言えば、評判の良い県本部の学習会へ参加する視察企画を行うとか、県本部学習会へ中央本部役員が参加し、参加後、その学習会内容について指摘をする教育実習のような企画を行うとか、何かしら前例踏襲で行ってきた学習会に風穴をあけるような取り組みを企画してほしい。</p>
沖 縄	外部講師についての財政支援や情報提供をお願いします。
社 保	

